

平成30年度 渋谷区 区民意識調査  
報告書

渋谷区



# 目次

I. 調査の概要	1
II. 回答者の属性	5
III. 調査結果	9
1. 居住年数について	9
(1) 居住年数	9
(2) 今後の定住意向	11
(3) 転出意向理由	13
2. 区政について	15
(1) 区政への関心度	15
(2) 区の施策の充実度	18
(3) 区政の情報入手経路	24
3. 渋谷区基本構想について	26
(1) 基本構想とスローガンの認知度	26
(2) 基本構想とスローガンの認知経路	28
(3) 基本構想とスローガンの広報手段	30
4. 「渋谷区総合防災訓練（SHIBUYA BOSAI FES）」について	32
(1) 「渋谷区総合防災訓練（SHIBUYA BOSAI FES）」の認知・参加度	32
(2) 「渋谷区総合防災訓練（SHIBUYA BOSAI FES）」の未参加理由	34
(3) 「渋谷区総合防災訓練（SHIBUYA BOSAI FES）」の今後の参加意向	36
5. 「超福祉展」について	39
(1) 「超福祉展」の認知・参加度	39
(2) 「超福祉展」の参加理由	41
(3) 「超福祉展」の評価	42
(4) 「超福祉展」の認知経路	43

6. 喫煙環境について	45
(1) 喫煙の条例規制の必要有無	45
(2) 喫煙の条例規制の必要理由	47
(3) 屋外喫煙所設置の必要度	49
7. 「渋谷区おとなりサンデーの日」について	51
(1) 「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度	51
(2) 「渋谷区おとなりサンデーの日」の未参加理由	53
(3) 地域イベントなどに対する考え	55
(4) 近所付き合いの望ましい姿	57
8. 町会・自治会について	59
(1) 町会・自治会の加入状況	59
(2) 町会・自治会の未加入理由	62
(3) 町会・自治会へ期待する役割	64
9. 広報紙「しぶや区ニュース」について	67
(1) 広報紙「しぶや区ニュース」の閲読状況	67
(2) 広報紙「しぶや区ニュース」の評価	69
(3) 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由	71
10. コミュニティFM・SNSについて	73
(1) 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況	73
(2) 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験	75
(3) 区の広報番組の評価	76
(4) 区の広報番組の非聴取理由	77
(5) 渋谷区 SNS の認知・利用度	78
<b>資料編</b>	81
調査票	81

# I. 調査の概要

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の名称

区民意識調査

### (2) 調査の目的

区民の区政に対する意識等を把握し、今後の区政課題に反映させることを目的とする。

### (3) 調査対象

渋谷区在住の18歳以上の人

### (4) 調査期間

平成 30 年8月 29 日～平成 30 年9月 19 日

### (5) 調査方法及び回答件数

年齢	配布方法	回収方法	配布数	有効回収数 (1,971 件)	回収率
18～59 歳	はがきで URL を案内	インターネット	12,500	1,522	12.2%
60 歳以上	調査票を郵送	郵送回収 (インターネットによる 回答も可)	1,000	449	44.9%

回収方法	配布数	有効回収数
インターネット	12,500	1,541
郵送	1,000	430
合計		1,971

### (6) 報告書における表及び図表の見方

- ・図表内の「n」は、設問に対する回答すべき人数(基数)である。回答数が 30 未満のものは誤差が大きくなるため、参考値とする。
- ・集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が 100.0%とならない場合がある。同様に、複数の比率の合計も図表の数字が一致しない場合がある。
- ・複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- ・本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- ・平成 29 年調査との比較について、前回とは調査方法が異なるのであくまで参考値となる。

## 2. 調査結果の概要

### (1) 居住年数について

- ・渋谷区の居住年数は、「10年～20年未満」が24.0%で最も高く、次いで「30年以上」(23.8%)が高い。居住年数10年以上が6割を占める。年齢別にみると、20代は「20年～30年未満」が27.5%で最も高いが、一方で、「2年未満」も22.8%と高い。30代は10年未満が7割以上を占める。30代以上は年代が上がるにつれ居住年数が長くなる傾向にあり、「30年以上」は60代で51.5%、70歳以上で73.9%を占める。
- ・今後の定住意向は、「できれば住み続けたい」が48.1%、「ずっと住み続けたい」が46.3%で、「住み続けたい(計)」が94.4%に達する。年齢別にみると、「住み続けたい(計)」は各年代とも9割以上を占める。
- ・転出意向理由は、「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」が42.5%で最も高い。以下、「家賃、地代が高いから」(33.0%)、「現在の住宅が狭いから」(28.3%)、「買い物が不便だから(近くに商店がない、物価が高いなど)」(26.4%)などが続く。

### (2) 区政について

- ・区政への関心度は、「関心がある(計)」が81.5%、「関心がない(計)」が18.0%である。年齢別にみると、「関心がある(計)」は10代～50代までは年代が上がるにつれ高くなっており、30代で8割を超え、50代では9割近くを占める。60代以上では「関心がある(計)」はやや下がるものの、8割前後を占める。子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層は「いない」層に比べ、区政への関心度が高く、「関心がある(計)」は「いる」層が87.7%、「いない」層が74.5%である。
- ・区の施策の充実度は、「充実している(計)」が高い施策は「学校教育」(77.0%)、「子育て支援」(67.3%)、「防災対策・避難場所」(64.8%)、「健康のための支援」(64.4%)などである。一方、「充実していない(計)」が高い施策は、「まちのバリアフリー化」(62.5%)、「路上喫煙・タバコ対策」(60.0%)、「駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど多様な交通手段の利用」(53.6%)などである。
- ・区政の情報入手経路は、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が84.2%で最も高い。以下、「町会・自治会の掲示板」(20.3%)、「渋谷区のホームページ」(17.9%)などが続く。年齢別にみると、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」は年代が上がるにつれ高くなっており、30代以上は8割を超えている。「渋谷区のホームページ」は30～50代で2割を超えている。18・19歳と20代では、「家族や友人・知人などからの口コミ」「テレビ・新聞などのニュース」「SNSやインターネットの情報(渋谷区公式以外)」が他の年代より高い。

### (3) 渋谷区基本構想について

- ・基本構想とスローガンの認知度は、「両方とも知らない」が67.9%で最も高い。スローガンの認知率は27.1%、基本構想の認知率は10.0%、スローガンまたは基本構想の認知率は30.8%である。区政に対して「関心がある」層は認知度も高く、スローガンまたは基本構想の認知率は区政に「関心がある(計)」は35.4%、「関心がない(計)」はわずか10.5%である。
- ・認知経路は、「区の広報紙」が81.9%で最も高い。以下、「区のホームページ」(12.8%)、「区の施設や駅などの掲示」(12.3%)などが続く。
- ・広報手段は、「区の施設や駅などの掲示」が57.3%で最も高く、次いで、「区の広報紙」(40.5%)が高い。年齢別にみると、「区の施設や駅などの掲示」は50代以下で6割を超えている。「区の広報紙」は60代が

54.4%、70歳以上が71.4%と高いが、30代以下では2～3割程度にとどまっており、その代わり30代以下は「SNS」が3～4割と他の年代より高い。

#### (4) 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」について

- ・「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の認知・参加度は、「知らない」が59.1%で最も高い。「知っているが、参加したことはない」は33.6%、「参加したことがある」は6.5%で、認知率は40.2%である。
- ・未参加理由は、「別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)」が56.7%で最も高い。次いで、「事前に内容がよく分からなかったから」(20.1%)が高い。
- ・今後の参加意向は、「参加したい(計)」が60.3%、「参加したくない(計)」が38.6%である。参加意向が6割以上あることから、今後は認知率を上げること、また内容の詳細をどのように広く告知するかが課題であるといえる。

#### (5) 「超福祉展」について

- ・「超福祉展」の認知・参加度は、「知らない」が89.0%で最も高い。「知っているが、参加したことはない」は9.9%、「参加したことがある」は0.8%で、認知率は10.7%である。
- ・参加理由は、回答者15人の回答結果(回答数が少ないため、結果はあくまでも参考値)は、「最新の福祉機器に興味があったから」が最も多く、次いで、「イベントや体験試乗に興味があったから」「主催者や関係団体の活動に興味があったから」が続く。
- ・「超福祉展」の評価は、回答者15人の各回答について「良かった」を4点、「良くなかった」を1点としたときの平均点を算出したところ、「イベント全体について」は3.08点である。
- ・認知経路は、「区の広報紙」が64.0%で最も高い。以下、「区の施設や駅などの掲示」(16.1%)、「家族や友人・知人からの口コミ」(15.2%)などが続く。

#### (6) 喫煙環境について

- ・喫煙の条例規制の必要有無は、「必要である」が87.1%、「必要はない」が12.5%である。
- ・必要理由は、「喫煙マナーの指導だけでは改善がみられないから」が55.5%で最も高い。次いで、「規制をしないと、現状がさらに悪化すると思うから」(28.1%)、「他の区と比べ、規制が緩やかだから」(9.4%)である。
- ・屋外喫煙所設置の必要度は、「既存の喫煙所で十分である」が27.5%で最も高く、次いで、「新たに設置する必要がある」(26.4%)、「新たに設置する必要はないし、既存喫煙所の撤去も考えるべきである」(21.0%)、「既存の喫煙所のスペースを広げればよい」(19.3%)である。

#### (7) 「渋谷区おとなりサンデーの日」について

- ・「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度は、「知らなかった」が58.5%で最も高い。「知っているが、参加しなかった」は35.9%、「参加した」は5.2%で、認知率は41.0%である。
- ・未参加理由は、「別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)」が46.8%で最も高く、次いで、「事前に内容がよく分からなかったから」(37.1%)が高い。

- ・地域イベントなどに対する考えは、「今のところ興味がない」(48.4%)と「近所で開催があれば参加したい」(47.5%)のほぼ半々に分かれる。
- ・近所付き合いの望ましい姿は、「あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと」が 67.5%で最も高い。次いで、「日頃から仲良く交流すること」(16.8%)、「地域の行事や清掃活動などに参加すること」(11.9%)、「付き合いは必要ない」(2.8%)である。長子年齢別にみると、「4歳～小学校就学前」は「日頃から仲良く交流すること」「地域の行事や清掃活動などに参加すること」がともに3割前後で他層と比較して最も高い。「4歳未満」も「日頃から仲良く交流すること」は 27.8%と高く、子どもが幼児期は密な近所付き合いを望んでいることがうかがえる。

#### (8) 町会・自治会について

- ・町会・自治会の加入状況は、「加入していない」が 42.6%、「加入している」が 40.9%、「分からない」が 16.1%である。居住年数が長くなるにつれ、加入率は高くなっており、居住年数「2年未満」の加入率はわずか 8.9%であるのに対し、「30年以上」は 65.1%に達する。居住形態別にみると、加入率が最も高いのは「一戸建て(持ち家)」の 71.7%である。一方、「マンション・アパート(借家)」はわずか 7.8%である。
- ・未加入理由は、「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」が 40.6%で最も高く、次いで、「仕事などが忙しく時間がないから」(29.8%)が高い。
- ・町会・自治会へ期待する役割は、「地域防災(避難、災害時の避難場所の設営・運営などを含む)」(35.0%)や「防犯活動(見回り活動などを含む)」(32.7%)が高く、防災・防犯への期待が高いことがわかる。

#### (9) 広報紙「しぶや区ニュース」について

- ・閲読状況は、「ときどき読む」が 46.0%、「毎号読む」が 42.1%、「読まない」が 11.8%である。閲読率は 88.0%を占める。年齢別にみると、30代以上の閲読率は8割半ば～9割、20代以下は6割半ばである。
- ・広報紙「しぶや区ニュース」の評価は、いずれの項目も「良い(計)」が8割弱～9割弱を占める。
- ・非閲読理由は、「読む時間がない」が 28.0%で最も高く、以下、「読みたい情報がない」(22.8%)、「届いていない」(16.8%)、「区政に関心がない」(14.7%)などが続く。

#### (10) コミュニティFM・SNSについて

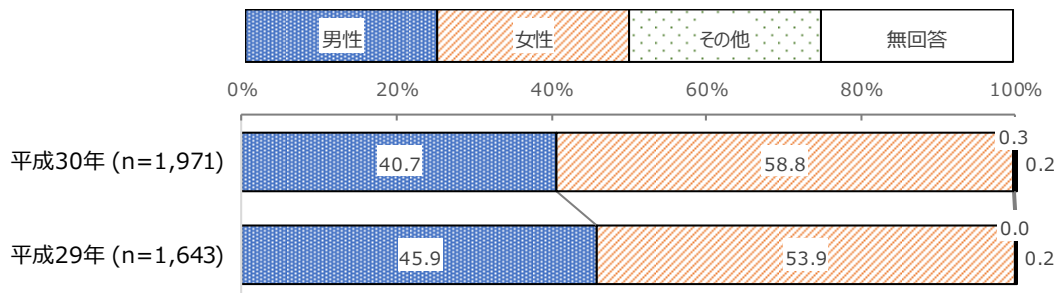
- ・地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況は、「放送を知らなかった」が 64.4%で最も高い。「知っていたが、聴いていない」は 24.8%である。一方、「聴いたことがある(計)」は 7.5%である。
- ・「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験は、「聴いたことはない」が 63.5%、「聴いたことがある」が 36.5%である。
- ・区の広報番組の評価は、「総合的な評価」は「良い(計)」が 87.0%を占める。
- ・区の広報番組の非聴取理由は、「区の広報番組があることを知らなかった」(47.9%)が半数近くに達する。以下、「聴きたい情報がない」(13.8%)、「他の手段で区の情報を得ている」(12.8%)などが続く。
- ・渋谷区 SNS の認知・利用度は、各ツールとも「認知(計)」は3割未満にとどまっている。2割を超えているのは、「ツイッター(渋谷区<@city\_shibuya>)」(24.0%)、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント)」(23.9%)、「フェイスブック(渋谷区<city\_shibuya>)」(22.1%)である。「閲覧経験あり(計)」についても各ツールとも1割未満である。その中で、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(9.1%)が最も高く、次いで、「ツイッター(渋谷区<@city\_shibuya>)」(7.2%)、「フェイスブック(渋谷区<city\_shibuya>)」(6.2%)などが高い。



## II. 回答者の属性

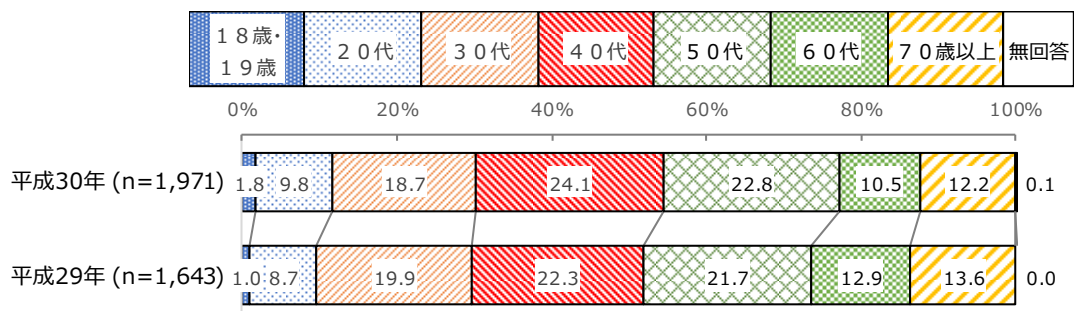
### (1) 性別

図 II-1 性別



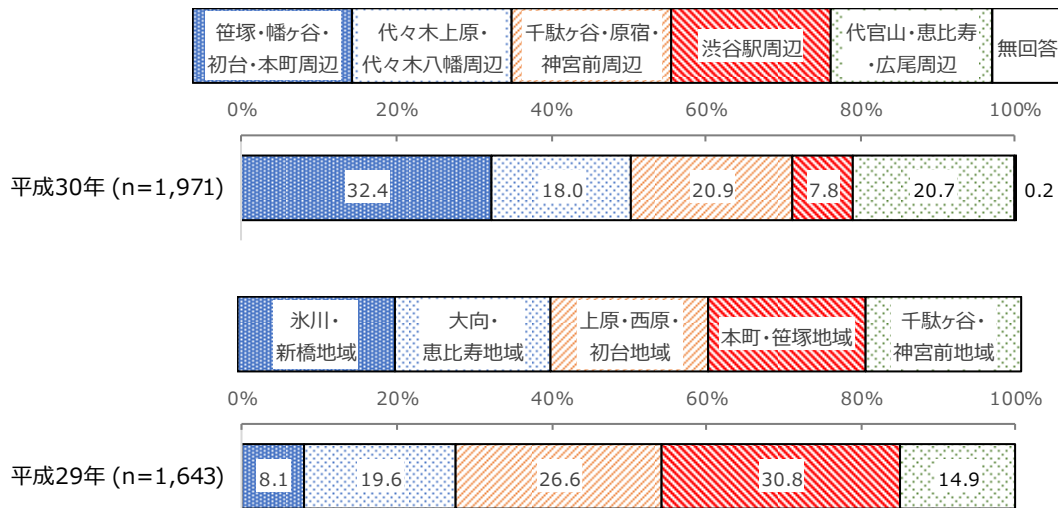
### (2) 年齢

図 II-2 年齢



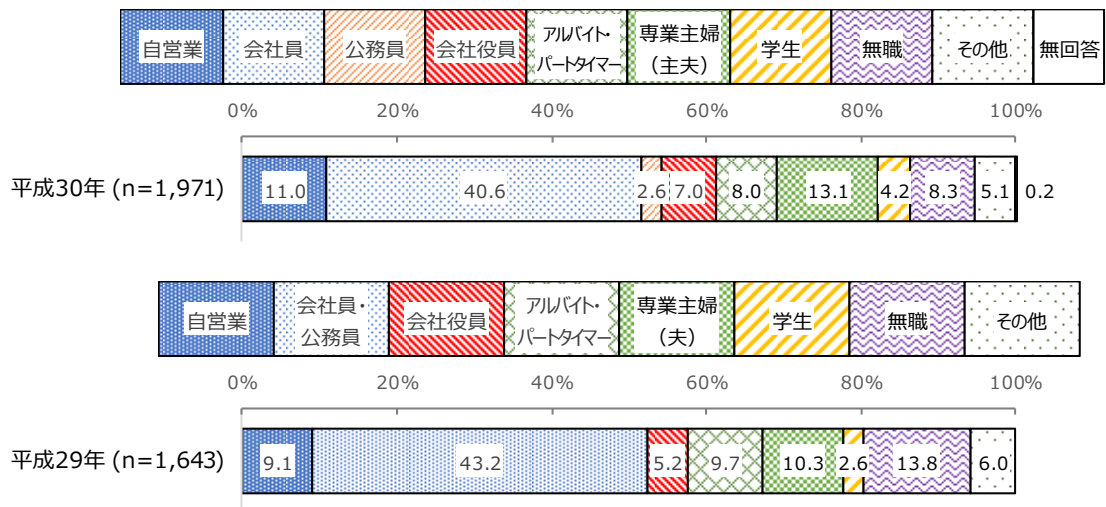
### (3) 地区

図 II-3 地区



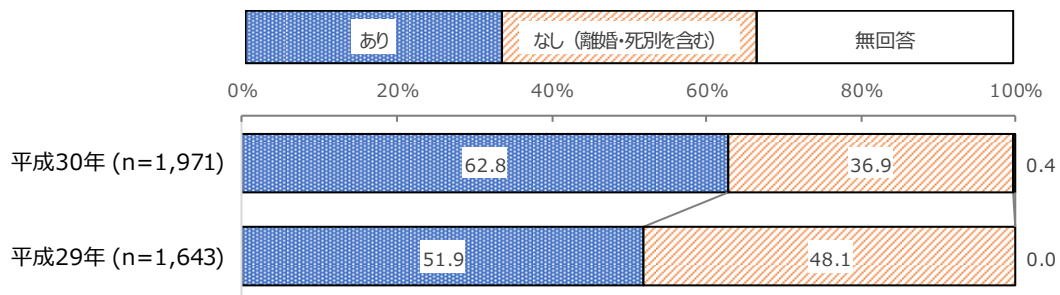
(4) 職業

図Ⅱ-4 職業



(5) 配偶者の有無

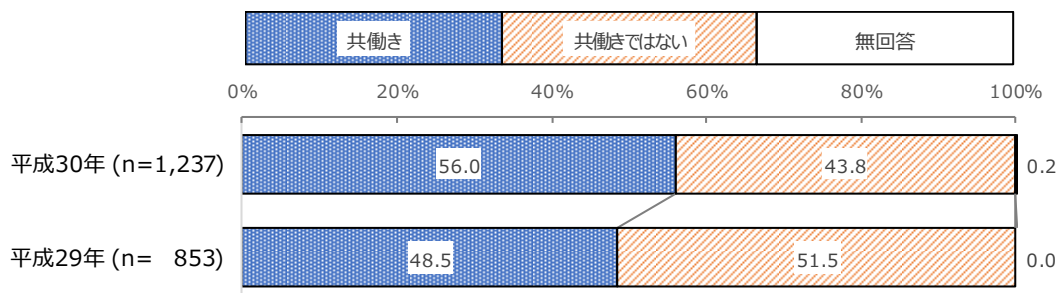
図Ⅱ-5 配偶者の有無



(6) 共働きの有無

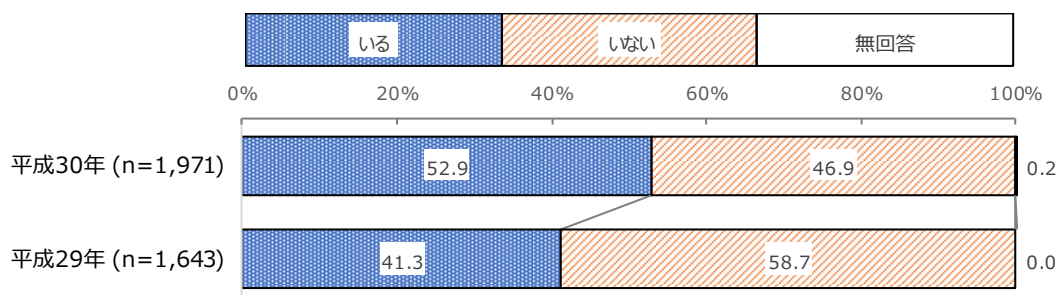
※配偶者ありの方対象

図Ⅱ-6 共働きの有無



(7) 子どもの有無

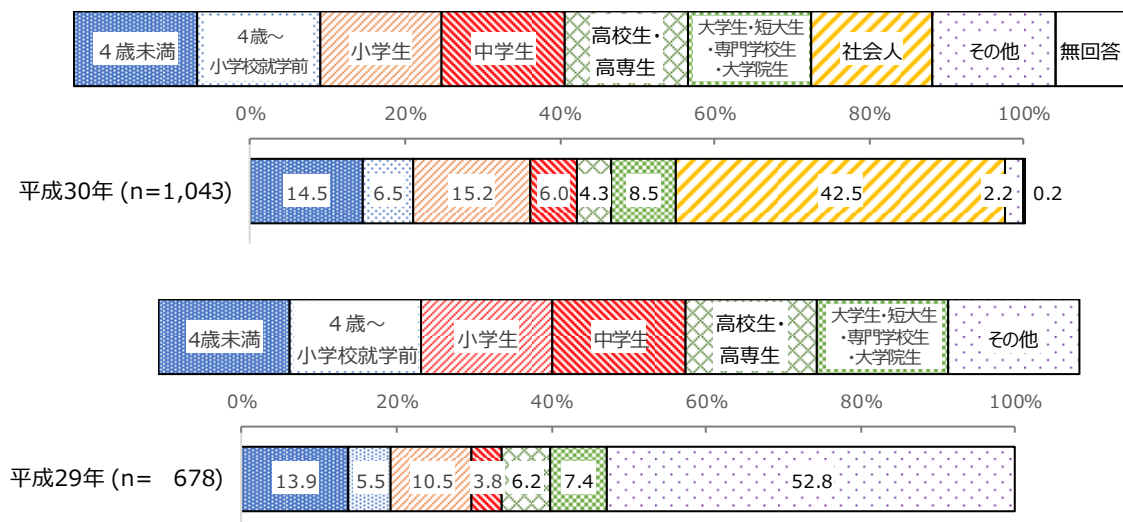
図Ⅱ-7 子どもの有無



(8) 長子年齢

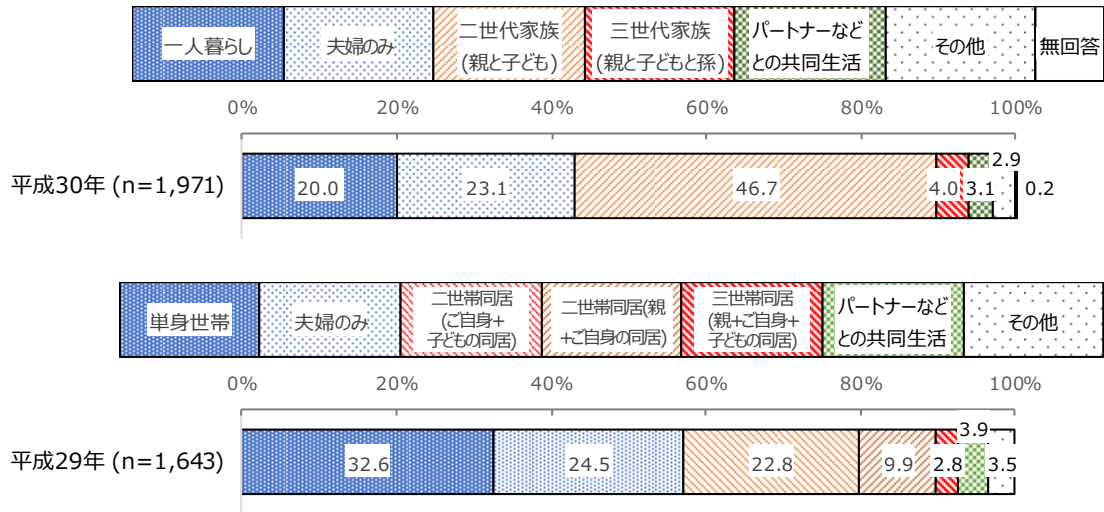
※子供がいる方対象

図Ⅱ-8 長子年齢



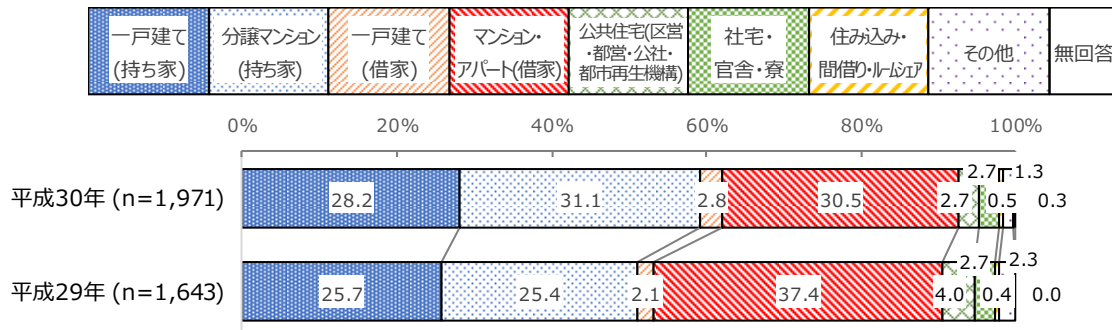
(9) 世帯構成

図Ⅱ-9 世帯構成



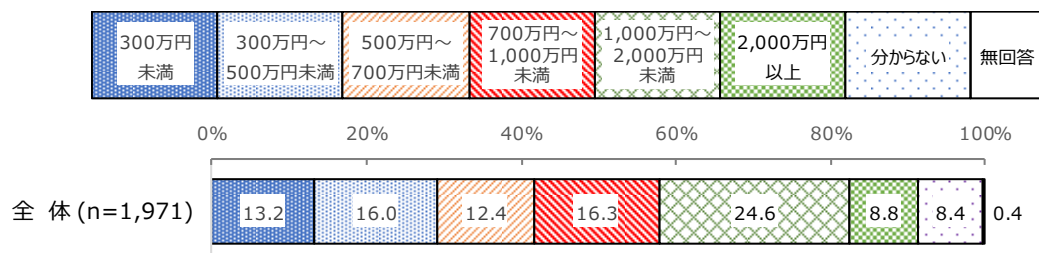
(10) 居住形態

図Ⅱ-10 居住形態



(11) 世帯年収

図Ⅱ-11 世帯年収



### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 居住年数について

##### (1) 居住年数

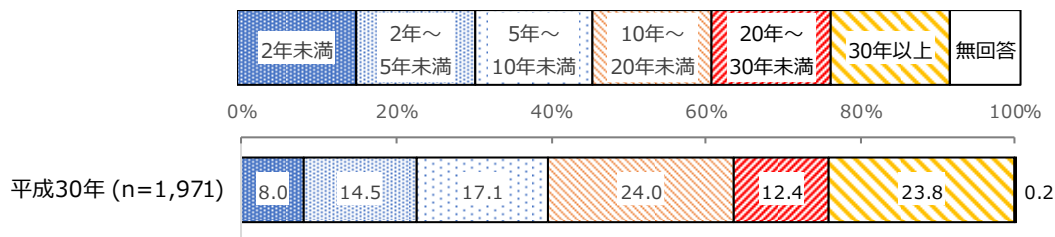
問1 あなたは、渋谷区に住んで何年になりますか。(答は1つ)

※直近の居住年数についてお答えください。過去の居住については含みません。

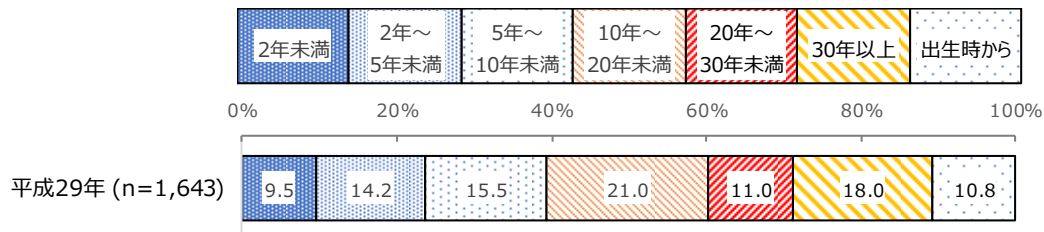
「10年～20年未満」が24.0%で最も高く、次いで「30年以上」(23.8%)が高い。居住年数10年以上が6割を占める。

平成29年調査では選択肢に「出生時から」があるため直接的な比較はできないが、傾向はほぼ同じである。

図Ⅲ-1-1 居住年数



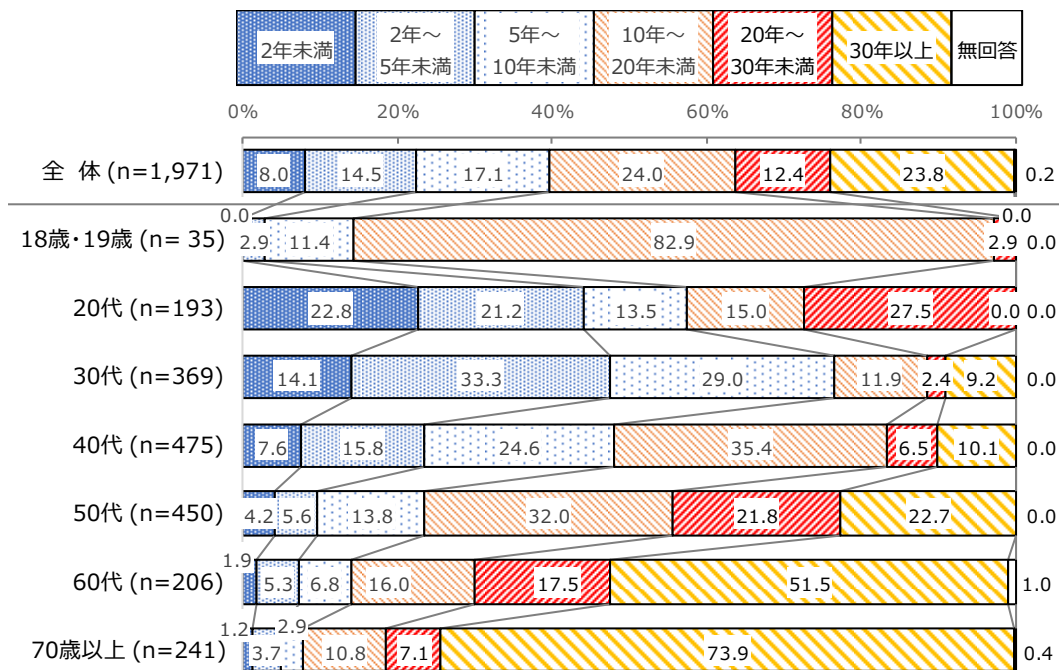
<参考資料>平成29年調査 居住年数



### 【年齢別】

20代は「20年～30年未満」が27.5%で最も高いが、一方で、「2年未満」も22.8%と高い。30代は「2年～5年未満」が33.3%で最も高く、10年未満が7割以上を占める。30代以上は年代が上がるにつれ居住年数が長くなる傾向がみられ、「30年以上」は60代で51.5%、70歳以上で73.9%を占める。

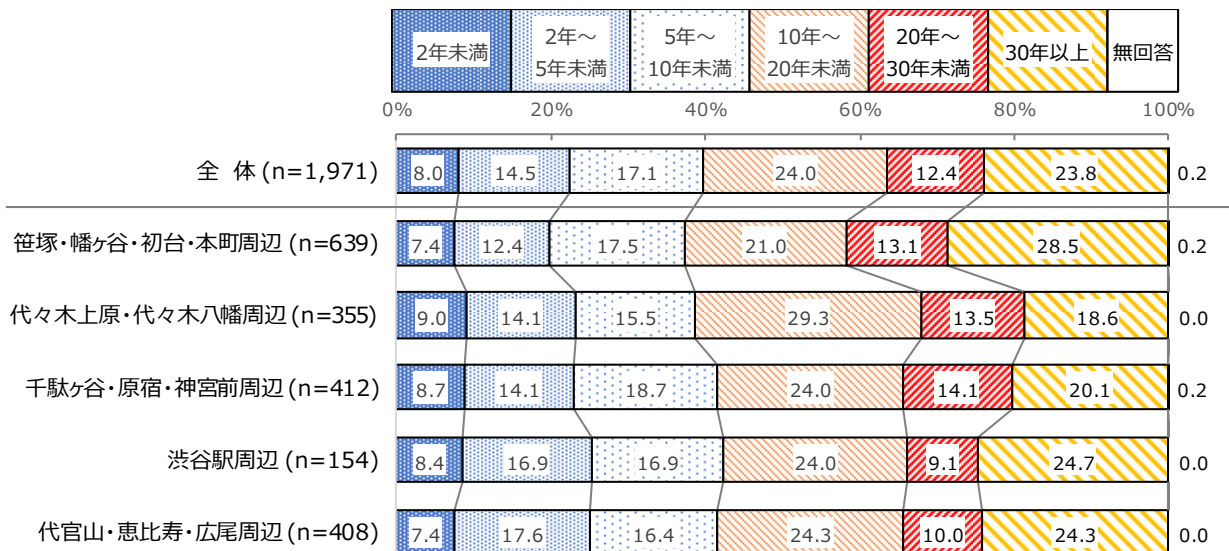
図Ⅲ-1-2 居住年数(年齢別)



### 【地区別】

「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」は20年以上が4割以上を占め、他地域よりやや高い。「代々木上原・代々木八幡周辺」は「10年～20年未満」が29.3%で他地域よりやや高く、「30年以上」が18.6%でやや低い。

図Ⅲ-1-3 居住年数(地区別)

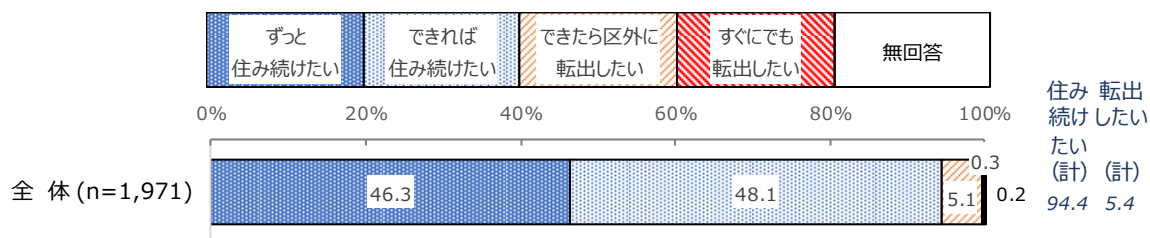


## (2) 今後の定住意向

問3 これからも渋谷区に住みつづけたいと思いますか。(答は1つ)

「できれば住み続けたい」が48.1%、「ずっと住み続けたい」が46.3%である。「住み続けたい(計)」「ずっと住み続けたい」+「できれば住み続けたい」は94.4%に達する。

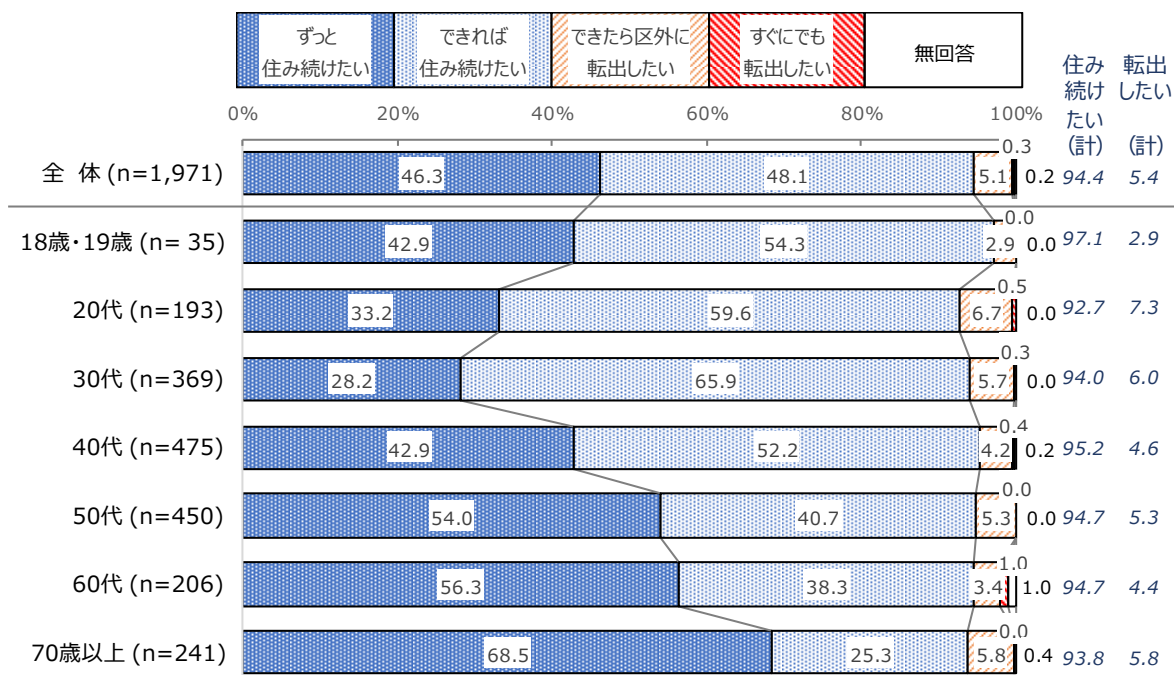
図Ⅲ-1-4 今後の定住意向



### 【年齢別】

「ずっと住み続けたい」はV字型の傾向がみられ、30代(28.2%)が最も低くなっている。しかし、「住み続けたい(計)」は年代による差は小さく、各年代とも9割以上を占める。

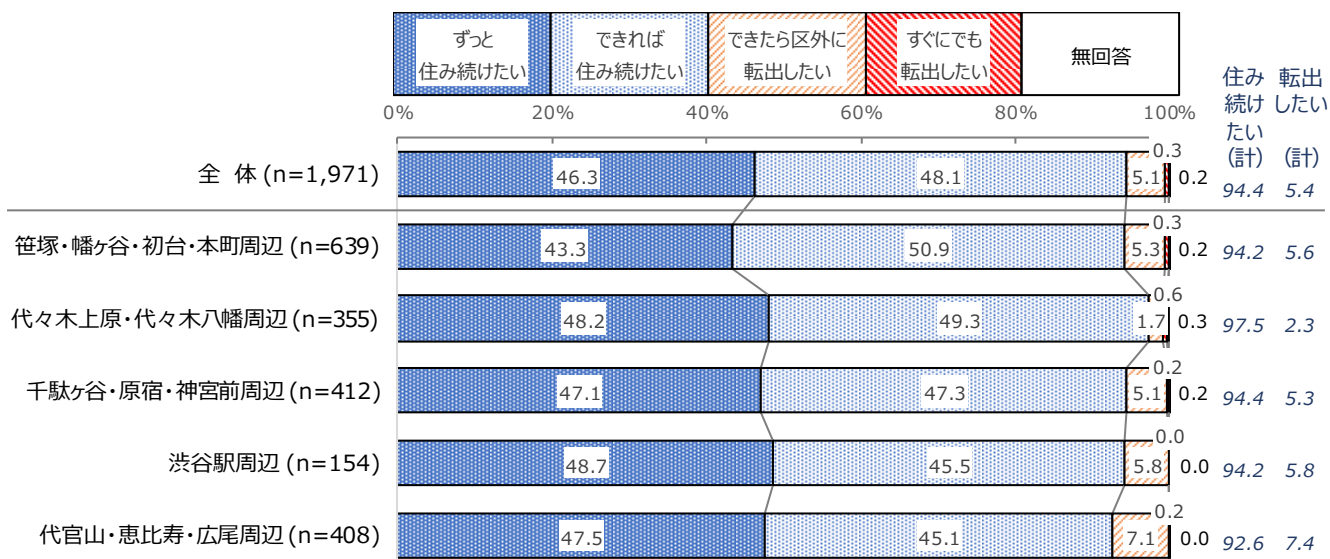
図Ⅲ-1-5 今後の定住意向(年齢別)



### 【地区別】

地区による差は小さいが、「住み続けたい(計)」は「代々木上原・代々木八幡周辺」が 97.5%で最も高く、「代官山・恵比寿・広尾周辺」が 92.6%で他地域に比べ低い。

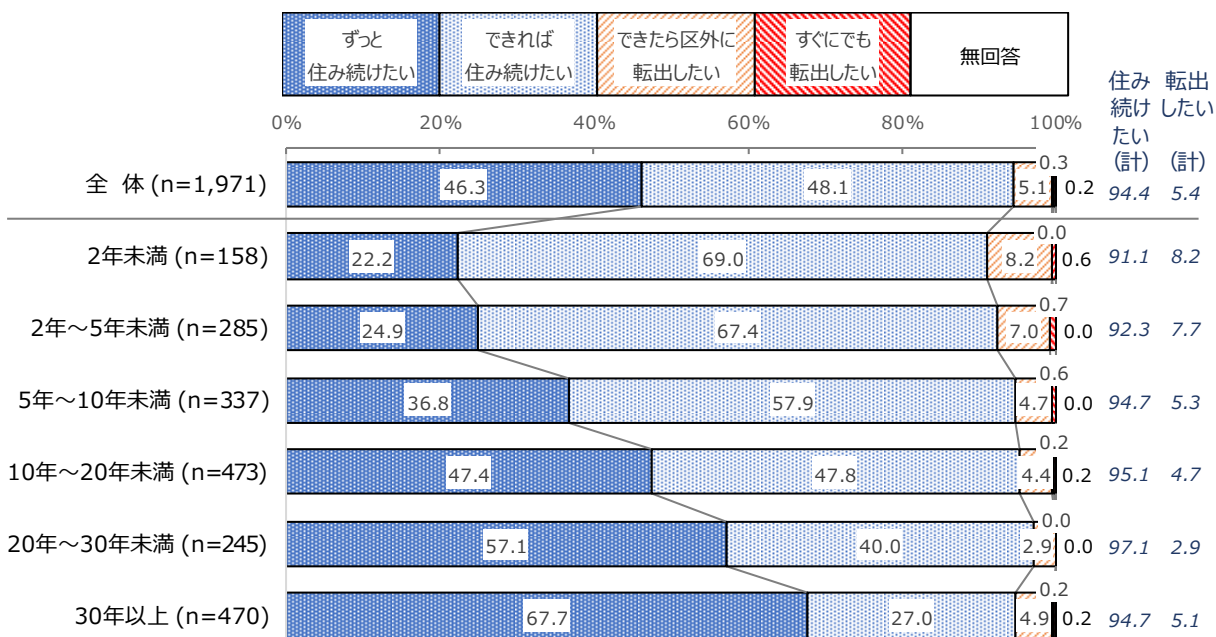
図Ⅲ-1-6 今後の定住意向(地区別)



### 【居住年数別】

「ずっと住み続けたい」は「2年未満」と「2年～5年未満」で2割、それ以降居住年数が長くなるにつれ割合は高くなり、「10年～20年未満」で5割弱、「30年以上」で7割弱を占める。「住み続けたい(計)」はいずれも9割を超えているが、「2年未満」(91.1%)が最も低く、「20年～30年未満」(97.1%)が最も高い。

図Ⅲ-1-7 今後の定住意向(居住年数別)



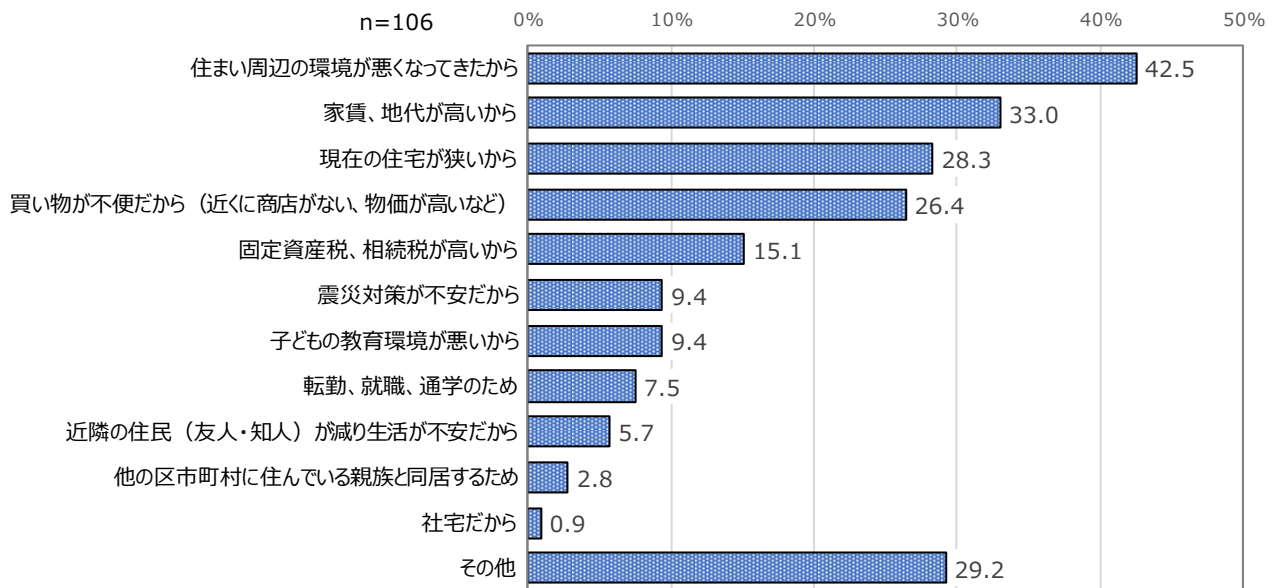


### (3) 転出意向理由

問3-1 あなたが区外に転出したい理由は何ですか。(答は3つまで) [問3で「できれば区外に転出したい」「すぐにも転出したい」と回答した方対象]

「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」が42.5%で最も高い。以下、「家賃、地代が高いから」(33.0%)、「現在の住宅が狭いから」(28.3%)、「買い物が不便だから(近くに商店がない、物価が高いなど)」(26.4%)などが続く。

図Ⅲ-1-8 転出意向理由



【その他の回答】

他区の方が魅力的、自然豊かなところに行きたい、地元に戻りたい、人・観光客が多すぎ、道路が歩きにくい／消防車が通れない道が多い、害虫が多い、区政・都政に不満、働き方の変化や定年退職でライフスタイルが変わる など

## 【地区別】

回答数が 30 以上の地区についてみると、「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」は「家賃、地代が高いから」が 44.4%で最も高い。

表Ⅲ-1-1 転出意向理由(地区別)

	現在の住宅が狭いから	家賃、地代が高いから	固定資産税、相続税が高いから	住まい周辺の環境が悪くなってきたから	震災対策が不安だから	近隣の住民(友人・知人)が減り生活が不安だから	子どもの教育環境が悪いから	買い物が不便だから(近くに商店がない、物価が高いなど)	他の区市町村に住んでいる親族と同居するため	転勤、就職、通学のため	社宅だから	その他
全体 (n=106)	28.3	33.0	15.1	42.5	9.4	5.7	9.4	26.4	2.8	7.5	0.9	29.2
笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺 (n=36)	27.8	<b>44.4</b>	11.1	<u>36.1</u>	<b>16.7</b>	2.8	<u>2.8</u>	<u>13.9</u>	2.8	11.1	2.8	30.6
代々木上原・代々木八幡周辺 (n= 8)	25.0	<u>25.0</u>	<b>25.0</b>	<u>37.5</u>	12.5	<b>12.5</b>	-	<u>12.5</u>	-	-	-	<b>37.5</b>
千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺 (n=22)	27.3	<u>27.3</u>	<b>22.7</b>	<b>54.5</b>	4.5	4.5	<b>22.7</b>	<b>40.9</b>	-	9.1	-	27.3
渋谷駅周辺 (n= 9)	<u>22.2</u>	<u>22.2</u>	<b>22.2</b>	44.4	-	<b>11.1</b>	<b>22.2</b>	<u>11.1</u>	<b>11.1</b>	-	-	-
代官山・恵比寿・広尾周辺 (n=30)	<b>33.3</b>	30.0	<u>10.0</u>	43.3	6.7	6.7	6.7	<b>40.0</b>	3.3	6.7	-	33.3

注) 表中の      は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

## 2. 区政について

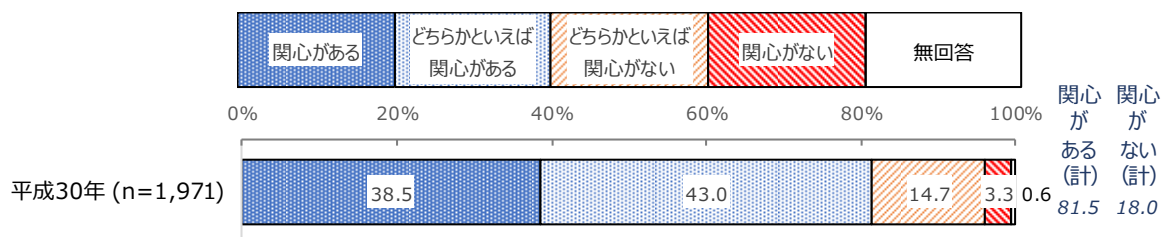
### (1) 区政への関心度

問4 あなたは、渋谷区政に関心がありますか。(答は1つ)

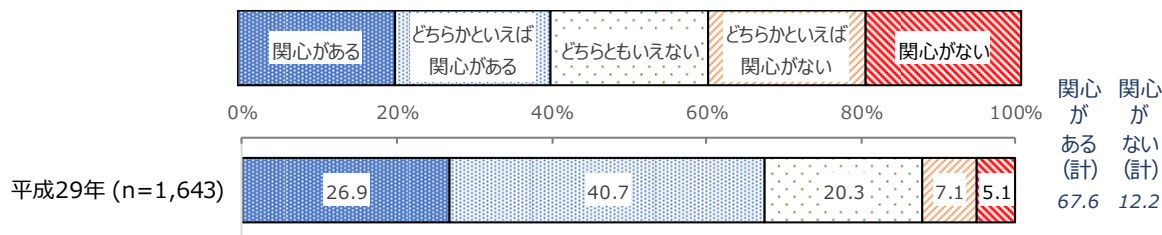
「どちらかといえば関心がある」が 43.0%で最も高い。「関心がある(計)」「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)は 81.5%、「関心がない(計)」「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」)は 18.0%である。

平成 29 年の調査では選択肢に「どちらともいえない」があるため直接的な比較はできないが、「関心がある(計)」が高い傾向に変わりはない。

図Ⅲ-2-1 区政への関心度



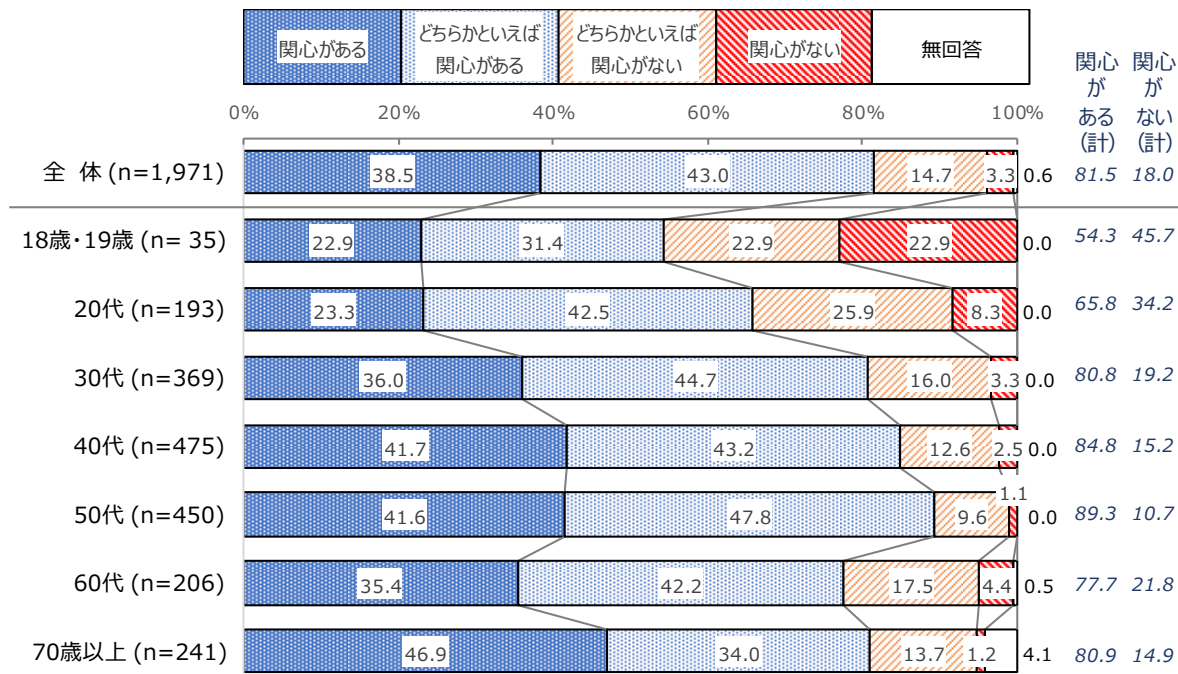
<参考資料>平成 29 年調査 区政への関心度



### 【年齢別】

「関心がある(計)」は10代～50代までは年代が上がるにつれ高くなっており、30代で8割を超え、50代では9割近くを占める。60代以上では「関心がある(計)」はやや下がるものの、8割前後を占める。

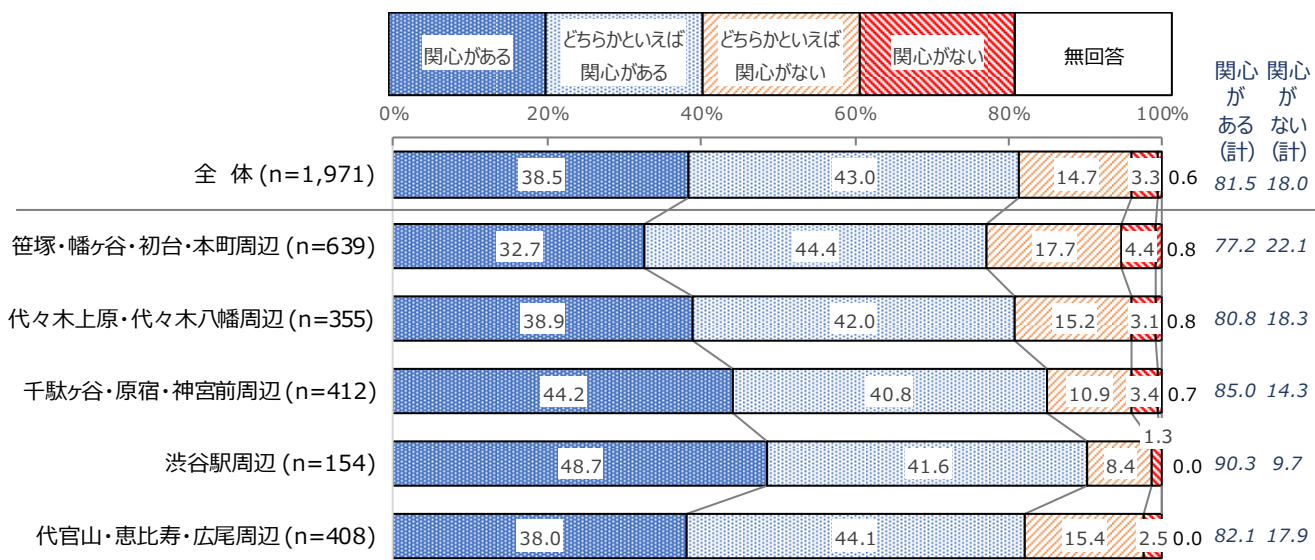
図Ⅲ-2-2 区政への関心度(年齢別)



### 【地区別】

「渋谷駅周辺」は「関心がある」が48.7%で5割弱を占め、「関心がある(計)」も9割を超え、他地域より関心度が高い。一方、「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」は「関心がある」が32.7%、「関心がある(計)」が77.2%で他地域より関心度が低い。

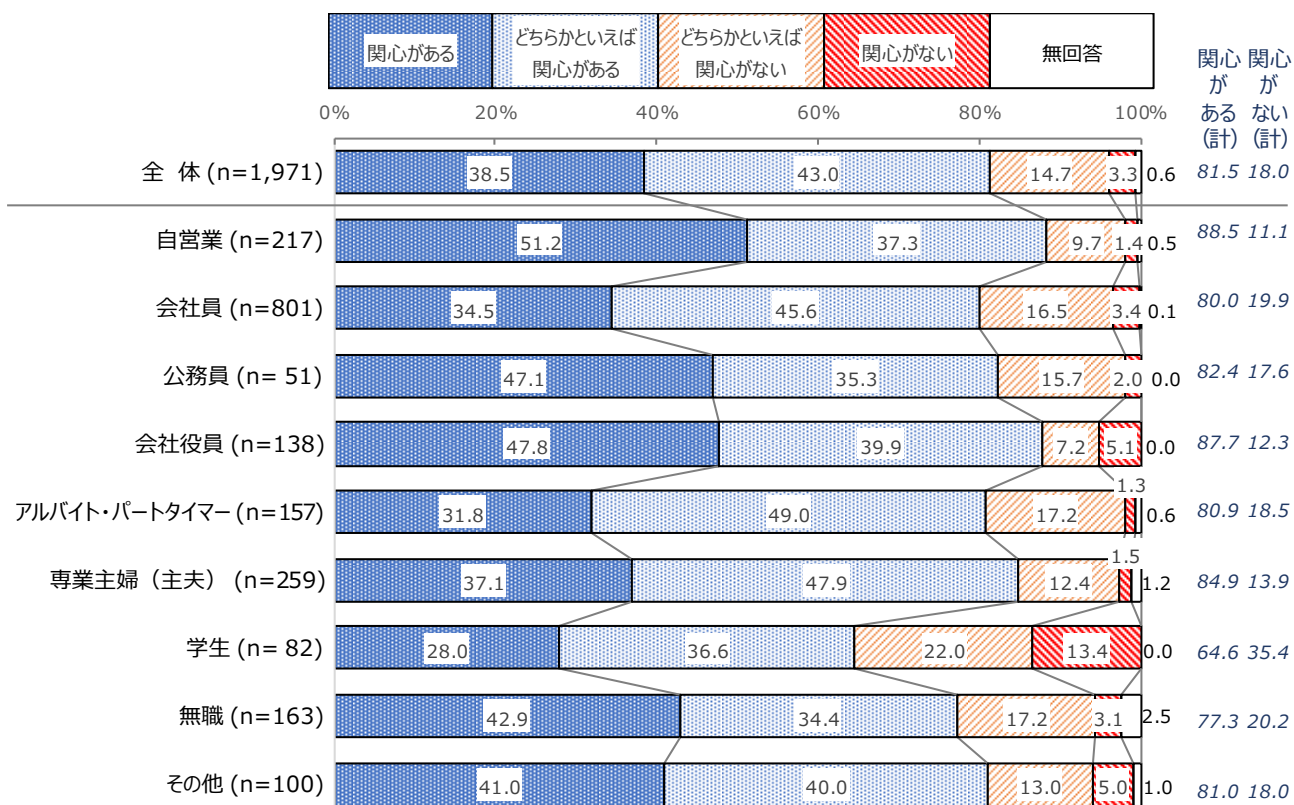
図Ⅲ-2-3 区政への関心度(地区別)



### 【職業別】

自営業は「関心がある」が51.2%を占め、「関心がある(計)」も88.5%で最も高い。「関心がある」は公務員や会社役員も5割弱と高い。一方、学生は「関心がある(計)」が64.6%で、他職業に比べ低い。

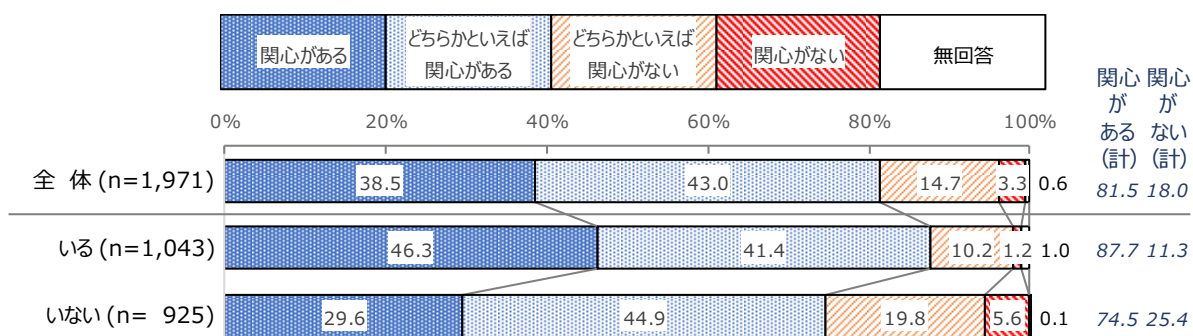
図Ⅲ-2-4 区政への関心度(職業別)



### 【子どもの有無別】

子どもが「いる」層は「いない」層に比べ、区政への関心度が高く、「関心がある」は46.3%、「関心がある(計)」も87.7%に達する。「いない」層の「関心がある(計)」は74.5%である。

図Ⅲ-2-5 区政への関心度(子どもの有無別)



## (2) 区の施策の充実度

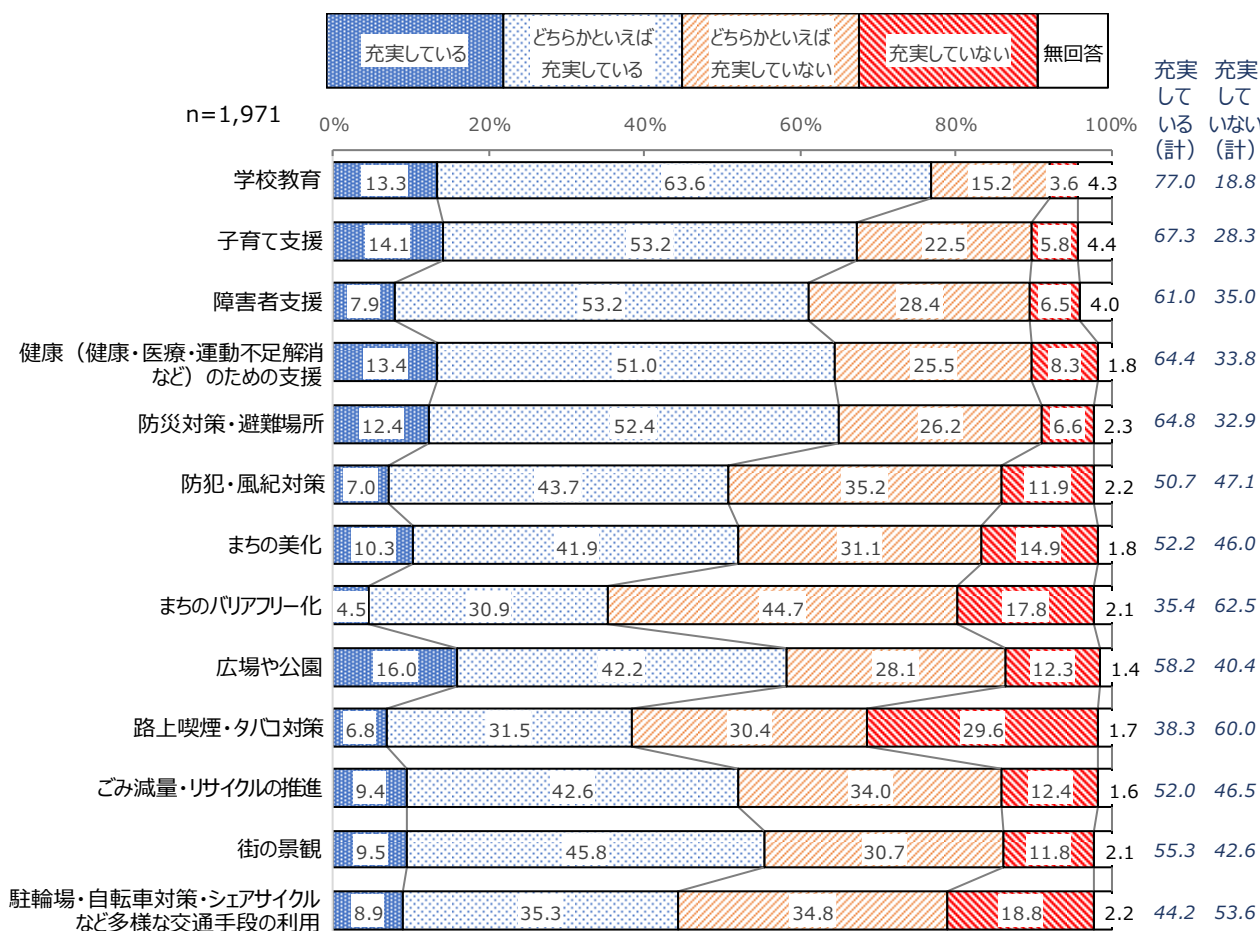
問5 あなたは、渋谷区の以下の施策について充実していると思いますか。(答はそれぞれ1つ)

「充実している(計)」「充実している」+「どちらかといえば充実している」が高い施策は「学校教育」(77.0%)、「子育て支援」(67.3%)、「防災対策・避難場所」(64.8%)、「健康のための支援」(64.4%)などである。

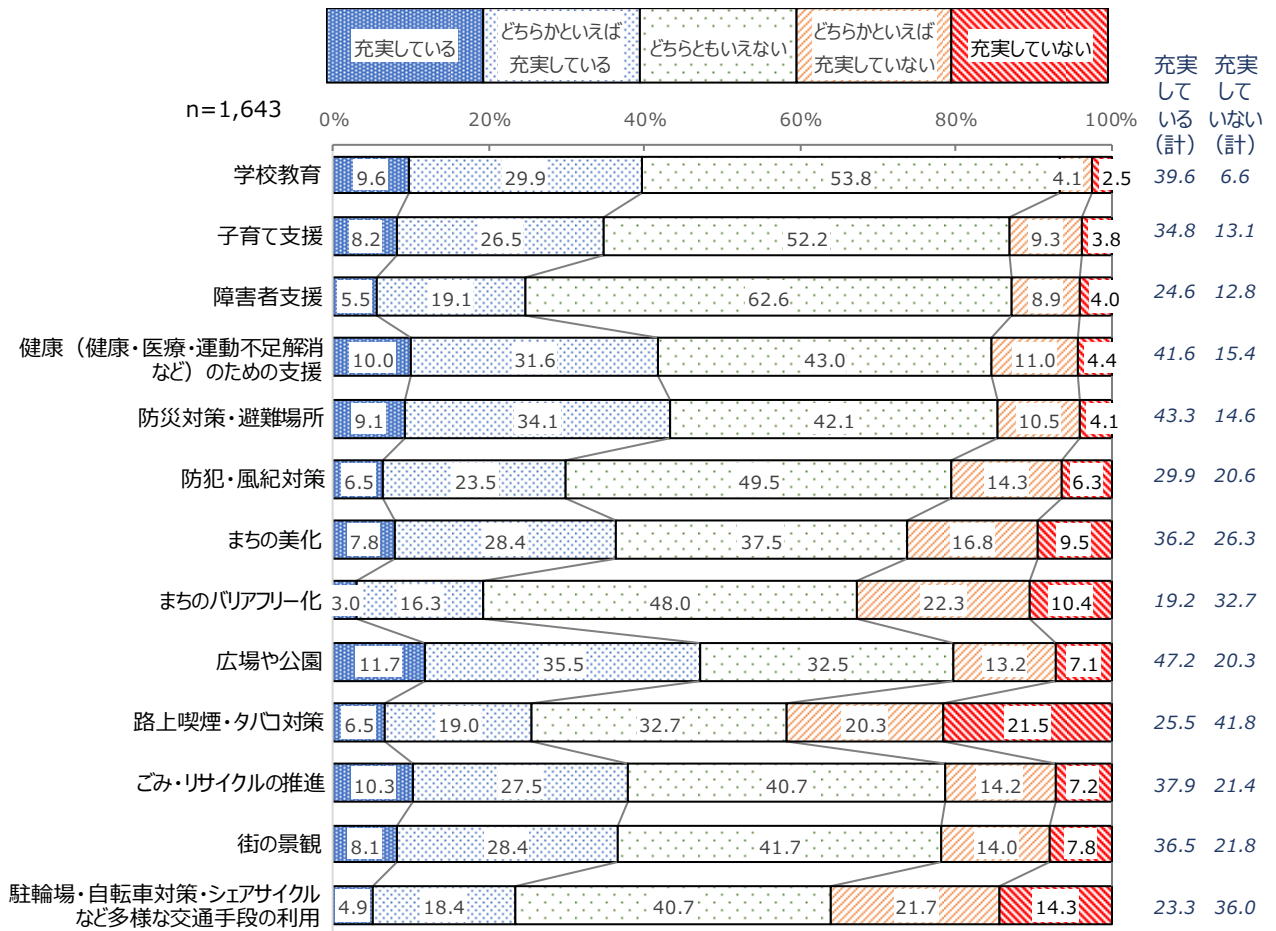
一方、「充実していない(計)」「充実していない」+「どちらかといえば充実していない」が高い施策は、「まちのバリアフリー化」(62.5%)、「路上喫煙・タバコ対策」(60.0%)、「駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど多様な交通手段の利用」(53.6%)などである。

平成29年調査では選択肢に「どちらともいえない」があるため直接的な比較はできない。平成29年で「充実している(計)」が高い施策は「広場や公園」(47.2%)、「防災対策・避難場所」(43.3%)、「健康のための支援」(41.6%)などである。一方、「充実していない(計)」が高い施策は「路上喫煙・タバコ対策」(41.8%)、「駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど多様な交通手段の利用」(36.0%)、「まちのバリアフリー化」(32.7%)などであり、今年の調査と同じ施策が「充実していない(計)」の上位にきている。

図Ⅲ-2-6 区の施策の充実度



<参考資料>平成 29 年調査 区の施策の充実度



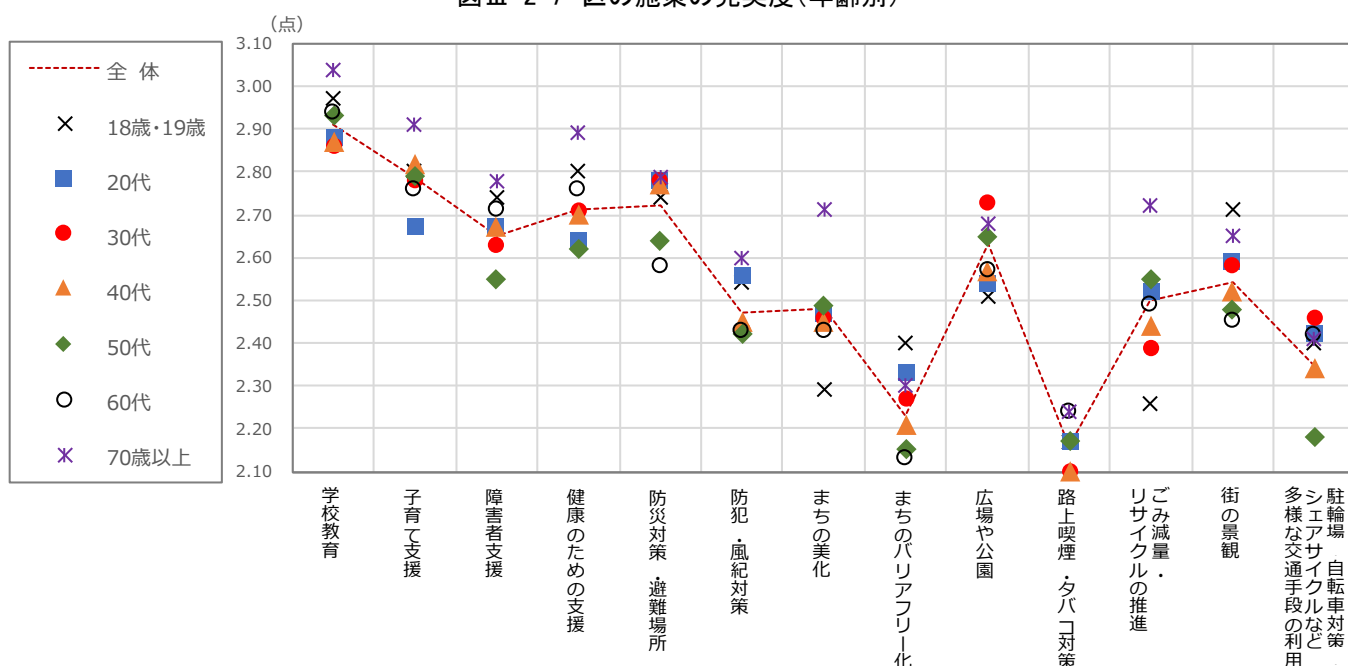
## 【年齢別】

各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出した。

充実している:4点	どちらかといえば充実している:3点
どちらかといえば充実していない:2点	充実していない:1点

70歳以上は多くの項目で平均点が高い傾向がみられる。特に「まちの美化」「ごみ減量・リサイクルの推進」で他の年代との差が大きい。一方、平均点が高いのは、「まちの美化」「ごみ減量・リサイクルの推進」の18歳・19歳、「駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど多様な交通手段の利用」の50代である。

図Ⅲ-2-7 区の施策の充実度(年齢別)



全体 (n=1,971)	18歳・19歳 (n=35)	20代 (n=193)	30代 (n=369)	40代 (n=475)	50代 (n=450)	60代 (n=206)	70歳以上 (n=241)
学校教育	2.97	2.88	2.86	2.87	2.93	2.94	3.04
子育て支援	2.80	2.67	2.78	2.82	2.79	2.76	2.91
障害者支援	2.74	2.67	2.63	2.67	2.55	2.71	2.78
健康のための支援	2.80	2.64	2.71	2.70	2.62	2.76	2.89
防災対策・避難場所	2.74	2.78	2.78	2.77	2.64	2.58	2.79
防犯・風紀対策	2.54	2.56	2.43	2.45	2.42	2.43	2.60
まちの美化	2.29	2.47	2.46	2.45	2.49	2.43	2.71
まちのバリアフリー化	2.40	2.33	2.27	2.21	2.15	2.13	2.30
広場や公園	2.51	2.54	2.73	2.57	2.65	2.57	2.68
路上喫煙・タバコ対策	2.17	2.17	2.10	2.10	2.17	2.24	2.24
ごみ減量・リサイクルの推進	2.26	2.52	2.39	2.44	2.55	2.49	2.72
街の景観	2.71	2.59	2.58	2.52	2.48	2.45	2.65
駐輪場・自転車対策 シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用	2.40	2.42	2.46	2.34	2.18	2.42	2.41

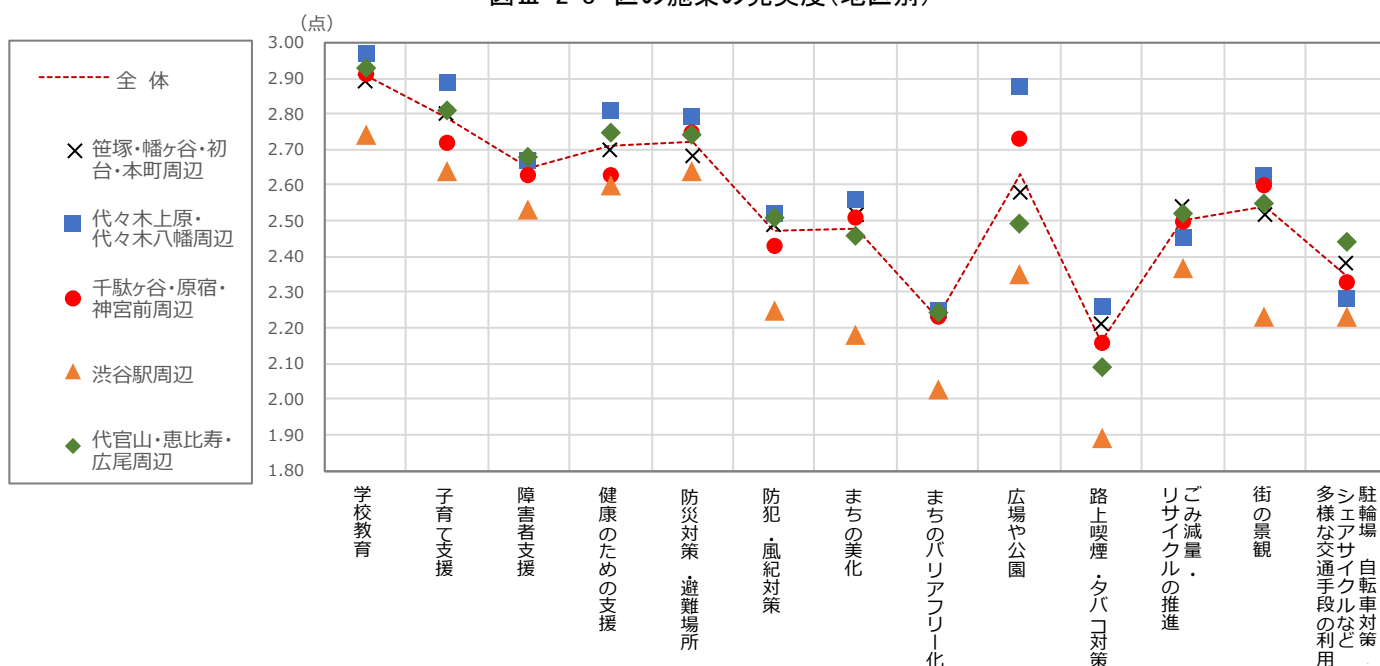


## 【地区別】

各回答について年齢別と同様の手法で平均点を算出した。

「渋谷駅周辺」は全ての施策で平均点が他地域より低く、特に「路上喫煙・タバコ対策」は平均点が 1.89 点と2点を割り込んでいる。同様に、「まちのバリアフリー化」、「まちの美化」、「街の景観」なども他地域との差が大きく、街の構造や外観に対して他地域より厳しい評価をしていることがうかがえる。

図Ⅲ-2-8 区の施策の充実度(地区別)



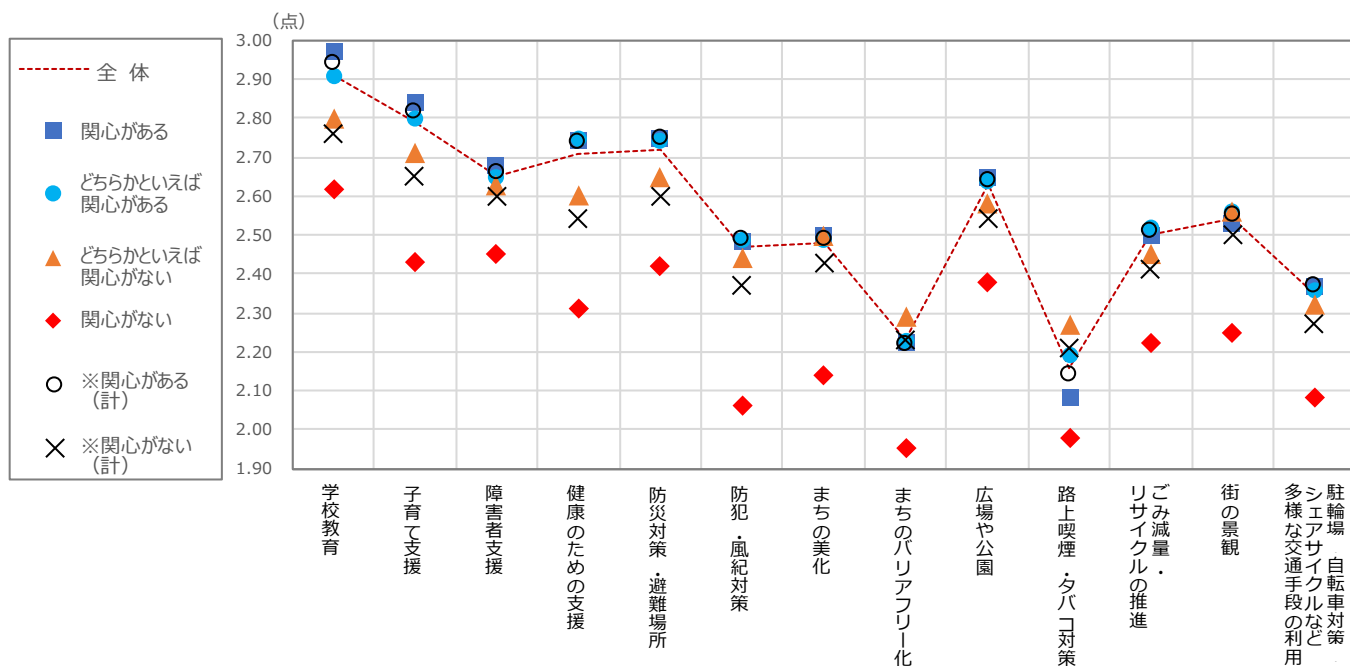
地区	学校教育	子育て支援	障害者支援	健康のための支援	防災対策・避難場所	防犯・風紀対策	まちの美化	まちのバリアフリー化	広場や公園	路上喫煙・タバコ対策	ごみ減量・リサイクルの推進	街の景観	駐輪場・自転車対策 シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用
全体 (n=1,971)	2.91	2.79	2.65	2.71	2.72	2.47	2.48	2.23	2.63	2.16	2.50	2.54	2.35
笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺 (n=639)	2.89	2.80	2.67	2.70	2.68	2.49	2.52	2.25	2.58	2.21	2.54	2.52	2.38
代々木上原・代々木八幡周辺 (n=355)	2.97	2.89	2.67	2.81	2.79	2.52	2.56	2.25	2.88	2.26	2.45	2.63	2.28
千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺 (n=412)	2.91	2.72	2.63	2.63	2.75	2.43	2.51	2.23	2.73	2.16	2.50	2.60	2.33
渋谷駅周辺 (n=154)	2.74	2.64	2.53	2.60	2.64	2.25	2.18	2.03	2.35	1.89	2.37	2.23	2.23
代官山・恵比寿・広尾周辺 (n=408)	2.93	2.81	2.68	2.75	2.74	2.51	2.46	2.24	2.49	2.09	2.52	2.55	2.44

### 【区政への関心度別】

各回答について年齢別と同様の手法で平均点を算出した。

区政に対して「関心がない」は全ての施策で平均点が最も低い。「関心がある(計)」層の方が「関心がない(計)」層よりも全体的に平均点が高くなるが、「障害者支援」、「まちの美化」、「まちのバリアフリー化」、「街の景観」などは両者の差が小さい。

図Ⅲ-2-9 区の施策の充実度(区政への関心度別)

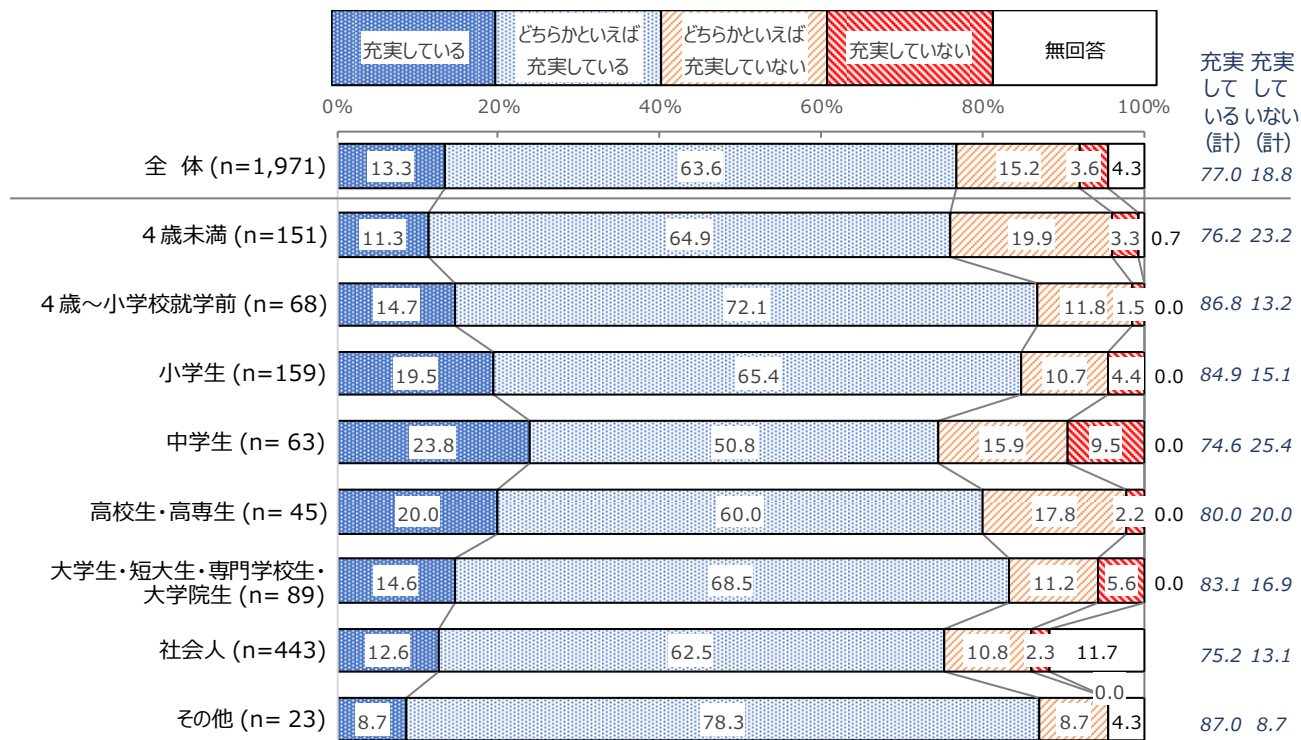


全体 (n=1,971)	2.91	2.79	2.65	2.71	2.72	2.47	2.48	2.23	2.63	2.16	2.50	2.54	2.35
関心がある (n=759)	2.97	2.84	2.68	2.74	2.75	2.48	2.50	2.22	2.65	2.08	2.50	2.53	2.37
どちらかといえば関心がある (n=847)	2.91	2.80	2.65	2.75	2.74	2.49	2.49	2.23	2.64	2.19	2.52	2.56	2.36
どちらかといえば関心がない (n=289)	2.80	2.71	2.63	2.60	2.65	2.44	2.50	2.29	2.58	2.27	2.45	2.56	2.32
関心がない (n= 65)	2.62	2.43	2.45	2.31	2.42	2.06	2.14	1.95	2.38	1.98	2.22	2.25	2.08
※関心がある(計) (n=1,606)	2.94	2.82	2.66	2.74	2.75	2.49	2.49	2.22	2.64	2.14	2.51	2.55	2.37
※関心がない(計) (n=354)	2.76	2.65	2.60	2.54	2.60	2.37	2.43	2.23	2.54	2.21	2.41	2.50	2.27

### 【長子年齢別の学校教育の施策評価】

「充実している(計)」が高いのは、「4歳～小学校就学前」(86.8%)、「小学生」(84.9%)、「大学生・短大生・専門学校生・大学院生」(83.1%)などである。一方、「充実していない(計)」は「中学生」(25.4%)、「4歳未満」(23.2%)が他層よりやや高い。

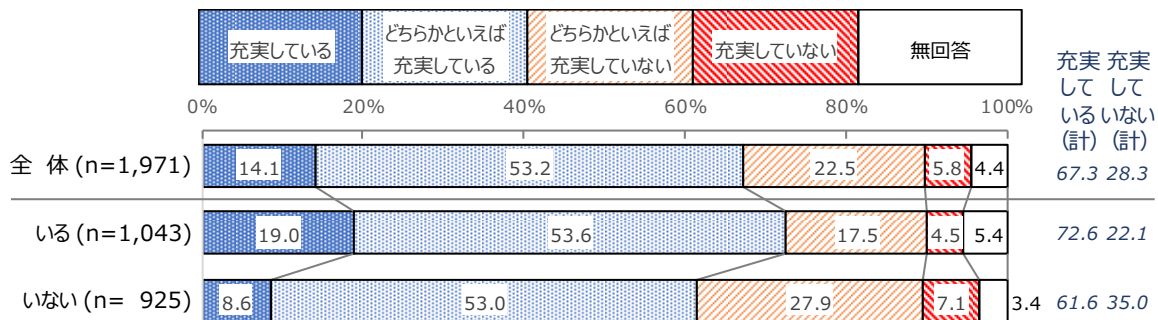
図Ⅲ-2-10 区の施策の充実度(長子年齢別の学校教育の施策評価)



### 【子どもの有無別の子育て支援の施策評価】

「充実している」は子どもが「いる」層が 19.0%で、「いない」層の 8.6%より倍以上高い。子どもが「いる」層の「充実している(計)」は 72.6%、「充実していない(計)」は 22.1%である

図Ⅲ-2-11 区の施策の充実度(子どもの有無別の子育て支援の施策評価)



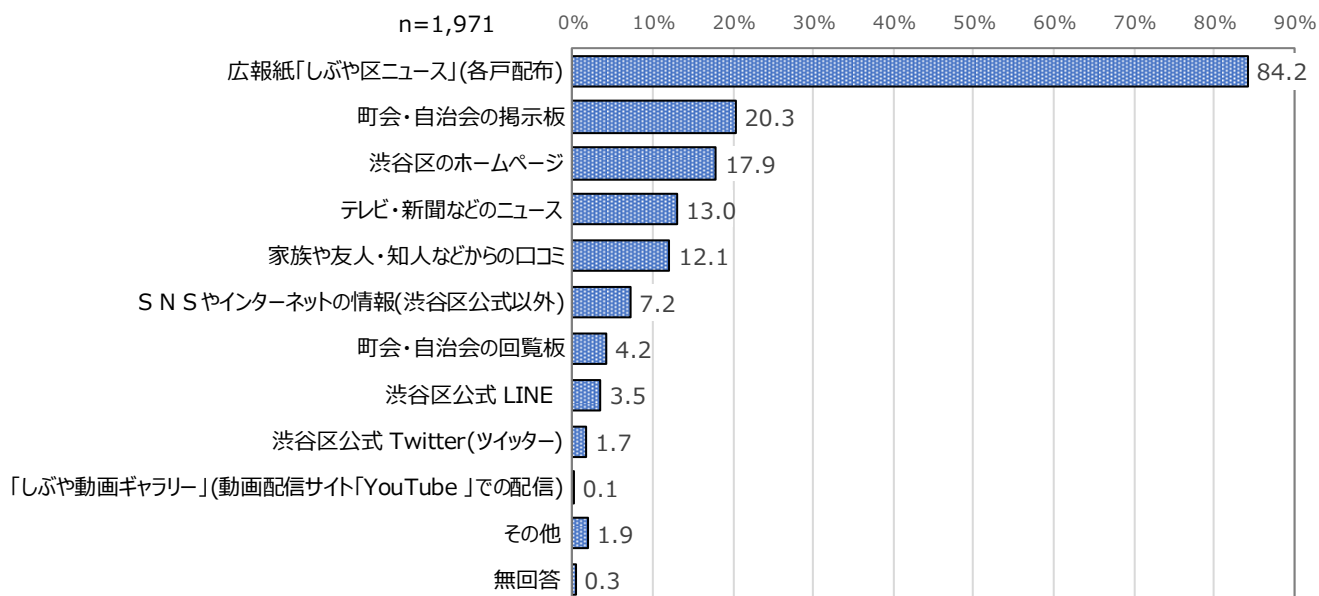
### (3) 区政の情報入手経路

問6 あなたは日頃、区政に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。(答は2つまで)

「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が 84.2%で最も高い。以下、「町会・自治会の掲示板」(20.3%)、「渋谷区のホームページ」(17.9%)などが続く。

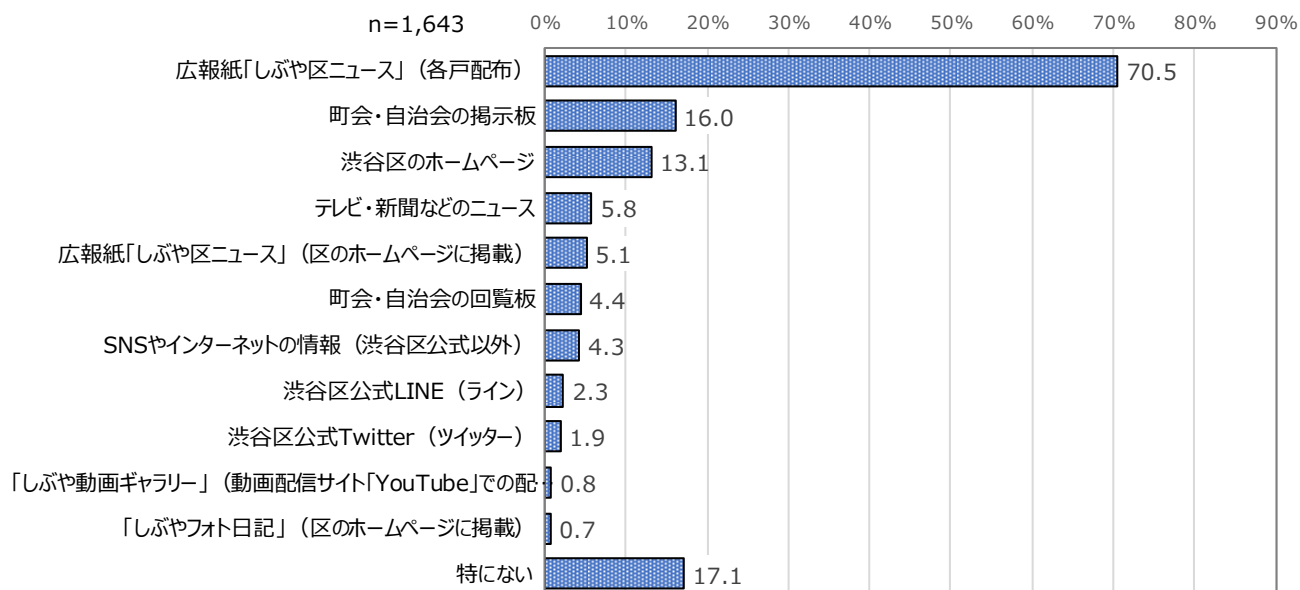
平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、傾向は概ね同じであり、上位4位までは今年と同じである。

図Ⅲ-2-12 区政の情報入手経路



[その他の回答]  
 入手していない、区議のチラシ・区議会議員・区長、子供の学校の配布、催物時、仕事の現場、渋谷のラジオ、商店会、東京青年会議所

#### <参考資料>平成 29 年調査 区政の情報入手経路



## 【年齢別】

「広報紙『しぶや区ニュース』（各戸配布）」は年代が上がるにつれ高くなっており、30代以上は8割を超えている。60代以上は「町会・自治会の掲示板」も3割以上である。「渋谷区のホームページ」は30～50代で2割を超えている。18歳・19歳と20代では、「家族や友人・知人などからの口コミ」「テレビ・新聞などのニュース」「SNSやインターネットの情報（渋谷区公式以外）」が他の年代より高い。

表Ⅲ-2-1 区政の情報入手経路(年齢別)

(%)

	広報紙 「しぶや 区ニュース」(各 戸配 布)	渋谷区 のホーム ページ	「しぶや 動画ギャ ラリー」 (動画 配信サイ ト「You Tube」 での配 信)	渋谷区 公式 Twitter (ツイ ター)	渋谷区 公式 LINE	町会・自 治会の 掲示板	町会・自 治会の 回覧板	テレビ・ 新聞など のニュー ス	SNS やイン ターネット の情報 (渋谷 区公式 以外)	家族や 友人・知 人などか らの口コ ミ	その他	無回答
全 体 (n=1,971)	84.2	17.9	0.1	1.7	3.5	20.3	4.2	13.0	7.2	12.1	1.9	0.3
18歳・19歳 (n=35)	<u>45.7</u>	<u>5.7</u>	-	-	-	<u>2.9</u>	5.7	<b>22.9</b>	<b>17.1</b>	<b>48.6</b>	2.9	-
20代 (n=193)	<u>56.5</u>	<u>11.4</u>	-	4.1	2.6	<u>10.9</u>	2.6	<b>18.7</b>	<b>16.6</b>	<b>21.8</b>	5.2	-
30代 (n=369)	82.1	20.9	0.3	2.7	<b>11.4</b>	<u>12.5</u>	1.1	10.6	10.0	10.0	1.9	-
40代 (n=475)	87.2	22.7	-	2.3	3.4	<u>14.1</u>	1.1	9.5	7.8	14.5	2.7	-
50代 (n=450)	<b>89.6</b>	20.9	-	1.1	1.3	22.4	3.6	13.1	4.9	8.0	1.1	-
60代 (n=206)	<b>91.3</b>	13.6	-	-	-	<b>30.1</b>	<b>10.7</b>	16.5	<u>1.9</u>	7.8	-	1.5
70歳以上 (n=241)	<b>93.4</b>	<u>8.7</u>	-	-	-	<b>41.9</b>	<b>12.0</b>	14.9	<u>1.7</u>	8.7	0.4	1.2

注) 表中の      は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

## 【区政への関心度別】

「広報紙『しぶや区ニュース』（各戸配布）」や「町会・自治会の掲示板」は区政に対して「関心がある」層に比べ、「関心がない」層は顕著に低い。

表Ⅲ-2-2 区政の情報入手経路(区政への関心度別)

(%)

	広報紙 「しぶや 区ニュース」(各 戸配 布)	渋谷区 のホーム ページ	「しぶや 動画ギャ ラリー」 (動画 配信サイ ト「You Tube」 での配 信)	渋谷区 公式 Twitter (ツイ ター)	渋谷区 公式 LINE	町会・自 治会の 掲示板	町会・自 治会の 回覧板	テレビ・ 新聞など のニュー ス	SNS やイン ターネット の情報 (渋谷 区公式 以外)	家族や 友人・知 人などか らの口コ ミ	その他	無回答
全 体 (n=1,971)	84.2	17.9	0.1	1.7	3.5	20.3	4.2	13.0	7.2	12.1	1.9	0.3
関心がある (n=759)	<b>89.9</b>	19.5	0.1	1.3	4.9	22.7	4.6	10.7	8.7	13.7	1.2	0.1
どちらかといえば 関心がある (n=847)	85.0	17.7	-	2.5	3.2	21.0	3.5	15.3	6.1	10.5	1.3	0.2
どちらかといえば 関心がない (n=289)	<u>74.7</u>	15.2	-	1.0	1.4	<u>13.8</u>	4.5	13.8	6.9	11.8	3.1	0.3
関心がない (n= 65)	<u>49.2</u>	15.4	-	-	1.5	<u>13.8</u>	6.2	<u>6.2</u>	6.2	16.9	<b>12.3</b>	1.5
関心がある (計) (n=1,606)	87.3	18.6	0.1	1.9	4.0	21.8	4.0	13.1	7.3	12.0	1.2	0.2
関心がない (計) (n= 354)	<u>70.1</u>	15.3	-	0.8	1.4	<u>13.8</u>	4.8	12.4	6.8	12.7	4.8	0.6

注) 表中の      は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### 3. 渋谷区基本構想について

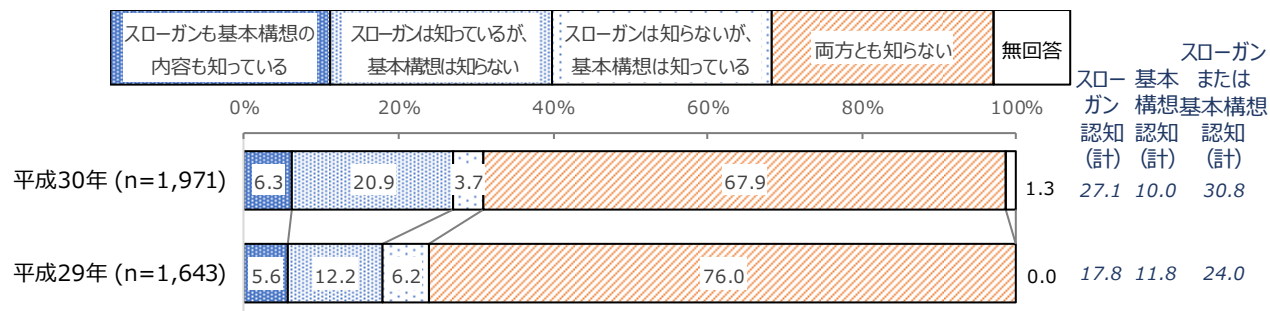
#### (1) 基本構想とスローガンの認知度

問7 渋谷区では平成28年10月に渋谷区の未来像として、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」というスローガンを掲げる新しい基本構想を策定しました。この基本構想またはスローガンをご存知ですか。(答は1つ)  
 ※このアンケートに答える前の事についてお答えください。

「両方とも知らない」が 67.9%で最も高い。次いで、「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」(20.9%)が高い。スローガンの認知率(「スローガンも基本構想の内容も知っている」+「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」)は27.1%、基本構想の認知率(「スローガンも基本構想の内容も知っている」+「スローガンは知らないが、基本構想は知っている」)は10.0%である。

平成29年調査と比較すると、スローガンの認知率は平成29年の17.8%から9ポイント上がっている。

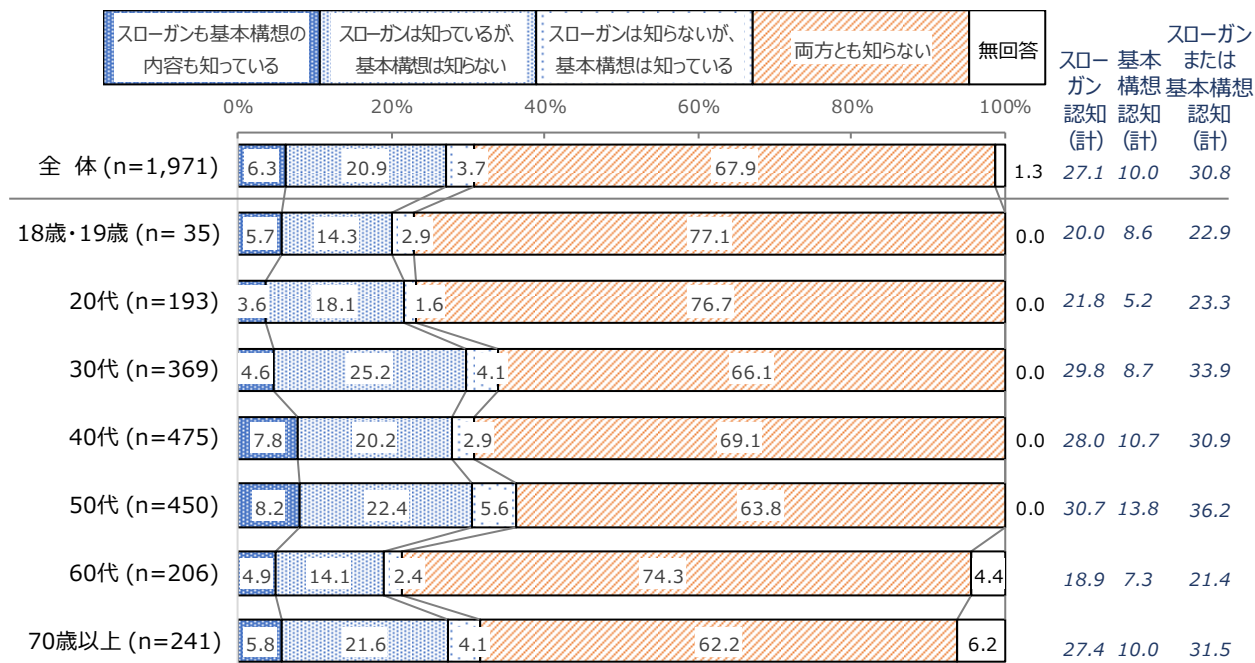
図Ⅲ-3-1 基本構想とスローガンの認知度



### 【年齢別】

スローガンの認知率は30～50代が3割前後と高い。基本構想の認知率は40～50代と70歳以上が1割を超えている。スローガンまたは基本構想の認知率は50代が36.2%で最も高く、次いで30代(33.9%)である。

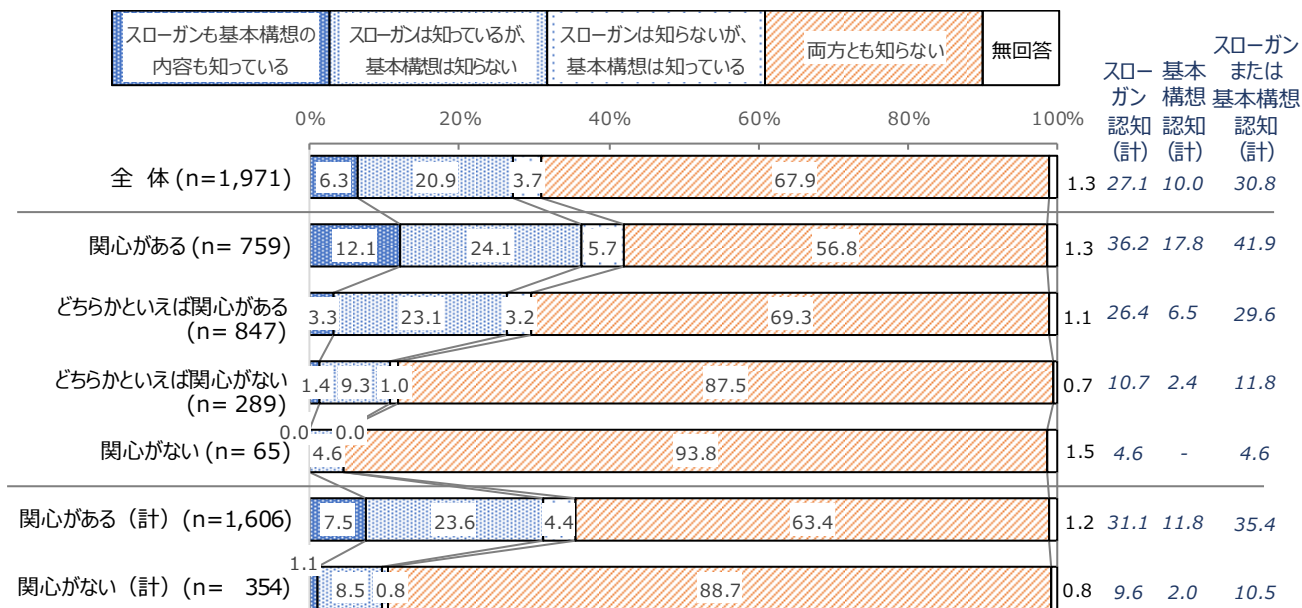
図Ⅲ-3-2 基本構想とスローガンの認知度(年齢別)



### 【区政への関心度別】

区政に対して「関心がある」層は認知度も高く、「関心がある(計)」のスローガンの認知率は31.1%、基本構想の認知率は11.8%、スローガンまたは基本構想の認知率は35.4%である。一方、「関心がない(計)」はスローガンまたは基本構想の認知率がわずか10.5%である。

図Ⅲ-3-3 基本構想とスローガンの認知度(区政への関心度別)



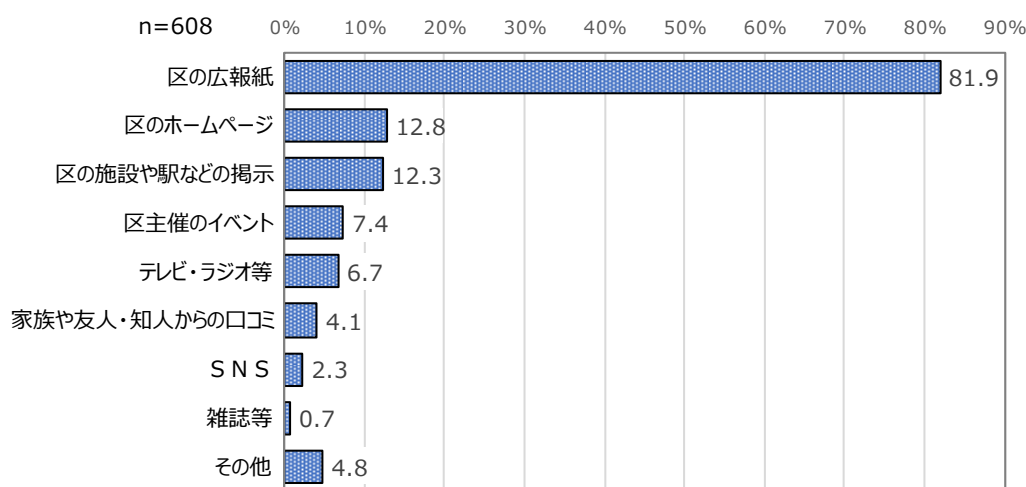
## (2) 基本構想とスローガンの認知経路

問7-1 スローガンまたは基本構想を何からお知りになりましたか。(答は2つまで) [問7で「スローガンも基本構想の内容も知っている」「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」「スローガンは知らないが、基本構想は知っている」と回答した方対象]

「区の広報紙」が 81.9%で最も高い。「区のホームページ」は 12.8%、「区の施設や駅などの掲示」は 12.3%である。

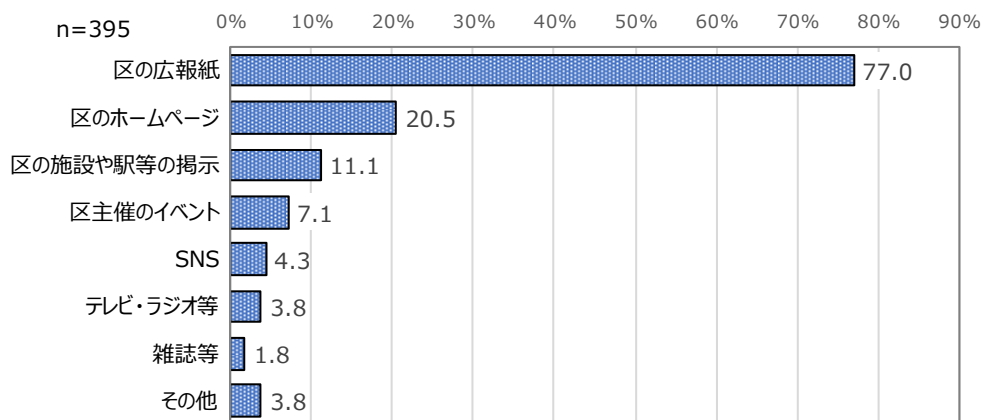
平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、傾向は概ね同じであり、上位4位までは今年と同じである。

図Ⅲ-3-4 基本構想とスローガンの認知経路



[その他の回答]  
歌（こどもミュージカル、盆踊りなど）、区長・議員、区民意識調査ハガキ、会合・会議、サイトの記事、建物の掲示、学校の授業、仕事、渋谷区の便利帳

### <参考資料> 平成 29 年調査 基本構想とスローガンの認知経路





### 【年齢別】

回答数の少ない18歳・19歳を除くと、「区の広報紙」は20代が60.0%で最も低く、70歳以上が94.7%で最も高い。20代は「区のホームページ」や「区の施設や駅などの掲示」がともに22.2%で他の年代より高い。

表Ⅲ-3-1 基本構想とスローガンの認知経路(年齢別)

	区の広報紙	区のホームページ	テレビ・ラジオ等	雑誌等	SNS	区主催のイベント	区の施設や駅などの掲示	家族や友人・知人からの口コミ	その他
全体 (n=608)	81.9	12.8	6.7	0.7	2.3	7.4	12.3	4.1	4.8
18歳・19歳 (n= 8)	<u>50.0</u>	-	-	-	-	-	12.5	<b>37.5</b>	<b>25.0</b>
20代 (n= 45)	<u>60.0</u>	<b>22.2</b>	6.7	-	6.7	6.7	<b>22.2</b>	4.4	-
30代 (n=125)	<b>87.2</b>	14.4	10.4	-	2.4	6.4	12.8	1.6	2.4
40代 (n=147)	<u>76.9</u>	12.2	3.4	-	3.4	8.2	11.6	4.8	7.5
50代 (n=163)	82.2	13.5	6.1	0.6	1.8	6.1	8.0	3.1	5.5
60代 (n= 44)	<b>88.6</b>	<u>4.5</u>	4.5	4.5	-	4.5	9.1	6.8	6.8
70歳以上 (n= 76)	<b>94.7</b>	10.5	10.5	1.3	-	<b>13.2</b>	<b>18.4</b>	3.9	1.3

注) 表中の      は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

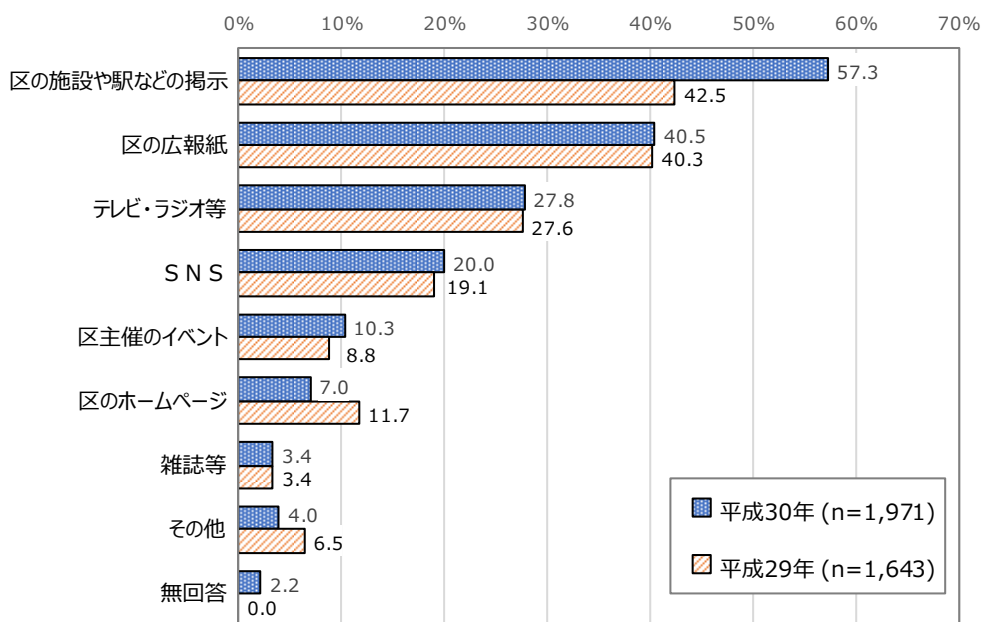
### (3) 基本構想とスローガンの広報手段

問8 スローガン、基本構想がどのようなところで紹介されれば目にふれると思いますか。(答は2つまで)

「区の施設や駅などの掲示」が 57.3% で最も高く、次いで、「区の広報紙」(40.5%) が高い。

平成 29 年調査と比較すると、「区の施設や駅などの掲示」が平成 29 年より高いが、上位4位までの順位は同じである。

図Ⅲ-3-5 基本構想とスローガンの広報手段



[平成 30 年調査 その他の回答]

バス・電車等の交通機関の車内や外側、学校や保育園で掲示・配布、町会の掲示板、コンビニ・スーパー・商業施設、新聞、バス停、ポスター、区長の遊説、LINE、町会・マンションの管理組合、説明会、チラシ、英語表記 など

### 【年齢別】

「区の施設や駅などの掲示」は50代以下で6割を超えている。「区の広報紙」は60代が54.4%、70歳以上が71.4%と高いが、30代以下では2～3割程度にとどまっており、その代わり30代以下は「SNS」が3～4割と他の年代より高い。「テレビ・ラジオ等」は各年代とも2～3割程度である。

表Ⅲ-3-2 基本構想とスローガンの広報手段(年齢別)

	区の広報紙	区のホームページ	テレビ・ラジオ等	雑誌等	SNS	区主催のイベント	区の施設や駅などの掲示	その他	無回答
全体 (n=1,971)	40.5	7.0	27.8	3.4	20.0	10.3	57.3	4.0	2.2
18歳・19歳 (n=35)	<u>20.0</u>	-	<b>34.3</b>	-	<b>42.9</b>	8.6	<b>65.7</b>	2.9	-
20代 (n=193)	<u>18.7</u>	6.7	31.1	2.1	<b>42.0</b>	8.8	<b>62.7</b>	2.6	-
30代 (n=369)	<u>30.6</u>	4.9	26.3	3.8	<b>34.4</b>	9.8	60.4	2.7	-
40代 (n=475)	37.3	7.4	26.3	3.8	20.2	11.6	60.6	4.8	-
50代 (n=450)	40.2	8.2	32.0	4.7	<u>13.1</u>	10.7	61.1	5.1	-
60代 (n=206)	<b>54.4</b>	7.8	28.2	3.4	<u>2.9</u>	10.7	<u>50.5</u>	3.4	<b>8.7</b>
70歳以上 (n=241)	<b>71.4</b>	7.5	<u>21.6</u>	1.2	<u>4.1</u>	9.1	<u>39.4</u>	4.1	<b>10.4</b>

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、■ は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### 【区政への関心度別】

「区の施設や駅などの掲示」はいずれの層も最も高い。区政に対して「関心がない(計)」は、「テレビ・ラジオ等」が33.9%で、「関心がある(計)」の26.5%より高いが、「区の広報紙」は32.8%で「関心がある(計)」の42.0%より低い。

表Ⅲ-3-3 基本構想とスローガンの広報手段(区政への関心度別)

	区の広報紙	区のホームページ	テレビ・ラジオ等	雑誌等	SNS	区主催のイベント	区の施設や駅などの掲示	その他	無回答
全体 (n=1,971)	40.5	7.0	27.8	3.4	20.0	10.3	57.3	4.0	2.2
関心がある (n=759)	<b>45.8</b>	7.9	<u>22.0</u>	3.8	19.9	14.1	55.2	4.9	2.4
どちらかといえば関心がある (n=847)	38.6	6.5	30.6	3.4	20.0	8.4	61.3	3.2	1.9
どちらかといえば関心がない (n=289)	<u>34.6</u>	6.2	<b>33.9</b>	2.8	20.1	7.3	55.4	3.5	2.1
関心がない (n=65)	<u>24.6</u>	6.2	<b>33.8</b>	1.5	24.6	6.2	<u>46.2</u>	6.2	1.5
関心がある(計) (n=1,606)	42.0	7.2	26.5	3.6	19.9	11.1	58.4	4.0	2.1
関心がない(計) (n=354)	<u>32.8</u>	6.2	<b>33.9</b>	2.5	20.9	7.1	53.7	4.0	2.0

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、■ は全体より5ポイント以上低いことを示す。

#### 4. 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」について

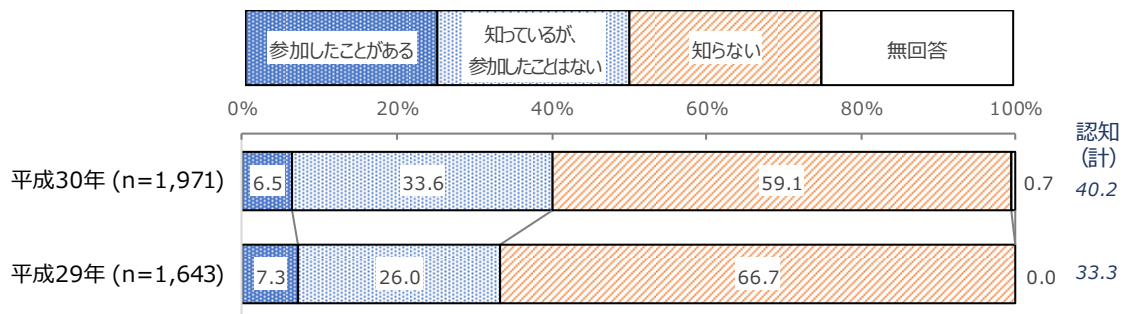
##### (1) 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の認知・参加度

問9 渋谷区は、平成28年からこれまで毎年行ってきた見学型の防災訓練に加え、来場者が実際に体験しながら学べる“参加型の防災訓練”を行っています。この「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」を知っていますか。(答は1つ)

「知らない」が59.1%で最も高い。「知っているが、参加したことはない」は33.6%、「参加したことがある」は6.5%で、認知率(「参加したことがある」+「知っているが、参加したことはない」)は40.2%である。

平成29年調査と比較すると、認知率は平成29年の33.3%から7ポイント上がっている。

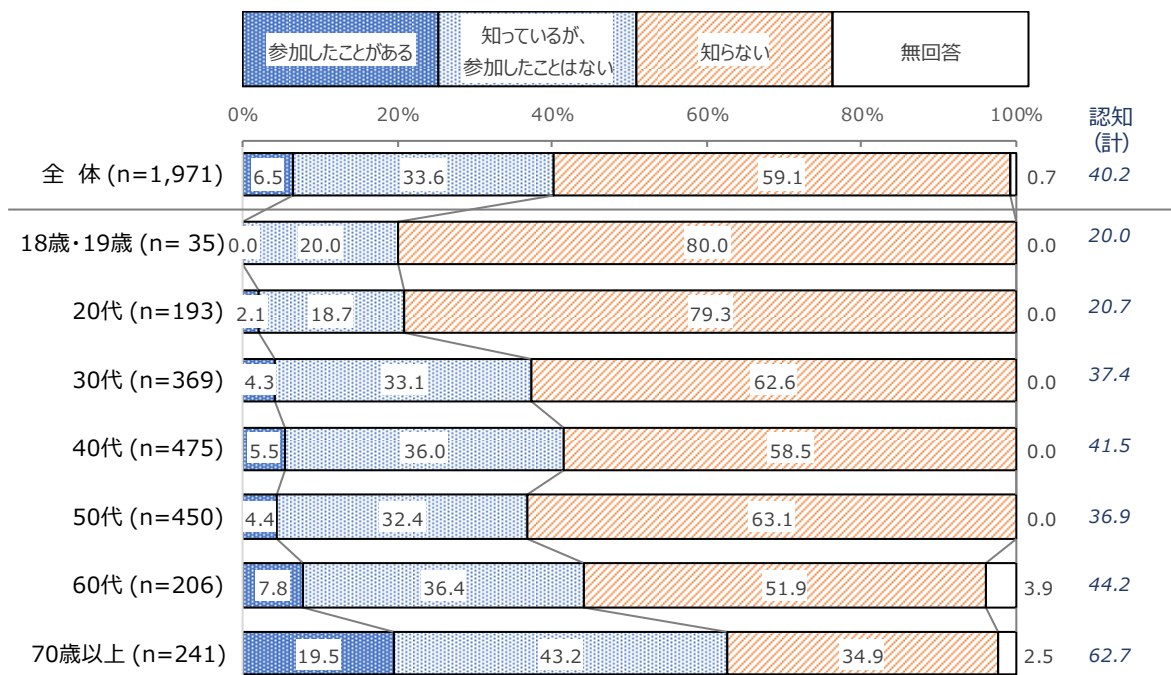
図Ⅲ-4-1 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の認知・参加度



##### 【年齢別】

「参加したことがある」は70歳以上が19.5%で最も高い一方で、60代以下は1割未満である。認知率も70歳以上が62.7%で最も高く、次いで60代(44.2%)、40代(41.5%)と続く。20代以下の認知率はわずか2割である。

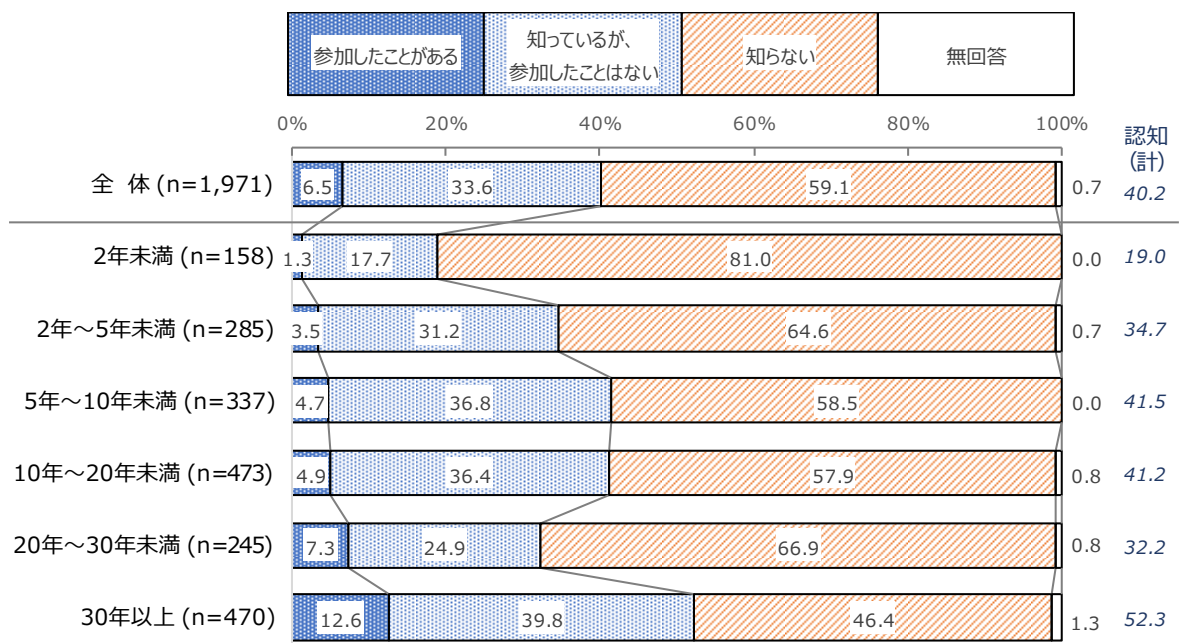
図Ⅲ-4-2 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の認知・参加度(年齢別)



### 【居住年数別】

「参加したことがある」は居住年数「30年以上」が12.6%で最も高い。認知率も「30年以上」が52.3%で最も高い。居住年数「2年未満」の認知率はわずか19.0%である。

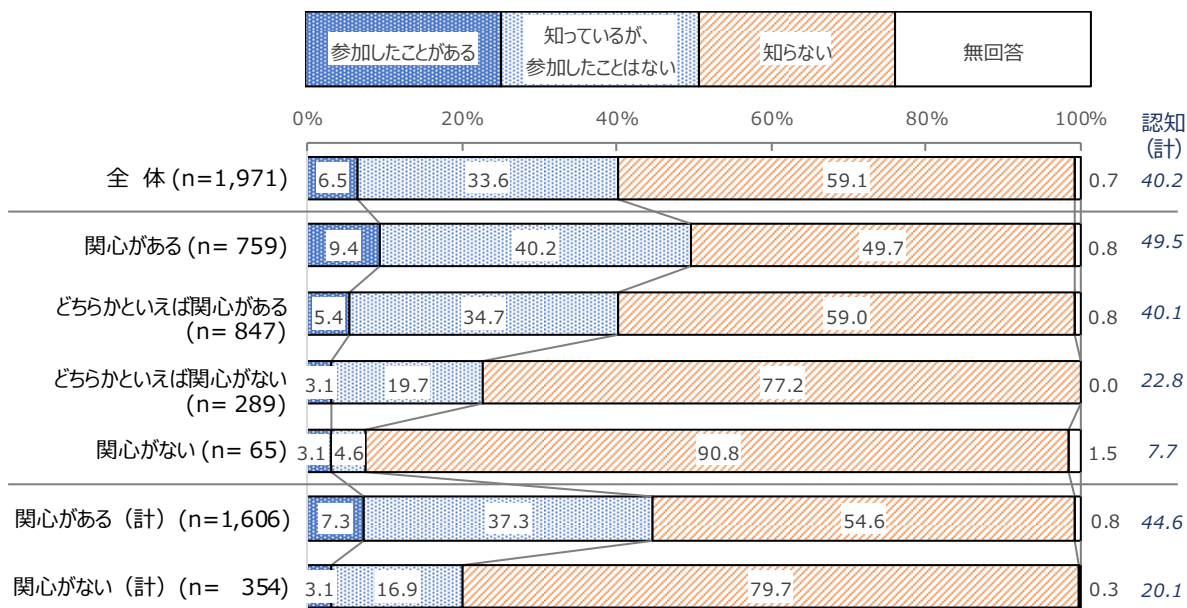
図Ⅲ-4-3 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の認知・参加度(居住年数別)



### 【区政への関心度別】

区政に対して「関心がある」の認知率は49.5%で約半数を占める。「関心がない(計)」の認知率は20.1%で、「関心がある(計)」(44.6%)の半分以下である。

図Ⅲ-4-4 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の認知・参加度(区政への関心度別)



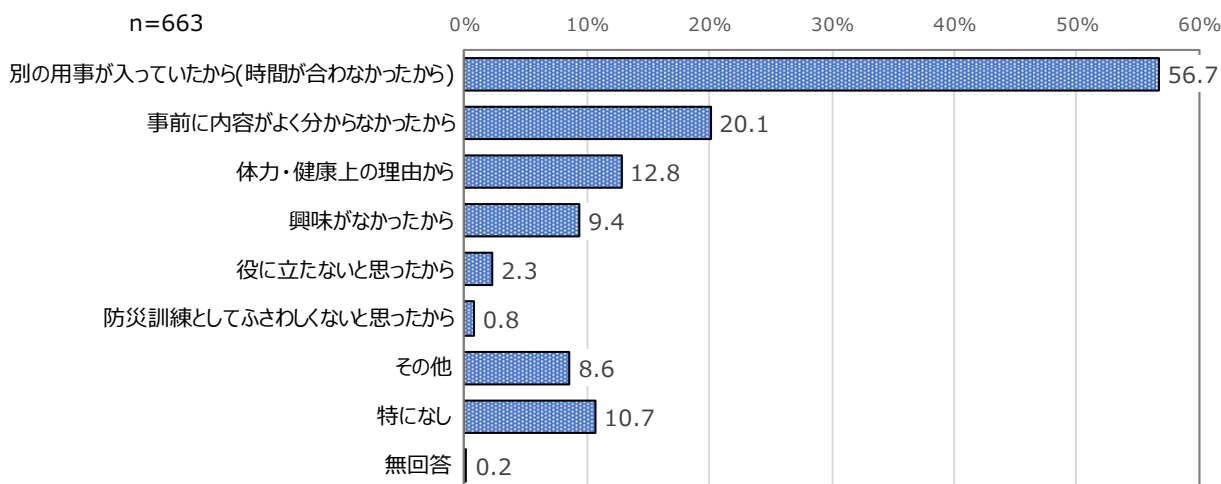
## (2) 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の未参加理由

問9-1 参加したことがない理由は何ですか。(答は2つまで) [問9で「知っているが、参加したことはない」と回答した方対象]

「別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)」が 56.7%で最も高い。次いで、「事前に内容がよく分からなかったから」(20.1%)が続く。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、傾向は概ね同じであり、上位2位までは今年と同じである。

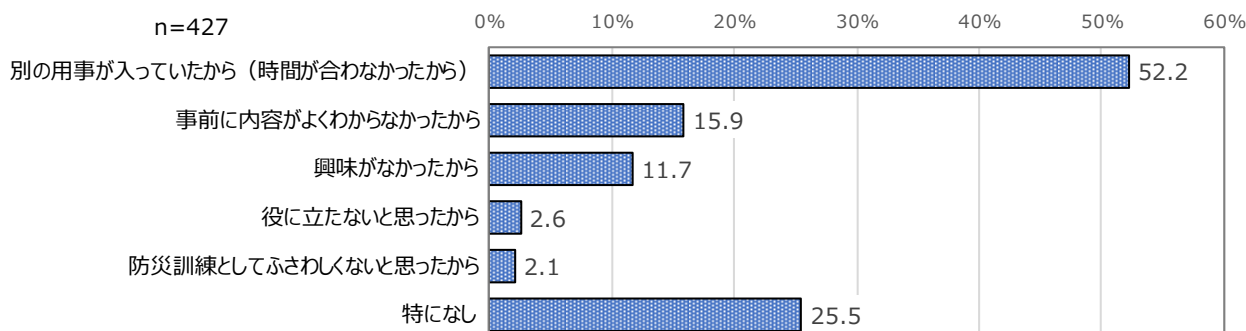
図Ⅲ-4-5 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の未参加理由



[その他の回答]

子どもが小さく外出できない・参加しにくい、開催場所、気温が高すぎた、1人では参加しにくい、介護のため、面白くなさそう、子ども向けのイベントだと思った、開催日時がわからない、各町にあった訓練を行うべき、参加しにくい、最優先して参加するイベントではない など

### <参考資料> 平成 29 年調査 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の未参加理由



### 【年齢別】

「別の用事が入っていたから」は各年代とも最も高いが、特に 30～50 代は6割～6割半ばで他の年代より高い。「事前に内容がよく分からなかったから」と「興味がなかったから」は回答数の少ない 18 歳・19 歳を除くと、20 代が最も高い。「体力・健康上の理由から」は 60 代の未参加理由の第 2 位(25.3%)、70 歳以上の第 1 位(「別の用事が入っていたから」と同率の 35.6%)である。

表Ⅲ-4-1 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の未参加理由(年齢別)

	(%)								
	役に立たないと思ったから	事前に内容がよく分からなかったから	興味がなかったから	防災訓練としてふさわしくないと思ったから	別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)	体力・健康上の理由から	その他	特になし	無回答
全体 (n=663)	2.3	20.1	9.4	0.8	56.7	12.8	8.6	10.7	0.2
18歳・19歳 (n= 7)	<b>14.3</b>	-	<b>57.1</b>	-	57.1	-	-	14.3	-
20代 (n= 36)	5.6	<b>30.6</b>	<b>19.4</b>	-	<u>44.4</u>	<u>5.6</u>	5.6	11.1	-
30代 (n=122)	1.6	21.3	10.7	-	59.8	<u>3.3</u>	<b>13.9</b>	13.1	-
40代 (n=171)	2.9	15.2	9.9	0.6	<b>66.7</b>	<u>6.4</u>	9.4	10.5	-
50代 (n=146)	2.1	24.7	8.2	1.4	61.6	8.2	9.6	8.2	-
60代 (n= 75)	1.3	16.0	<u>1.3</u>	-	54.7	<b>25.3</b>	<u>2.7</u>	14.7	-
70歳以上 (n=104)	1.0	21.2	7.7	1.9	<u>35.6</u>	<b>35.6</b>	5.8	7.7	1.0

注) 表中の  は全体より 5 ポイント以上高い、下線は全体より 5 ポイント以上低いことを示す。

### 【居住年数別】

「別の用事が入っていたから」は各層とも最も高く、5～6割である。「事前に内容がよく分からなかったから」は居住年数「30 年以上」(15.0%)を除くといずれの年数も2割程度である(回答数の少ない2年未満を除く)。「体力・健康上の理由から」は「30 年以上」(22.5%)が最も高い。「興味がなかったから」は「20 年～30 年未満」(18.0%)が最も高い。

表Ⅲ-4-2 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の未参加理由(居住年数別)

	(%)								
	役に立たないと思ったから	事前に内容がよく分からなかったから	興味がなかったから	防災訓練としてふさわしくないと思ったから	別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)	体力・健康上の理由から	その他	特になし	無回答
全体 (n=663)	2.3	20.1	9.4	0.8	56.7	12.8	8.6	10.7	0.2
2年未満 (n=28)	-	<b>28.6</b>	<u>3.6</u>	-	57.1	<b>17.9</b>	7.1	10.7	-
2年～5年未満 (n= 89)	-	23.6	10.1	-	52.8	9.0	12.4	10.1	-
5年～10年未満 (n=124)	3.2	20.2	8.9	-	61.3	<u>7.3</u>	6.5	12.1	-
10年～20年未満 (n=172)	1.7	20.9	11.6	0.6	61.6	<u>6.4</u>	10.5	11.6	-
20年～30年未満 (n= 61)	1.6	23.0	<b>18.0</b>	3.3	54.1	14.8	8.2	6.6	-
30年以上 (n=187)	3.7	<u>15.0</u>	5.3	1.1	52.4	<b>22.5</b>	7.0	10.7	0.5

注) 表中の  は全体より 5 ポイント以上高い、下線は全体より 5 ポイント以上低いことを示す。

### (3) 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向

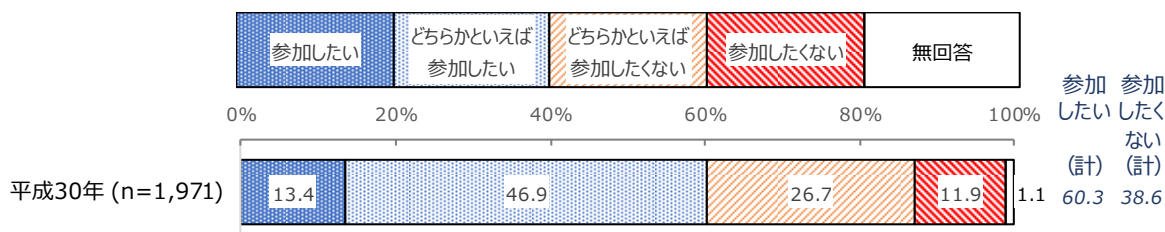
問 10 これから開催される渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)に参加したいですか。(答は1つ)

「どちらかといえば参加したい」が 46.9%で最も高い。「参加したい(計)」「参加したい」+「どちらかといえば参加したい」は 60.3%、「参加したくない(計)」「どちらかといえば参加したくない」+「参加したくない」は 38.6%である。参加意向が6割以上あることから、今後は認知率を上げること、また内容の詳細をどのように広く告知するかが課題であるといえる。

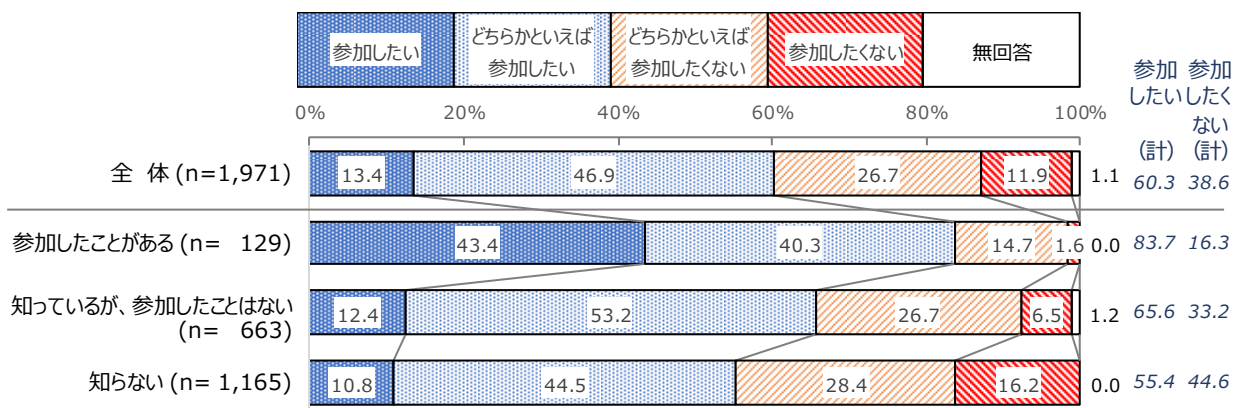
認知・参加度別でみると、参加経験者(「参加したことがある」)は8割以上が「参加したい(計)」としている。

平成 29 年調査は選択肢が異なること、回答対象者が異なることから比較は難しいが、平成 30 年調査の参加経験者の結果と比較すると、「参加したい」は平成 29 年が 48.3%、平成 30 年が 43.4%でほぼ同じである。

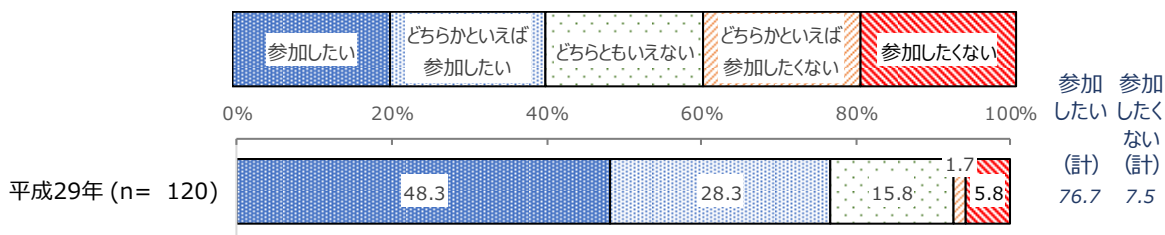
図Ⅲ-4-6 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向



図Ⅲ-4-7 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向(認知・参加度別)



<参考資料>平成 29 年調査 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向



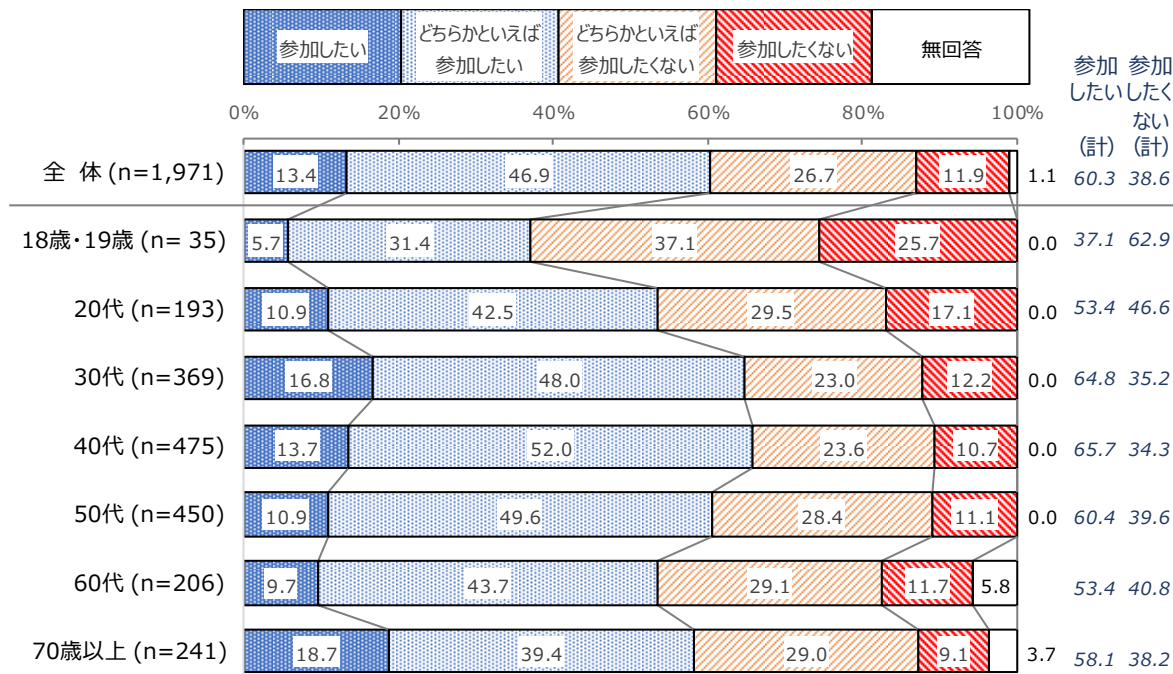
注) 平成 29 年調査の回答者は「渋谷区総合防災訓練 (SHIBUYA BOSAI FES)」に「参加したことがある」と回答した人



### 【年齢別】

「参加したい(計)」は30～50代が高く、6割を超えている。20代、60代、70歳以上も5割を超えている。一方、18歳・19歳は「参加したくない(計)」が62.9%と、「参加したい(計)」(37.1%)を大きく上回っている。

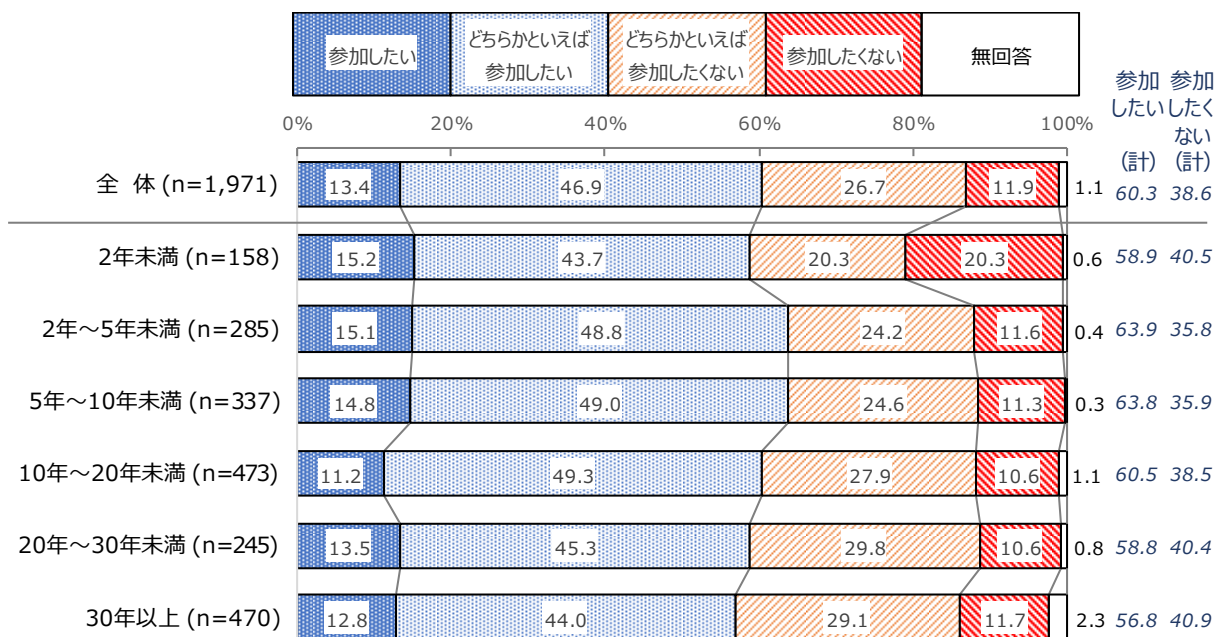
図Ⅲ-4-8 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向(年齢別)



### 【居住年数別】

「参加したい(計)」は居住年数「30年以上」が56.8%でやや低いが、その他の層では6割前後を占め、居住年数による大きな差はみられない。一方、「参加したくない」は居住年数「2年未満」が20.3%で他層より高い。

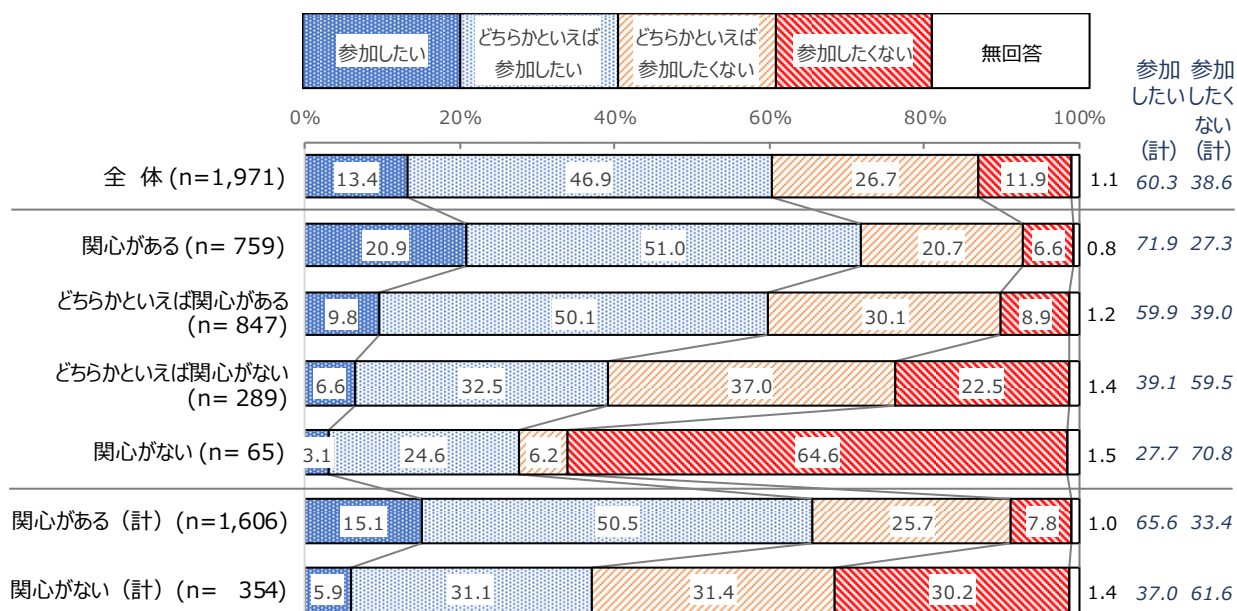
図Ⅲ-4-9 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向(居住年数別)



### 【区政への関心度別】

区政に対する関心度が高いほど参加意向も高くなっている。区政に対して「関心がある」は「参加したい」が20.9%、「どちらかといえば参加したい」が51.0%を占める。一方、「関心がない(計)」は「参加したい(計)」が37.0%にとどまっている。

図Ⅲ-4-10 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」の今後の参加意向(区政への関心度別)



## 5. 「超福祉展」について

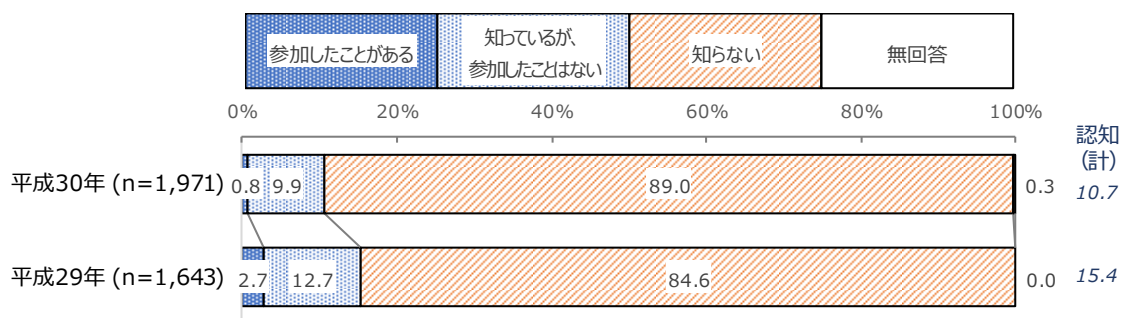
### (1) 「超福祉展」の認知・参加度

問 11 渋谷区では、平成26年11月から、障害者をはじめとするマイノリティや福祉そのものに対する「意識のバリア」を取り除こうと「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」(超福祉展)を開催しています。この「超福祉展」を知っていますか。(答は1つ)

「知らない」が 89.0%で最も高い。「知っているが、参加したことはない」は 9.9%、「参加したことがある」は 0.8%で、認知率(「参加したことがある」+「知っているが、参加したことはない」)は 10.7%である。

平成 29 年調査と比較すると、認知率は平成 29 年の 15.4%から5ポイント下がっており、参加率も2ポイント下がった。

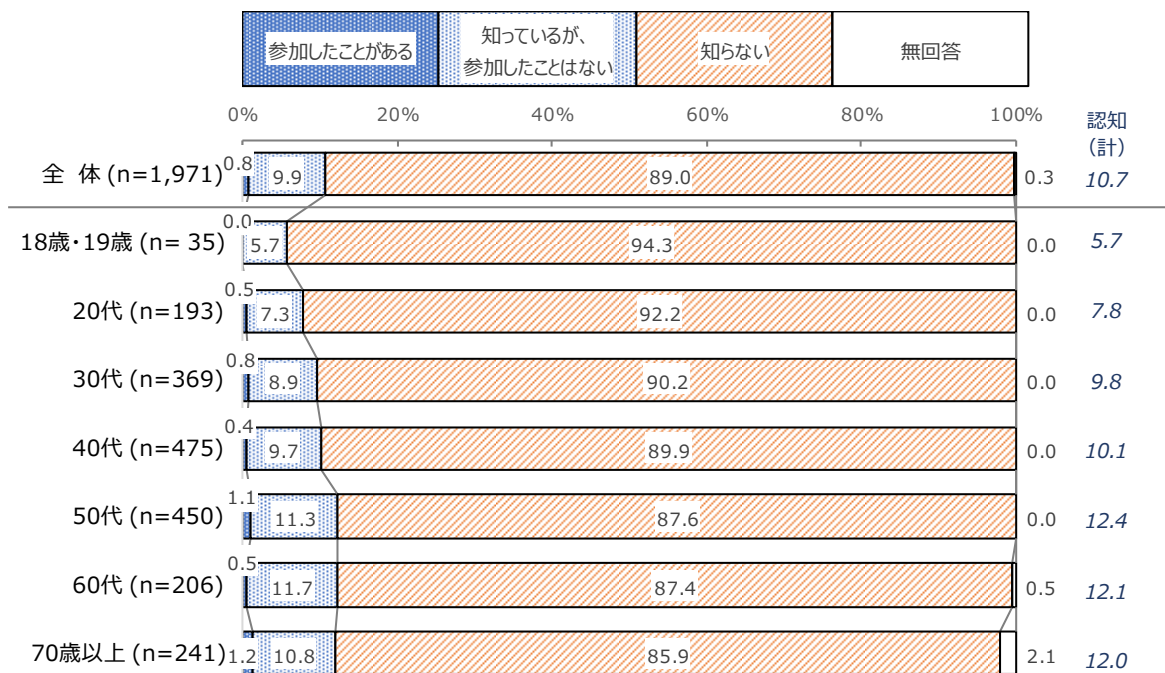
図Ⅲ-5-1 「超福祉展」の認知・参加度



### 【年齢別】

認知率は30代以上が約1割程度であり、いずれの年代も低い。

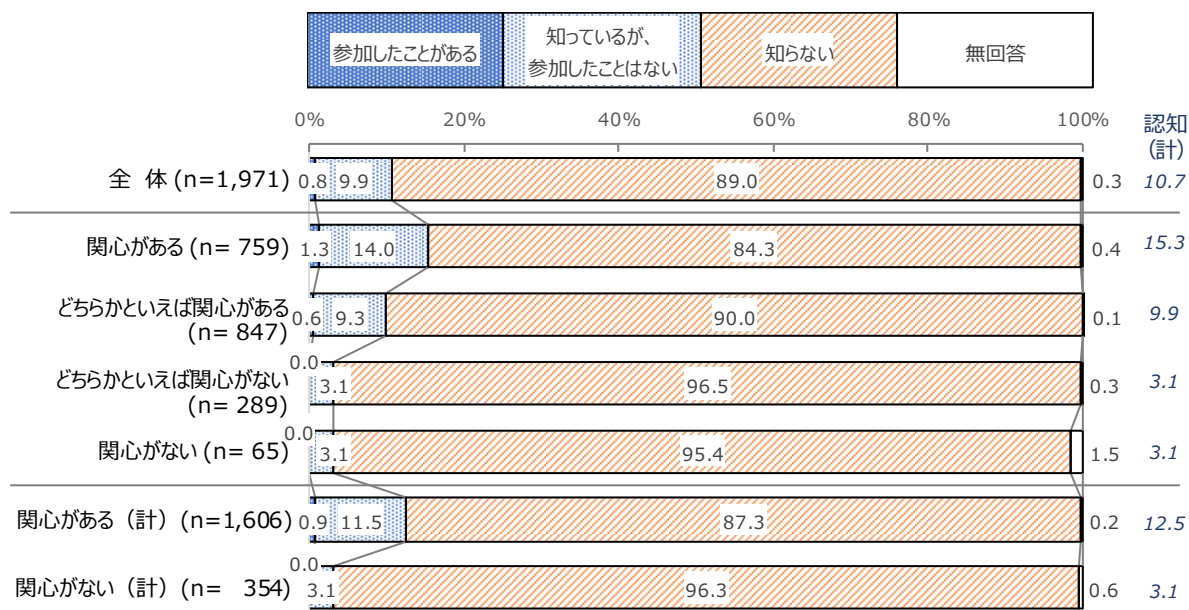
図Ⅲ-5-2 「超福祉展」の認知・参加度(年齢別)



### 【区政への関心度別】

区政に対して「関心がある」は認知率が15.3%で他層より高い。「関心がある(計)」の認知率が12.5%であるのに対し、「関心がない(計)」の認知率はわずか3.1%である。

図Ⅲ-5-3 「超福祉展」の認知・参加度(区政への関心度別)



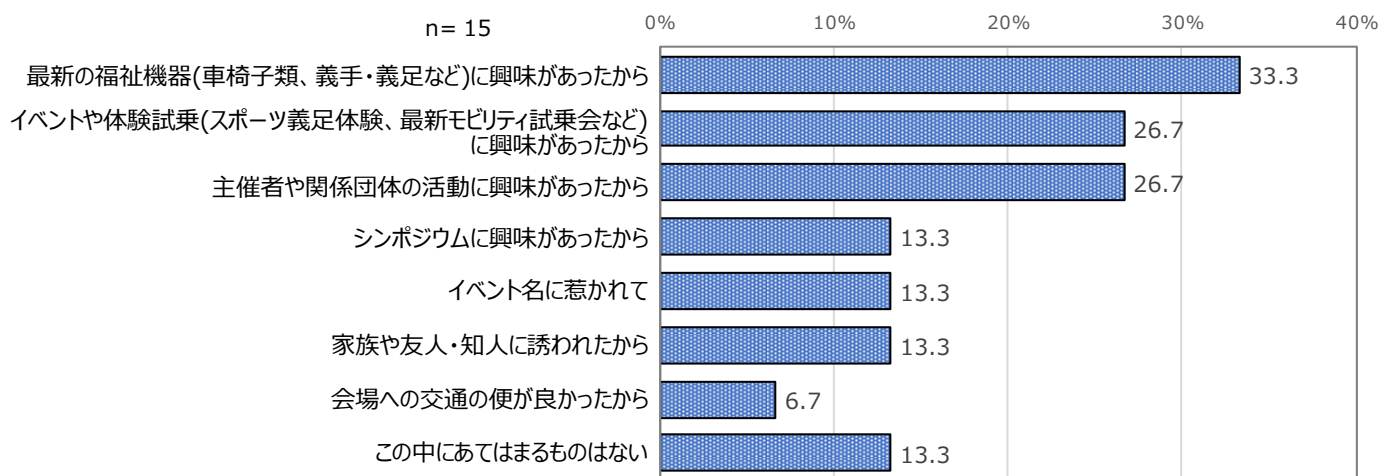
## (2) 「超福祉展」の参加理由

問 11-1 参加した理由は何ですか。(答は2つまで) [問 11 で「参加したことがある」と回答した方対象]

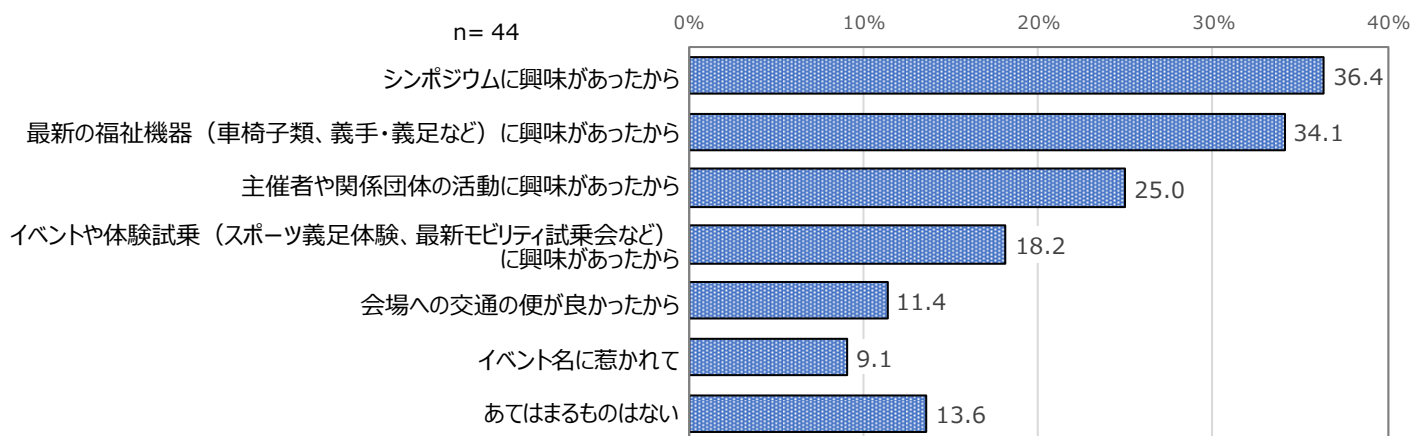
回答数が少ないため、結果はあくまでも参考値である。回答者 15 人の回答結果は、「最新の福祉機器に興味があったから」が最も多く、次いで、「イベントや体験試乗に興味があったから」「主催者や関係団体の活動に興味があったから」が続く。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なること、平成 30 年調査の回答数が少ないことから比較は難しい。

図Ⅲ-5-4 「超福祉展」の参加理由



<参考資料>平成 29 年調査 「超福祉展」の参加理由



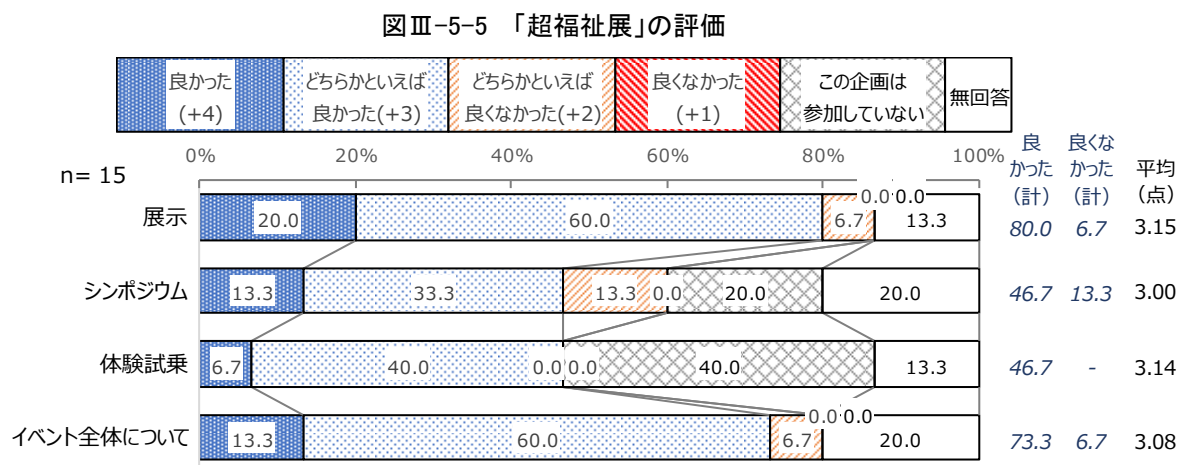
### (3) 「超福祉展」の評価

問 11-2 参加した感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ) [問 11 で「参加したことがある」と回答した方対象]

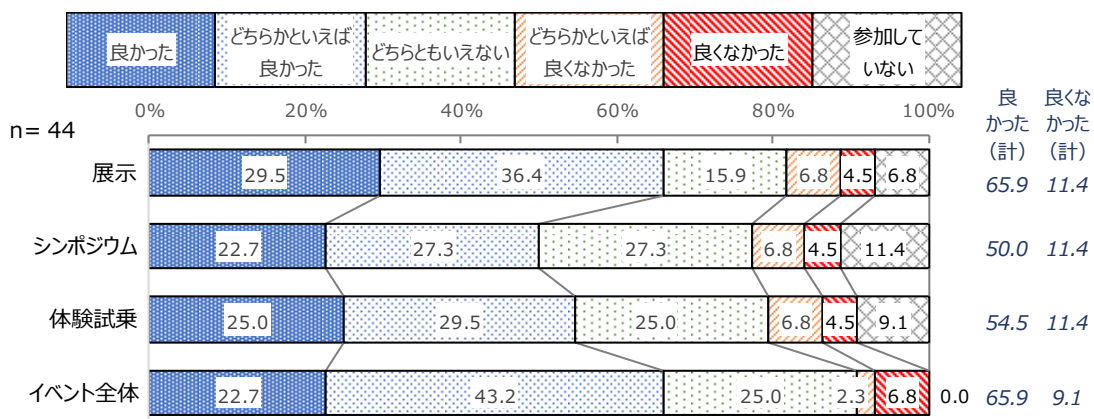
回答数が少ないため、結果はあくまでも参考値であるが、イベント全体を含む各評価で「良くなかった」との回答者は皆無であった。回答者 15 人の各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出したところ、「イベント全体について」は 3.08 点である。

良かった:4点	どちらかといえば良かった:3点
どちらかといえば良くなかった:2点	良くなかった:1点

平成 29 年調査は選択肢が異なること、平成 30 年調査の回答数が少ないことから比較は難しい。



#### <参考資料>平成 29 年調査 「超福祉展」の評価

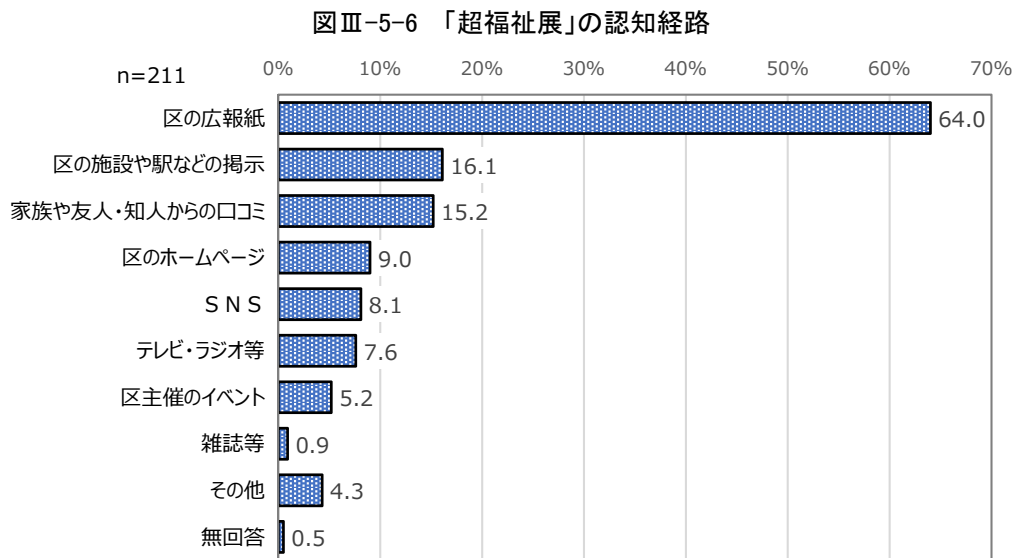


#### (4) 「超福祉展」の認知経路

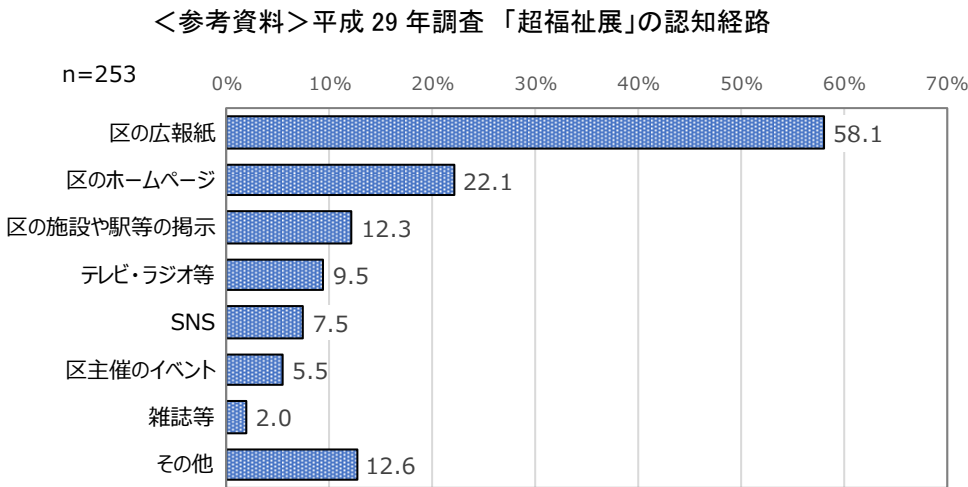
問 11-3 超福祉展を何からお知りになりましたか。(答は2つまで) [問 11 で「参加したことがある」「知っているが、参加したことはない」と回答した方対象]

「区の広報紙」が 64.0%で最も高い。「区の施設や駅などの掲示」は 16.1%、「家族や友人・知人からの口コミ」は 15.2%である。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、「区の広報紙」が過半数を超えていることは今年と同様である。



[その他の回答]  
委員会、小学校の配布物、職場、新聞記事、超福祉展関係者、チラシ、通りすがり、福祉作業所



### 【年齢別】

回答数が30以上の30～50代についてみると、「区の広報紙」は年代が上がるにつれ高くなっている。第2位はいずれも「家族や友人・知人からの口コミ」で、特に30代・40代は2割を超え、全体(15.2%)より5ポイント以上高い。50代は「区の施設や駅などの掲示」が8.9%で全体(16.1%)より5ポイント以上低い。

表Ⅲ-5-1 「超福祉展」の認知経路(年齢別)

(%)

	区の広報紙	区のホームページ	テレビ・ラジオ等	雑誌等	SNS	区主催のイベント	区の施設や駅などの掲示	家族や友人・知人からの口コミ	その他	無回答
全体 (n=211)	64.0	9.0	7.6	0.9	8.1	5.2	16.1	15.2	4.3	0.5
18歳・19歳 (n= 2)	<u>50.0</u>	-	-	-	-	-	<b>50.0</b>	-	-	-
20代 (n= 15)	<u>40.0</u>	<b>20.0</b>	-	-	<b>20.0</b>	6.7	20.0	20.0	6.7	-
30代 (n= 36)	<u>55.6</u>	8.3	-	-	11.1	2.8	16.7	<b>22.2</b>	8.3	-
40代 (n= 48)	62.5	12.5	10.4	-	12.5	-	16.7	<b>20.8</b>	4.2	-
50代 (n= 56)	67.9	7.1	12.5	1.8	3.6	7.1	<u>8.9</u>	16.1	3.6	-
60代 (n= 25)	<b>76.0</b>	-	-	-	4.0	8.0	<b>28.0</b>	-	4.0	-
70歳以上 (n= 29)	<b>72.4</b>	10.3	<b>13.8</b>	3.4	3.4	<b>10.3</b>	13.8	<u>6.9</u>	-	3.4

注) 表中の      は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

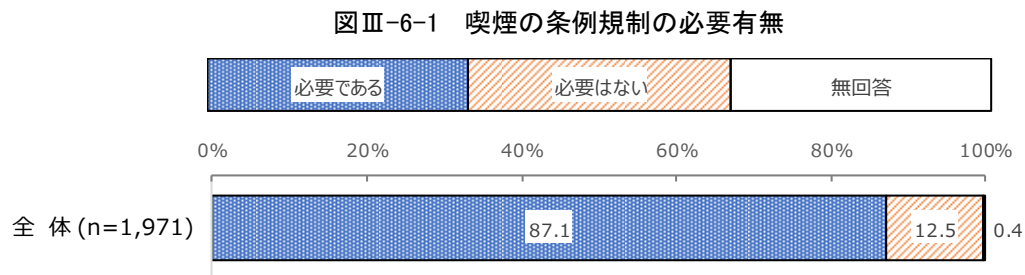


## 6. 喫煙環境について

### (1) 喫煙の条例規制の必要有無

問 12 現在、渋谷区では「分煙ルール」による喫煙マナーの指導を行っていますが、条例を策定し、路上喫煙の規制をしている自治体もあります。渋谷区でも条例による規制を行うことが必要だと思いますか。(答は1つ)

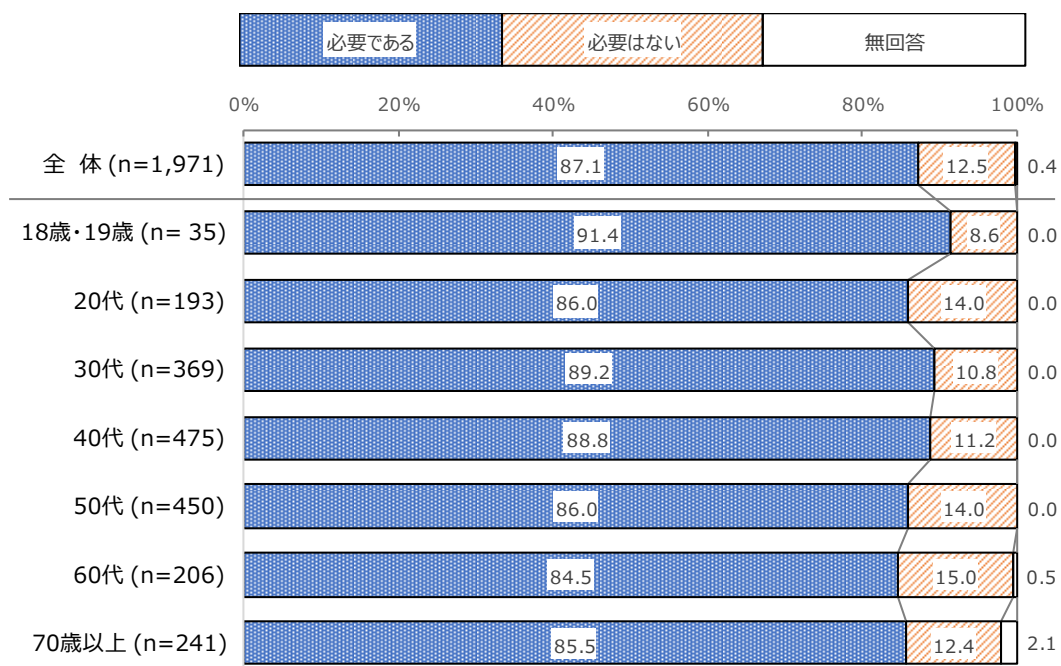
「必要である」が87.1%、「必要はない」が12.5%である。



### 【年齢別】

各年代とも「必要である」が8割半ばから9割を占める。

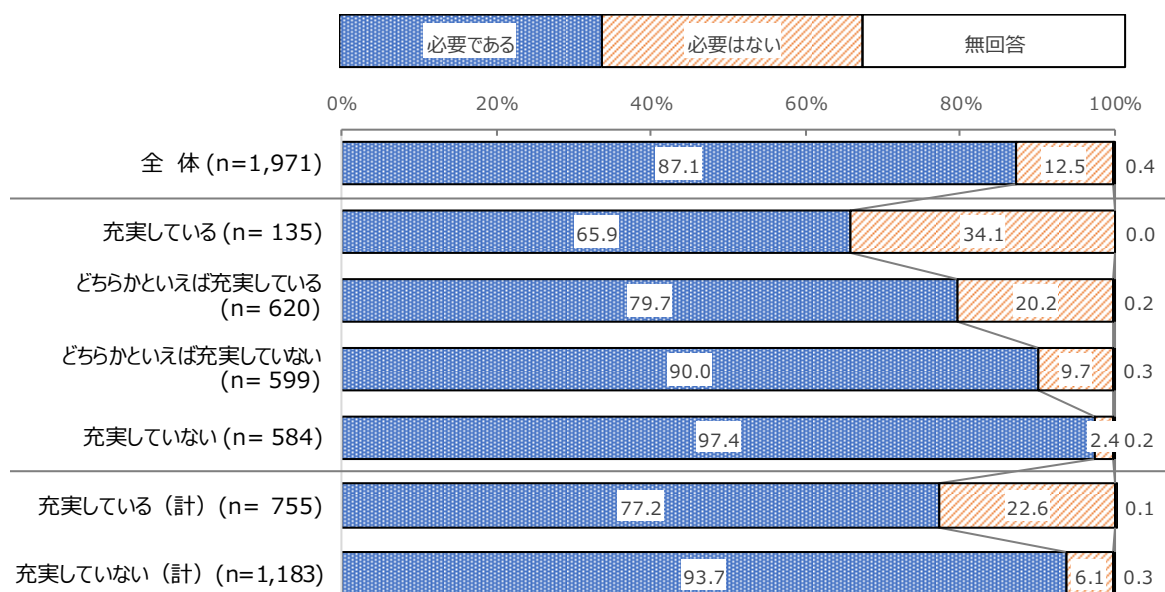
図Ⅲ-6-2 喫煙の条例規制の必要有無(年齢別)



### 【路上喫煙・タバコ対策の充実度別】

渋谷区の路上喫煙・タバコ対策が充実していないと感じる割合が高いほど、「必要である」も高くなっている。「充実していない(計)」では「必要である」が93.7%を占める。

図Ⅲ-6-3 喫煙の条例規制の必要有無(路上喫煙・タバコ対策の充実度別)



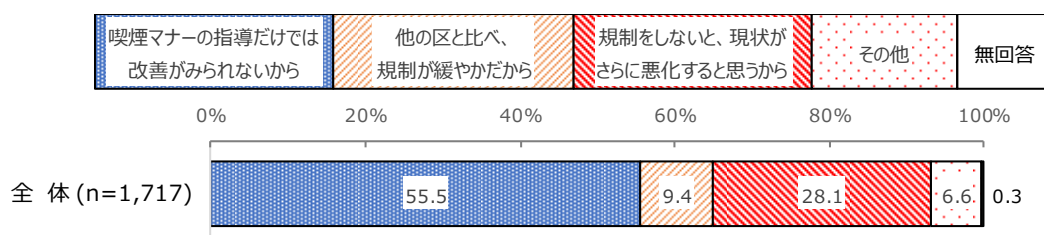
## (2) 喫煙の条例規制の必要理由

問 12-1 必要であるとお答えになった理由は何ですか。お気持ちに最も近いものをお選びください。(答は1つ)

[問 12 で「必要である」と回答した方対象]

「喫煙マナーの指導だけでは改善がみられないから」が 55.5%で最も高い。次いで、「規制をしないと、現状がさらに悪化すると思うから」(28.1%)、「他の区と比べ、規制が緩やかだから」(9.4%)である。

図Ⅲ-6-4 喫煙の条例規制の必要理由



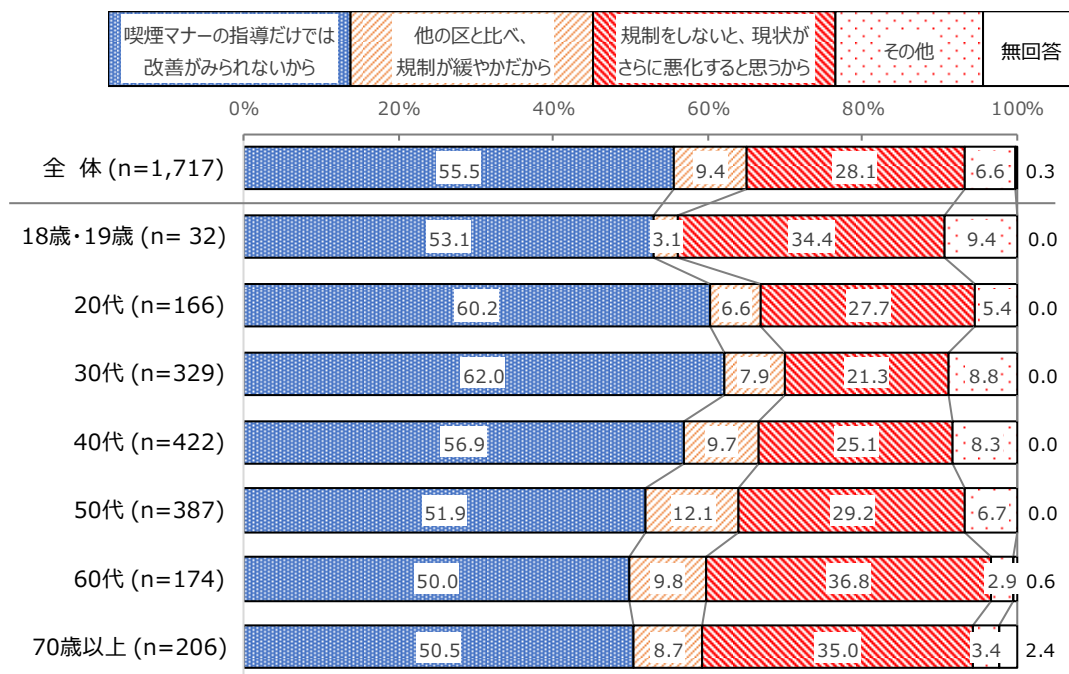
喫煙の条例規制の必要理由 その他の回答内容	件数 (記載あり 計 113 件)
路上喫煙が多い	23
子どもに危険・有害・悪影響がある	18
歩きたばこがひどい・危険	17
ポイ捨てが増えている	17
喫煙所が多過ぎ／分煙できていない／場所を変えてほしい	12
指導の効果が少ない・感じられない／もう少し徹底したい	8
渋谷区は区外からの来訪者が多いから	8
規制した方がトラブルが少ない／姿勢を示すのが大事／企業にも指導する	8
その他（健康のため、喫煙に反対、喫煙マナーを知らない人が多い、厳しい罰則を設けるべき、分煙推進、グローバルスタンダードとの乖離がある、世の中の流れ、美化のため など）	38

注) 複数の内容が記載されている場合はそれぞれの内容にカウントしている。

### 【年齢別】

いずれの年代も「喫煙マナーの指導だけでは改善がみられないから」が5割を超え、過半数を占める。特に、20代・30代は6割を超えている。「規制をしないと、現状がさらに悪化と思うから」は18歳・19歳と60代以上で3割半ばを占め、他の年代より高い。

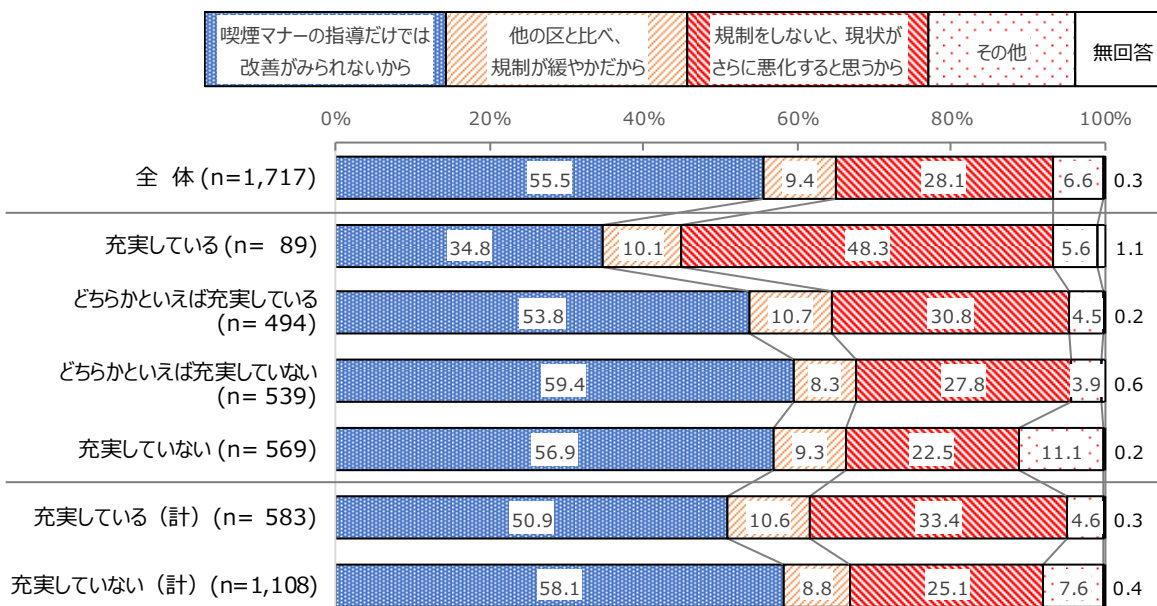
図Ⅲ-6-5 喫煙の条例規制の必要理由(年齢別)



### 【路上喫煙・タバコ対策の充実度別】

渋谷区の路上喫煙・タバコ対策が「充実している」は「規制をしないと、現状がさらに悪化と思うから」が48.3%で5割近くを占める。その他の層では、「喫煙マナーの指導だけでは改善がみられないから」が5～6割を占める。

図Ⅲ-6-6 喫煙の条例規制の必要理由(路上喫煙・タバコ対策の充実度別)

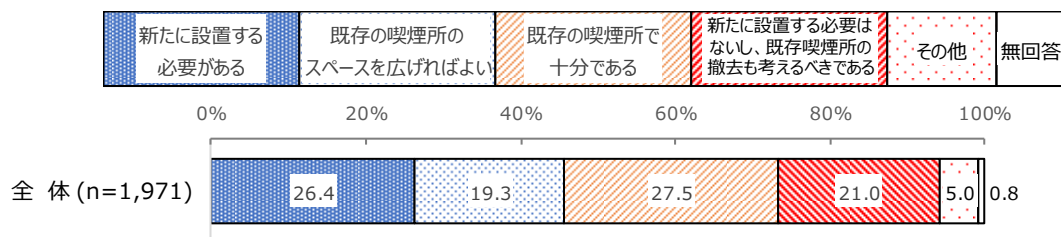


### (3) 屋外喫煙所設置の必要度

問 13 渋谷区では「分煙」を目的に、主要駅周辺等に屋外喫煙所を設置していますが、利用者が入りきれない状況があります。新たに屋外喫煙所を設置する必要があると思いますか。(答は1つ)

「既存の喫煙所で十分である」が 27.5%で最も高く、次いで、「新たに設置する必要がある」(26.4%)、「新たに設置する必要はないし、既存喫煙所の撤去も考えるべきである」(21.0%)、「既存の喫煙所のスペースを広げればよい」(19.3%)である。

図Ⅲ-6-7 屋外喫煙所設置の必要度



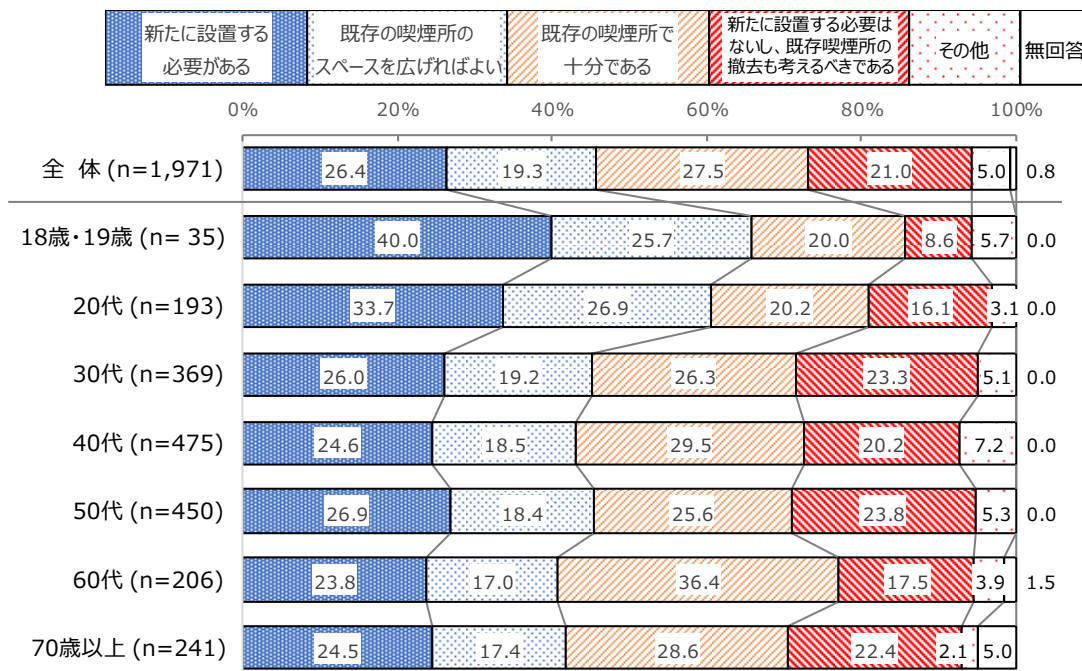
屋外喫煙所設置の必要度 その他の回答内容	件数 (記載あり 計 92 件)
全面禁煙にすべき／喫煙者を減らすことを考えるべき	29
密閉型にしてほしい／周辺の環境が悪化しないような工夫が必要	21
屋外喫煙所の近くを通ると煙い・臭い／分煙できていない	12
既存の喫煙所の場所を見直すべき	11
既存の喫煙所を改善すべき (きれいに、長居できない仕組みづくり など)	4
有料にする	4
その他 (屋外喫煙所の区切りがない・壁を高く、企業・販売所で設置すべき、喫煙所を利用しない喫煙者が問題、必要な場所に多く設置、予算を組んでの設置は不要、路上喫煙を厳しく取り締まるべき など)	24

注) 複数の内容が記載されている場合はそれぞれの内容にカウントしている。

### 【年齢別】

「既存の喫煙所で十分である」は60代が36.4%で最も高く、18歳・19歳と20代はやや低い。18歳・19歳と20代は「新たに設置する必要がある」や「既存の喫煙所のスペースを広げればよい」という現状より喫煙所を拡張する方向の回答が過半数を占めているのに対し、30代以上は現状維持または喫煙所の撤去を希望する割合が拡張を希望する割合よりやや高い。

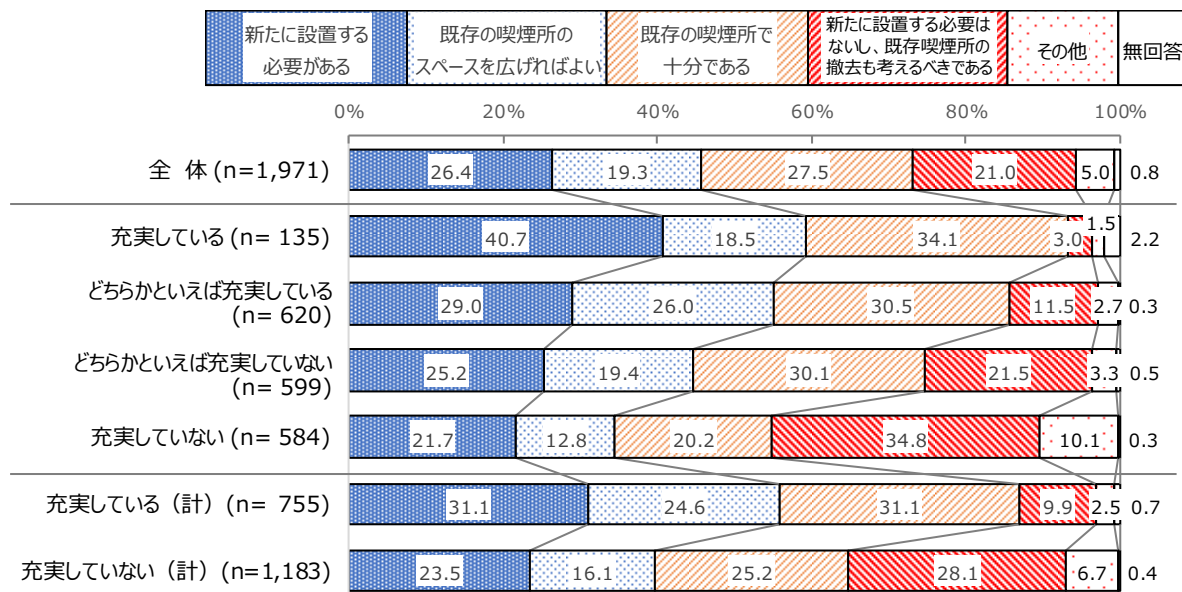
図Ⅲ-6-8 屋外喫煙所設置の必要度(年齢別)



### 【路上喫煙・タバコ対策の充実度別】

渋谷区の路上喫煙・タバコ対策が充実していないと感じる割合が高いほど「新たに設置する必要がある」の割合が下がり、「新たに設置する必要はないし、既存喫煙所の撤去も考えるべきである」の割合が高くなっており、「充実していない」では撤去が34.8%を占める。

図Ⅲ-6-9 屋外喫煙所設置の必要度(路上喫煙・タバコ対策の充実度別)



## 7.「渋谷区おとなりサンデーの日」について

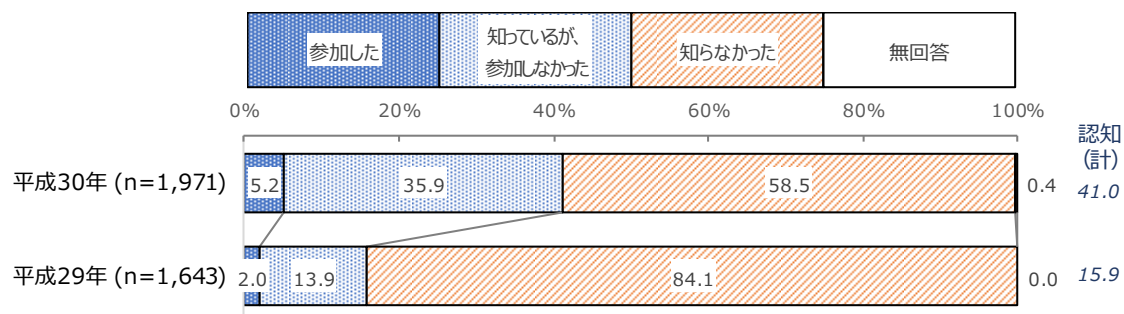
### (1)「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度

問 14 渋谷区では、平成29年から6月の第1日曜日を“ふだん話す機会の少ない近隣の人ももっと顔見知りになる日「渋谷おとなりサンデーの日」”(渋谷区版隣人まつり)として、さまざまなイベントを開催しました。この「渋谷おとなりサンデーの日」を知っていますか。(答は1つ)

「知らなかった」が58.5%で最も高い。「知っているが、参加しなかった」は35.9%、「参加した」は5.2%で、認知率(「参加した」+「知っているが、参加しなかった」)は41.0%である。

平成29年調査と比較すると、認知率は平成29年の15.9%から25ポイント上がっており、参加率も3ポイント上がった。

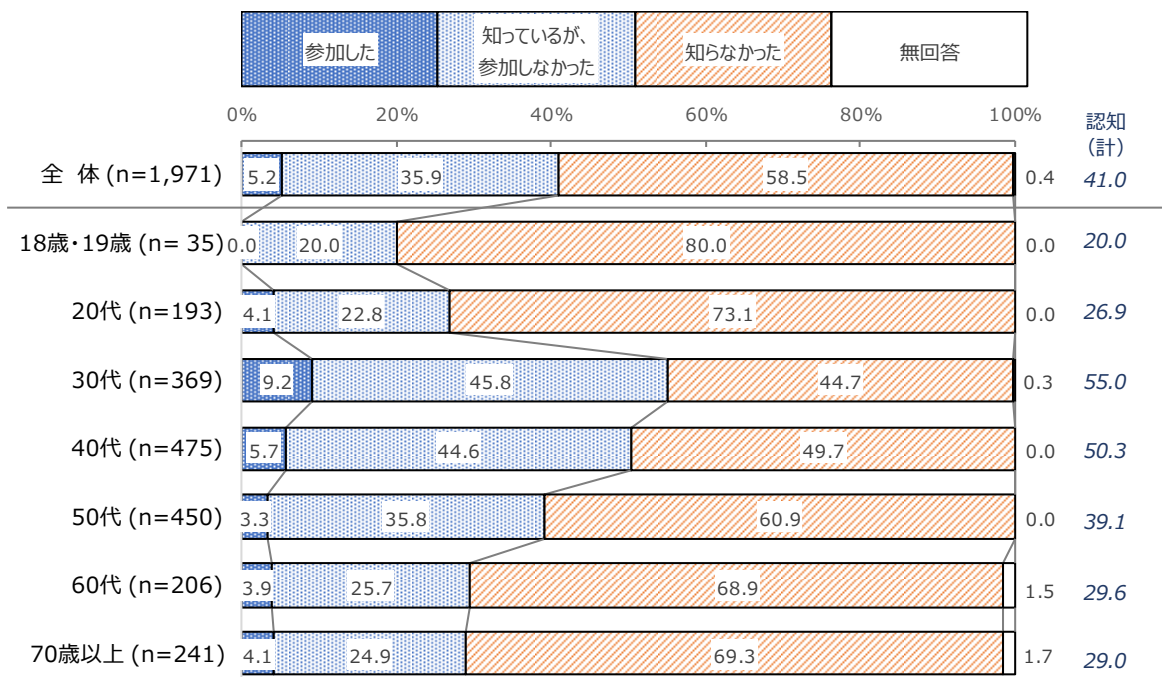
図Ⅲ-7-1 「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度



### 【年齢別】

「参加した」が最も高いのは30代(9.2%)である。認知率も30代が55.0%で最も高く、次いで40代(50.3%)が高い。一方、20代以下と60代以上は認知率が3割以下で、年代による差が大きい。

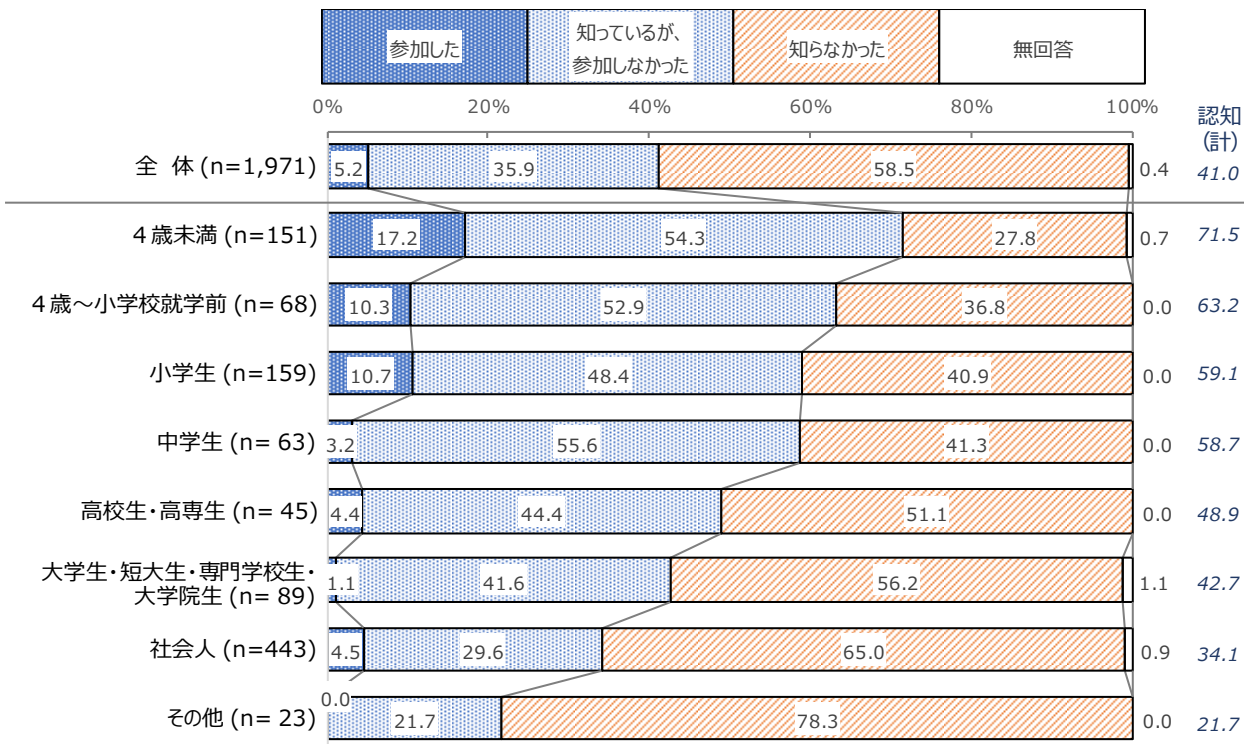
図Ⅲ-7-2 「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度(年齢別)



### 【長子年齢別】

「参加した」が最も高いのは「4歳未満」の17.2%で、「4歳～小学校就学前」と「小学生」も1割を超えている。長子年齢が高くなるにつれ、認知率は下がる傾向がみられ、長子が「4歳未満」の認知率は71.5%であるが、「社会人」は34.1%である。

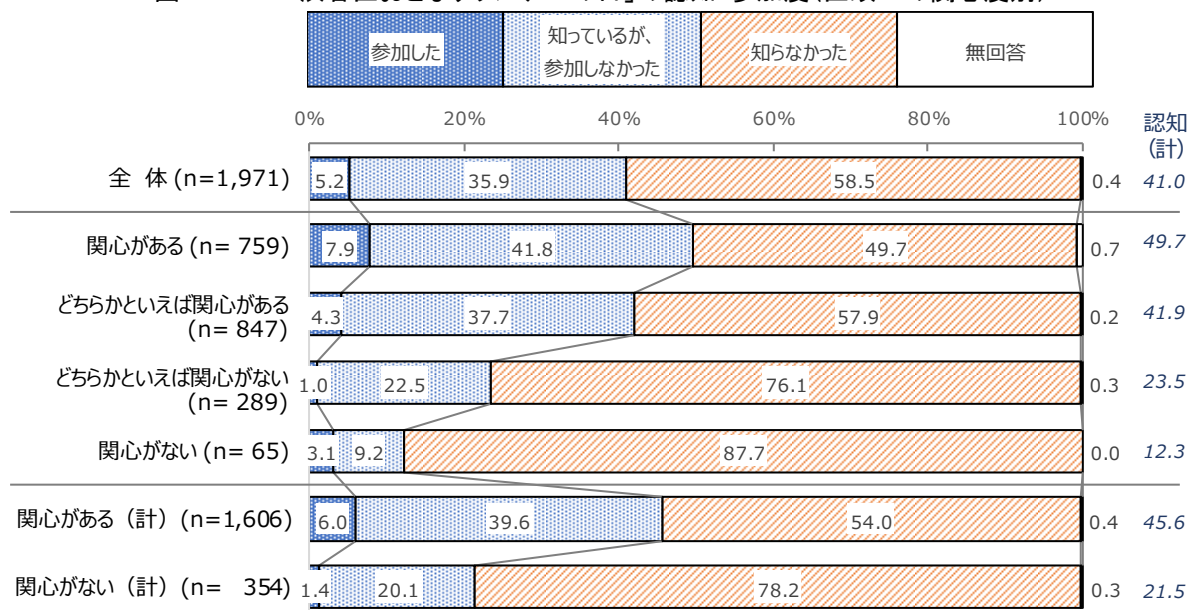
図Ⅲ-7-3 「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度(長子年齢別)



### 【区政への関心度別】

区政に対して「関心がある」は認知率が49.7%で約半数を占める。「関心がない(計)」の認知率は21.5%で、「関心がある(計)」(45.6%)の半分以下である。

図Ⅲ-7-4 「渋谷区おとなりサンデーの日」の認知・参加度(区政への関心度別)





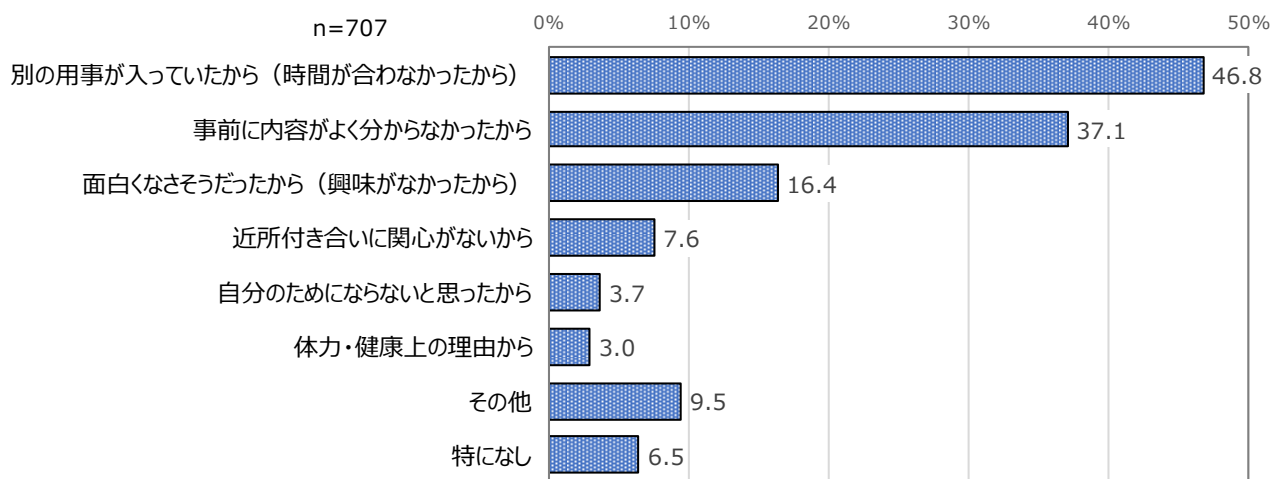
## (2) 「渋谷区おとなりサンデーの日」の未参加理由

問 14-1 参加しなかった理由は何ですか。(答は2つまで) [問 14 で「知っているが、参加しなかった」と回答した方対象]

「別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)」が 46.8%で最も高く、次いで、「事前に内容がよく分からなかったから」(37.1%)が高い。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、「別の用事が入っていたから」(48.5%)が半数弱を占めることは今年と同様である。「事前に内容がよく分からなかったから」は平成 29 年に比べ、今年の方が高くなっており、認知率は昨年より高くなったが、内容の詳細の告知が今後の課題といえる。

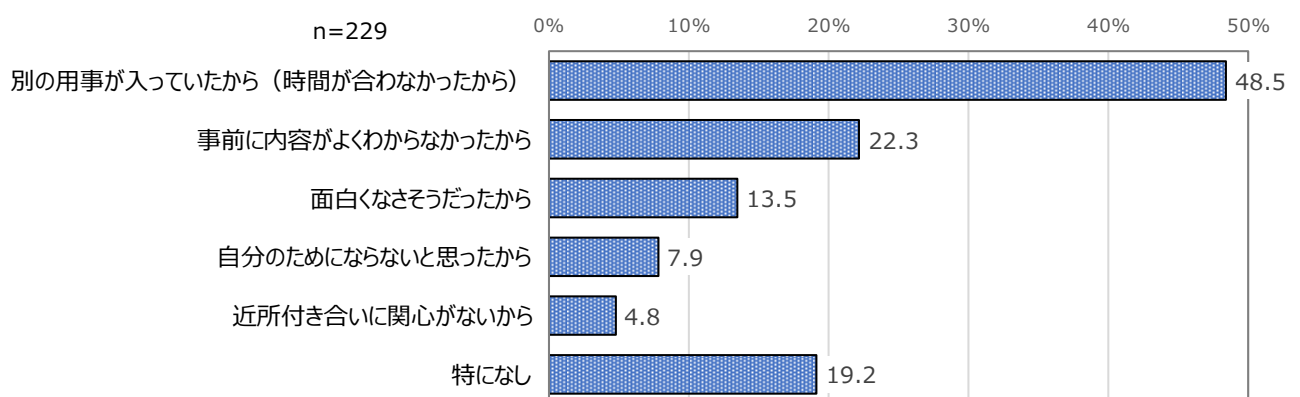
図Ⅲ-7-5 「渋谷区おとなりサンデーの日」の未参加理由



[その他の回答]

部外者は参加しにくい、仕組みがわからない、現状の近所付き合いで満足している、近所で実施していなかった、参加する勇気がなかった、後から知った、町会が主体となって取り組むべき、介護・育児で出かけられない、参加したい企画がなかった、参加するチャンスがない など

### <参考資料>平成 29 年調査 「渋谷区おとなりサンデーの日」の未参加理由



### 【年齢別】

「別の用事が入っていたから」は30代が53.3%で最も高く、40～50代も5割弱に達する。「事前に内容がよく分からなかったから」は回答数の少ない18歳・19歳を除くと、20～40代が4割前後で、50代以上に比べるとやや高い。70歳以上は「面白くなさそうだったから(興味がなかったから)」が21.7%で、他の年代よりやや高い。

表Ⅲ-7-1 「渋谷区おとなりサンデーの日」の未参加理由(年齢別)

	近所付き合いに関心がないから	面白くなさそうだったから(興味がなかったから)	自分のためにならないと思ったから	事前に内容がよく分からなかったから	別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)	体力・健康上の理由から	その他	特になし
全体 (n=707)	7.6	16.4	3.7	37.1	46.8	3.0	9.5	6.5
18歳・19歳 (n= 7)	<b>14.3</b>	-	-	<b>100.0</b>	42.9	-	-	-
20代 (n= 44)	<b>15.9</b>	13.6	-	38.6	43.2	2.3	9.1	6.8
30代 (n=169)	7.1	13.6	2.4	39.1	<b>53.3</b>	1.8	9.5	4.7
40代 (n=212)	7.1	18.4	4.2	41.5	48.1	1.9	9.4	4.7
50代 (n=161)	6.2	16.1	5.0	<u>29.2</u>	49.1	1.2	9.9	9.3
60代 (n= 53)	11.3	17.0	3.8	<u>32.1</u>	<u>37.7</u>	3.8	9.4	7.5
70歳以上 (n= 60)	5.0	<b>21.7</b>	5.0	33.3	<u>28.3</u>	<b>15.0</b>	10.0	10.0

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、    は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### 【長子年齢別】

「別の用事が入っていたから」は「4歳未満」～「小学生」で5割を超えている。長子が「小学生」は「事前に内容がよく分からなかったから」(45.5%)と「面白くなさそうだったから」(22.1%)も他層に比べ高い。

表Ⅲ-7-2 「渋谷区おとなりサンデーの日」の未参加理由(長子年齢別)

	近所付き合いに関心がないから	面白くなさそうだったから(興味がなかったから)	自分のためにならないと思ったから	事前に内容がよく分からなかったから	別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから)	体力・健康上の理由から	その他	特になし
全体 (n=707)	7.6	16.4	3.7	37.1	46.8	3.0	9.5	6.5
4歳未満 (n=82)	8.5	15.9	3.7	34.1	<b>53.7</b>	3.7	8.5	2.4
4歳～小学校就学前 (n= 36)	2.8	13.9	-	36.1	<b>58.3</b>	2.8	5.6	5.6
小学生 (n= 77)	<u>1.3</u>	<b>22.1</b>	7.8	<b>45.5</b>	<b>55.8</b>	-	6.5	<u>1.3</u>
中学生 (n= 35)	2.9	<u>8.6</u>	-	<u>22.9</u>	48.6	2.9	11.4	<b>17.1</b>
高校生・高専生 (n= 20)	<b>25.0</b>	15.0	<b>10.0</b>	<u>30.0</u>	<u>40.0</u>	-	10.0	-
大学生・短大生・専門学校生・大学院生 (n=37)	5.4	<b>24.3</b>	5.4	40.5	<u>35.1</u>	-	10.8	<b>13.5</b>
社会人 (n=131)	6.1	20.6	3.8	<u>31.3</u>	<u>39.7</u>	6.1	10.7	8.4
その他 (n= 5)	<b>20.0</b>	-	-	<u>20.0</u>	<u>40.0</u>	-	<b>20.0</b>	<b>20.0</b>

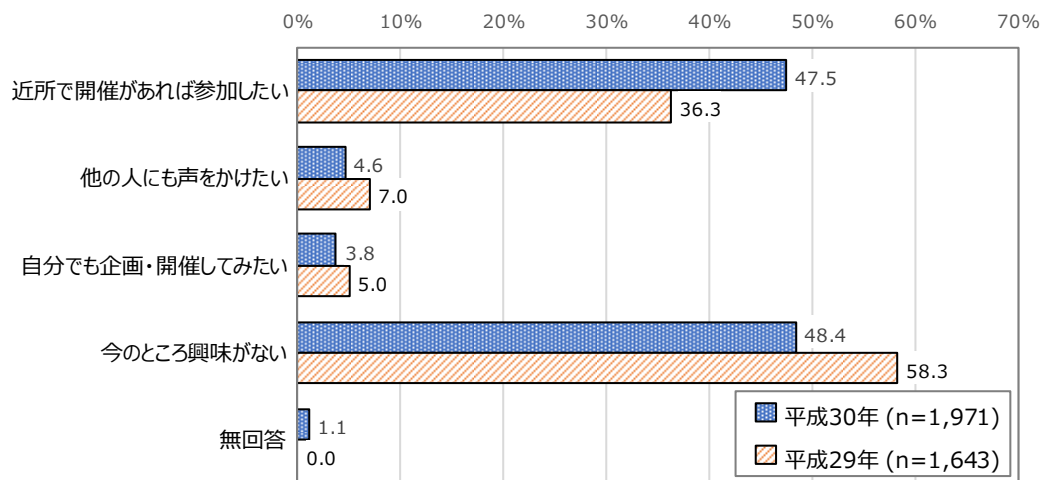
注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、    は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### (3) 地域イベントなどに対する考え

問 15 「渋谷おとなりサンデーの日」のような、ご近所さんと顔見知りになるためのさまざまな地域のイベントや小さなパーティーについて、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。(答は2つまで)

「今のところ興味がない」(48.4%)と「近所で開催があれば参加したい」(47.5%)のほぼ半々に分かれる。  
平成 29 年調査と比較すると、「今のところ興味がない」が平成 29 年の 58.3%より 10 ポイント下がり、「近所で開催があれば参加したい」が平成 29 年の 36.3%より 11 ポイント上がっている。

図Ⅲ-7-6 地域イベントなどに対する考え



### 【年齢別】

「近所で開催があれば参加したい」は30代・40代で5割を超え、70歳以上も5割弱である。その他の年代は「今のところ興味がない」の方が高く、5～6割弱を占める。

表Ⅲ-7-3 地域イベントなどに対する考え(年齢別)

	近所で開催があれば参加したい	他の人にも声をかけたい	自分でも企画・開催してみたい	今のところ興味がない	無回答
全体 (n=1,971)	47.5	4.6	3.8	48.4	1.1
18歳・19歳 (n=35)	42.9	5.7	2.9	<b>57.1</b>	-
20代 (n=193)	<u>39.4</u>	3.1	3.6	<b>58.0</b>	-
30代 (n=369)	<b>56.4</b>	5.4	4.6	<u>40.1</u>	0.3
40代 (n=475)	<b>53.3</b>	4.8	4.0	43.8	0.2
50代 (n=450)	<u>42.4</u>	3.1	4.7	<b>53.8</b>	-
60代 (n=206)	<u>35.9</u>	4.9	1.9	<b>57.3</b>	3.4
70歳以上 (n=241)	49.0	6.2	2.1	<u>43.2</u>	5.4

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、■ は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### 【長子年齢別】

「近所で開催があれば参加したい」は長子年齢が低い層の方が高い傾向がみられ、「4歳未満」は74.2%、「4歳～小学校就学前」は67.6%、「小学生」は60.4%である。「4歳～小学校就学前」は「他の人にも声をかけたい」(11.8%)や「自分でも企画・開催してみたい」(8.8%)が他層と比較して高く、参加意向(「今のところ興味がない」と無回答を除いた割合)は75.0%で4歳未満(76.2%)と同様に非常に高い。

表Ⅲ-7-4 地域イベントなどに対する考え(長子年齢別)

	近所で開催があれば参加したい	他の人にも声をかけたい	自分でも企画・開催してみたい	今のところ興味がない	無回答
全体 (n=1,971)	47.5	4.6	3.8	48.4	1.1
4歳未満 (n=151)	<b>74.2</b>	6.0	8.6	<u>23.2</u>	0.7
4歳～小学校就学前 (n=68)	<b>67.6</b>	<b>11.8</b>	<b>8.8</b>	<u>25.0</u>	-
小学生 (n=159)	<b>60.4</b>	6.9	5.7	<u>35.8</u>	-
中学生 (n=63)	50.8	9.5	4.8	44.4	-
高校生・高専生 (n=45)	<u>31.1</u>	8.9	4.4	<b>60.0</b>	-
大学生・短大生・専門学校生・大学院生 (n=89)	<u>41.6</u>	2.2	3.4	<b>53.9</b>	1.1
社会人 (n=443)	45.8	4.7	2.3	48.1	3.6
その他 (n=23)	<u>30.4</u>	-	-	<b>69.6</b>	-

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、■ は全体より5ポイント以上低いことを示す。

#### (4) 近所付き合いの望ましい姿

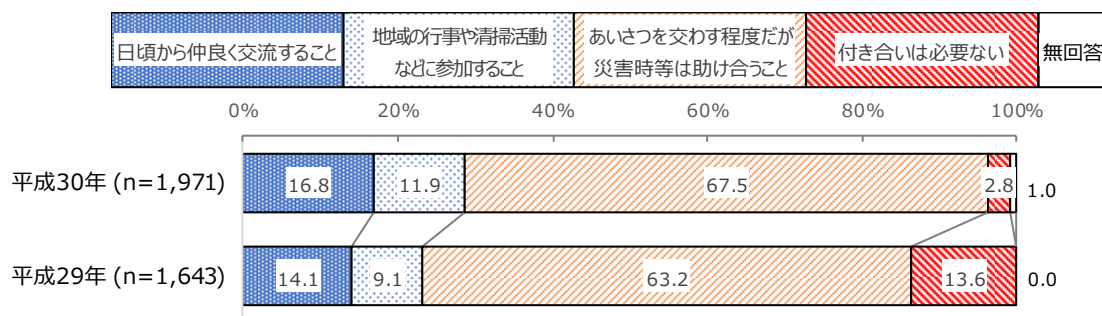
問 16 あなたの考える近所付き合いはどのようなものですか。(答は1つ)

※あてはまるものが無い人も、選択肢の中から比較して最もお気持ちに近いものをお選びください。

「あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと」が 67.5%で最も高い。次いで、「日頃から仲良く交流すること」(16.8%)、「地域の行事や清掃活動などに参加すること」(11.9%)である。「付き合いは必要ない」はわずか 2.8%である。

平成 29 年調査と比較すると、「あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと」が平成 29 年の 63.2%より4ポイント上がり、「付き合いは必要ない」は平成 29 年の 13.6%より 11 ポイント下がっている。

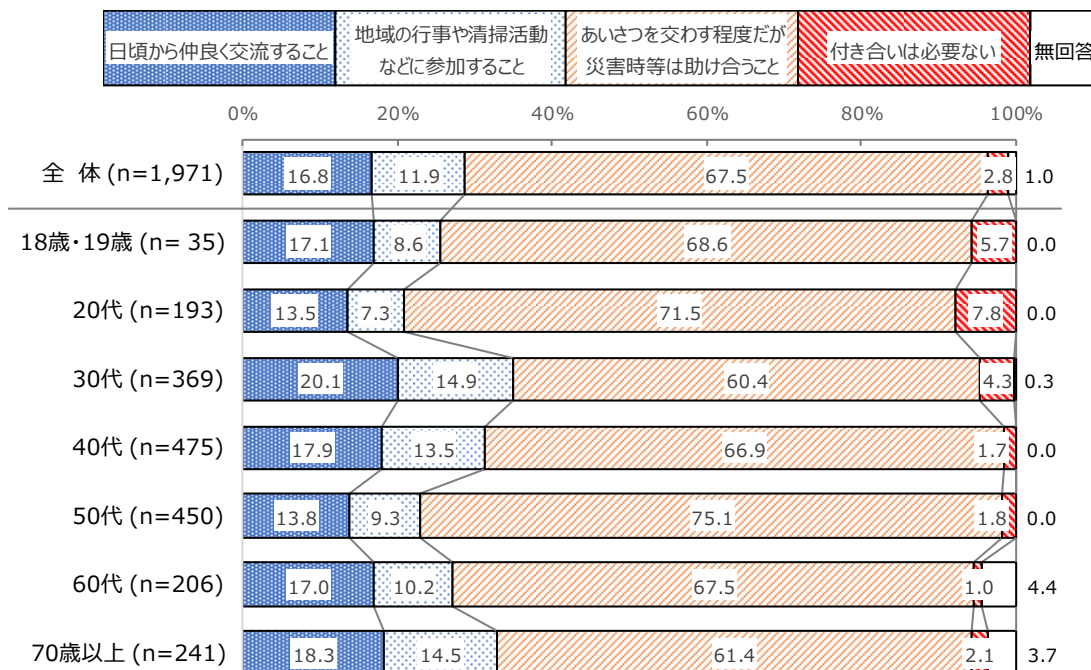
図Ⅲ-7-7 近所付き合いの望ましい姿



#### 【年齢別】

「日頃から仲良く交流すること」は 30 代が 20.1%で最も高い。「あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと」は 50 代(75.1%)に次いで 20 代(71.5%)が高い。また、20 代は「付き合いは必要ない」が 7.8%で、他の年代よりやや高く、密な近所付き合いはあまり望んでいないことがうかがえる。

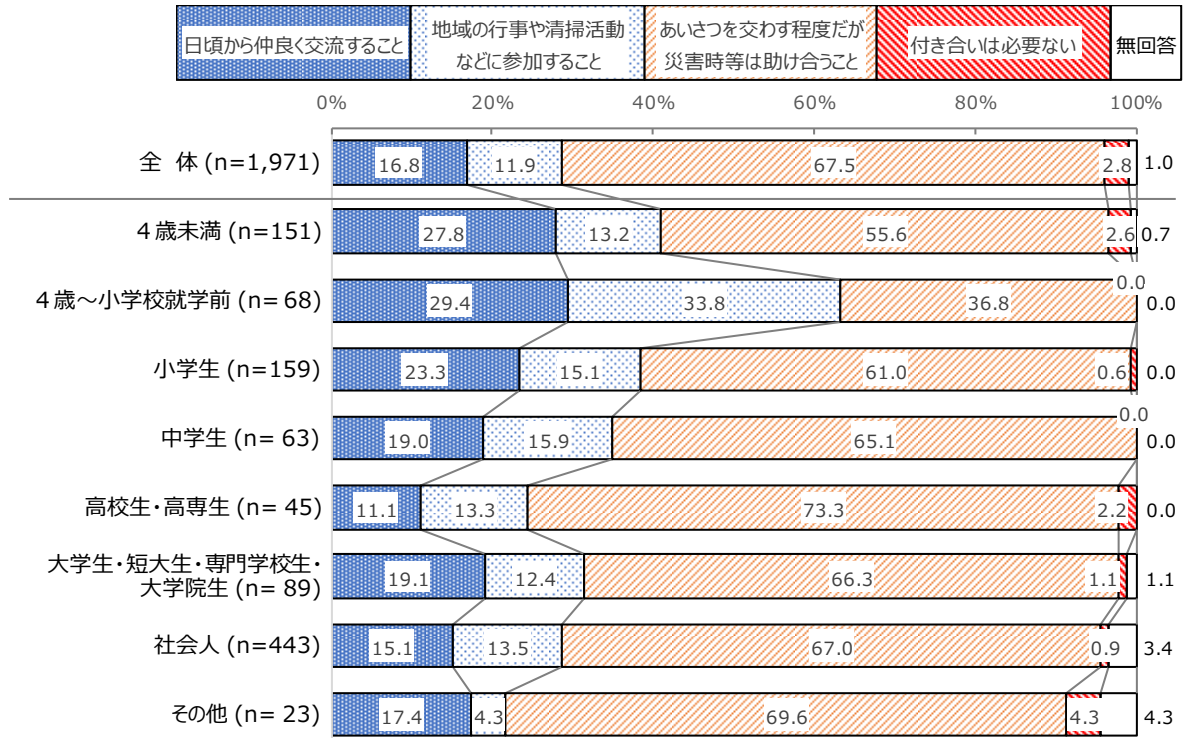
図Ⅲ-7-8 近所付き合いの望ましい姿(年齢別)



### 【長子年齢別】

「4歳～小学校就学前」は「日頃から仲良く交流すること」「地域の行事や清掃活動などに参加すること」ともに3割前後で他層と比較して最も高い。「4歳未満」も「日頃から仲良く交流すること」は27.8%と高く、子どもが幼児期は密な近所付き合いを望んでいることがうかがえる。

図Ⅲ-7-9 近所付き合いの望ましい姿(長子年齢別)



## 8. 町会・自治会について

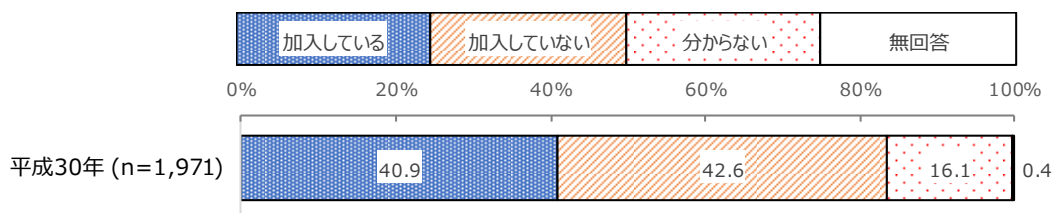
### (1) 町会・自治会の加入状況

問 17 あなたは、町会・自治会に加入していますか。(答は1つ)

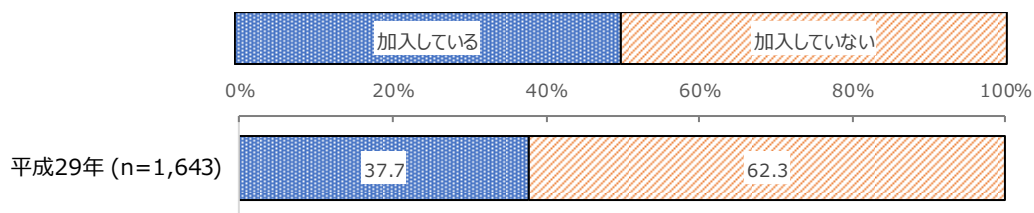
「加入していない」が 42.6%、「加入している」が 40.9%、「分からない」が 16.1%である。

平成 29 年調査では選択肢に「分からない」がないため、直接的な比較はできないが、「加入している」が 37.7%であることから、加入率(「加入している」)は4割前後でほぼ変わらないといえる。

図Ⅲ-8-1 町会・自治会の加入状況



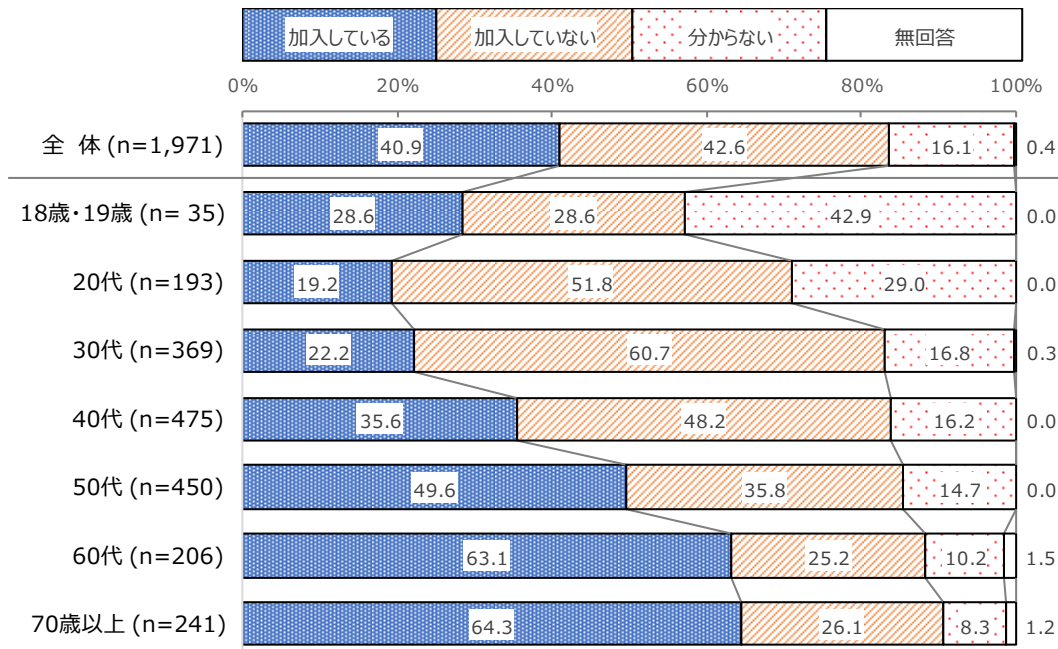
<参考資料>平成 29 年調査 町会・自治会の加入状況



### 【年齢別】

20代以降は、年代が上がるにつれ加入率は高くなっており、20代・30代は2割前後、60代以上は6割以上を占める。

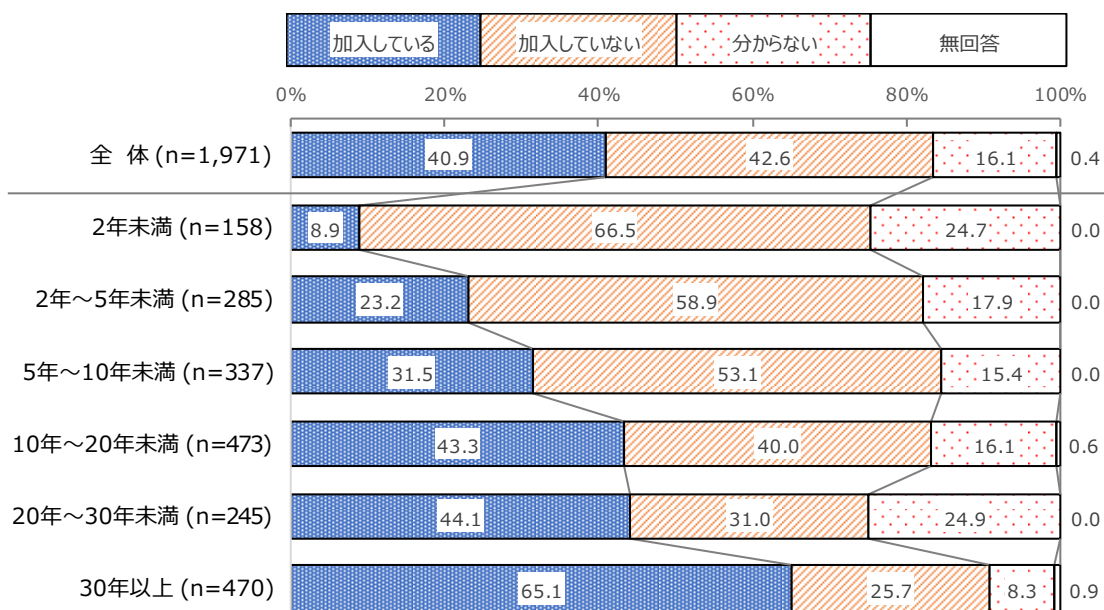
図Ⅲ-8-2 町会・自治会の加入状況(年齢別)



### 【居住年数別】

居住年数が長くなるにつれ、加入率は高くなっている。居住年数「2年未満」の加入率はわずか8.9%であるのに対し、「30年以上」は65.1%に達する。

図Ⅲ-8-3 町会・自治会の加入状況(居住年数別)

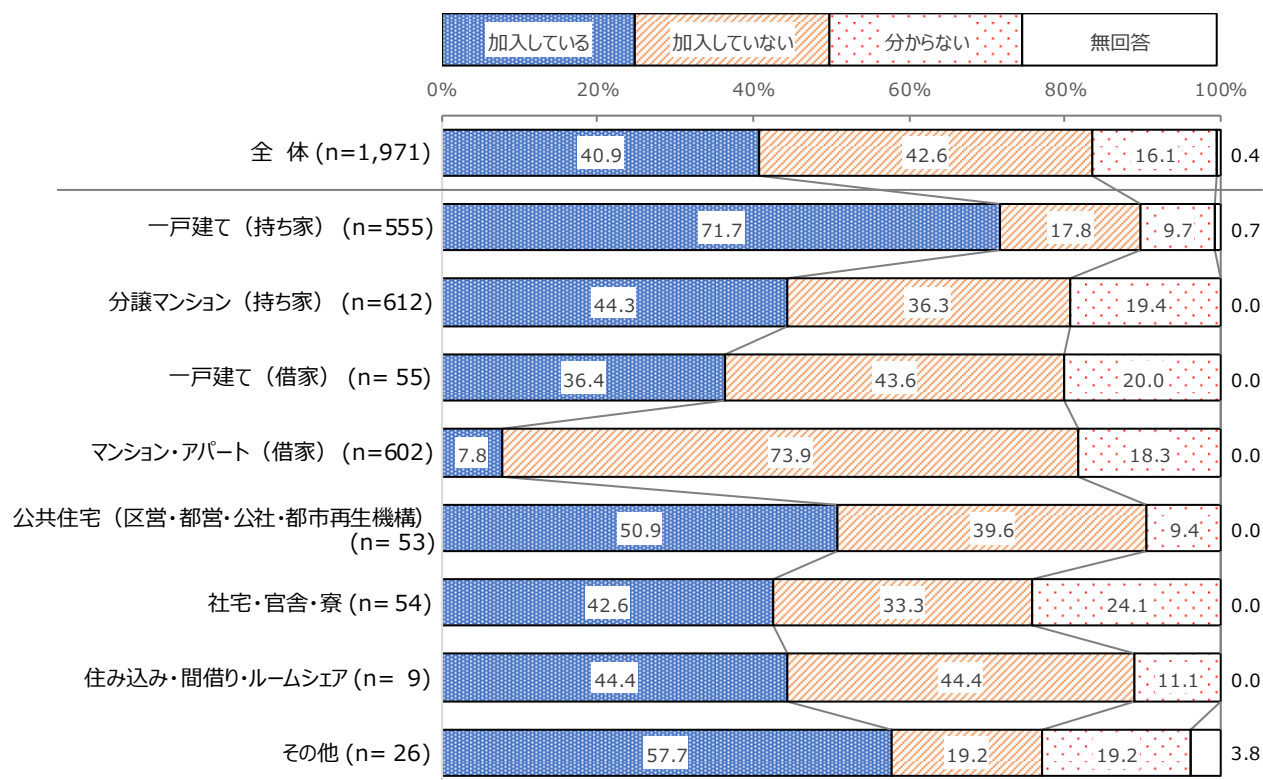




### 【住居形態別】

加入率が最も高いのは「一戸建て(持ち家)」の71.7%である。「公共住宅」も5割を超えている。一方、「一戸建て(借家)」の加入率は36.4%で「一戸建て(持ち家)」の半数程度であり、「マンション・アパート(借家)」はわずか7.8%である。

図Ⅲ-8-4 町会・自治会の加入状況(住居形態別)



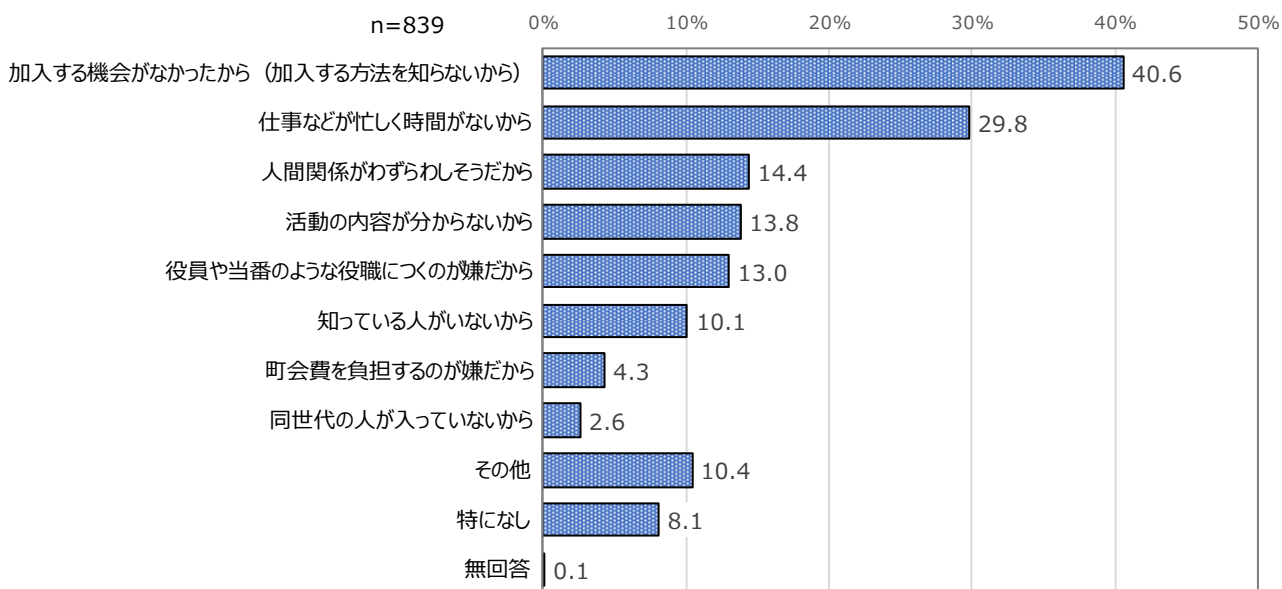
## (2) 町会・自治会の未加入理由

問 17-1 加入していない理由は何ですか。(答は2つまで) [問 17 で「加入していない」と回答した方対象]

「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」が 40.6%で最も高く、次いで、「仕事などが忙しく時間がないから」(29.8%)が高い。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なるため比較は難しいが、「仕事などが忙しく時間がないから」は平成 29 年が 36.2%、今年が 29.8%で、約3割が忙しいことを理由に挙げている。

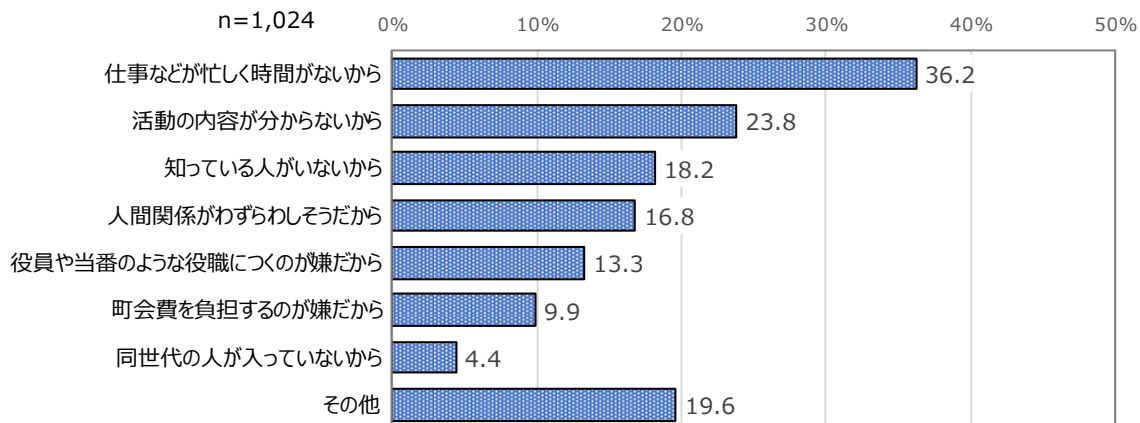
図Ⅲ-8-5 町会・自治会の未加入理由



【その他の回答】

マンション・賃貸だから、活動の意義が感じられない、興味が無い、案内がない、親が加入している、以前は加入していたが活動や会費の使途がよく分からなかった、あることを知らない、介護で忙しい、体調・体力に自信がない、参加を断られた、外国人であるため など

<参考資料>平成 29 年調査 町会・自治会の未加入理由



### 【年齢別】

「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」は 20～40 代が4割を超えており、他の年代との差が大きい。「仕事などが忙しく時間がないから」は60代が40.4%で他の年代より高い。「人間関係がわずらわしそうだから」は、回答数の少ない18歳・19歳を除くと、60代(19.2%)と20代(19.0%)がやや高い。

表Ⅲ-8-1 町会・自治会の未加入理由(年齢別)

(%)

	仕事などが忙しく時間がないから	知っている人がいないから	同世代の人が入っていないから	人間関係がわずらわしそうだから	活動の内容が分からないから	役員や当番のような役職につくのが嫌だから	町会費を負担するのが嫌だから	加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)	その他	特になし	無回答
全体 (n=839)	29.8	10.1	2.6	14.4	13.8	13.0	4.3	40.6	10.4	8.1	0.1
18歳・19歳 (n=10)	<u>10.0</u>	<b>20.0</b>	<b>30.0</b>	<b>30.0</b>	10.0	10.0	-	<u>30.0</u>	-	10.0	-
20代 (n=100)	32.0	13.0	7.0	19.0	11.0	9.0	6.0	40.0	<u>3.0</u>	10.0	-
30代 (n=224)	27.2	10.3	2.7	13.8	17.4	12.9	4.5	<b>47.3</b>	8.5	7.1	-
40代 (n=229)	29.3	11.8	1.3	13.1	11.4	14.8	4.4	45.0	9.6	8.3	-
50代 (n=161)	32.3	<u>5.0</u>	1.9	10.6	13.7	13.7	5.0	<u>35.4</u>	14.9	8.7	-
60代 (n= 52)	<b>40.4</b>	11.5	-	19.2	15.4	13.5	1.9	<u>26.9</u>	9.6	7.7	-
70歳以上 (n= 63)	25.4	9.5	-	17.5	14.3	11.1	1.6	<u>28.6</u>	<b>22.2</b>	6.3	1.6

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### 【居住年数別】

「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」は居住年数「30年以上」が28.9%で、全体より12ポイント低く、他層との差が大きい。「30年以上」は「仕事などが忙しく時間がないから」(38.8%)が未加入理由の第1位であり、第3位の「人間関係がわずらわしそうだから」(19.8%)も全体より5ポイント高い。居住年数「2年未満」は「加入する機会がなかったから」(45.7%)が全体より5ポイント、「仕事などが忙しく時間がないから」(37.1%)が全体より7ポイント高い。

表Ⅲ-8-2 町会・自治会の未加入理由(居住年数別)

(%)

	仕事などが忙しく時間がないから	知っている人がいないから	同世代の人が入っていないから	人間関係がわずらわしそうだから	活動の内容が分からないから	役員や当番のような役職につくのが嫌だから	町会費を負担するのが嫌だから	加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)	その他	特になし	無回答
全体 (n=839)	29.8	10.1	2.6	14.4	13.8	13.0	4.3	40.6	10.4	8.1	0.1
2年未満 (n=105)	<b>37.1</b>	7.6	1.9	11.4	10.5	9.5	2.9	<b>45.7</b>	5.7	11.4	-
2年～5年未満 (n=168)	29.8	11.9	3.0	14.9	11.9	13.7	3.6	44.6	8.9	7.1	-
5年～10年未満 (n=179)	26.3	12.3	3.9	13.4	12.8	12.3	5.6	41.9	11.2	7.8	0.6
10年～20年未満 (n=189)	<u>24.3</u>	7.9	2.1	13.2	15.3	15.9	4.8	39.7	13.8	9.5	-
20年～30年未満 (n= 76)	27.6	10.5	1.3	14.5	15.8	<u>7.9</u>	3.9	43.4	7.9	7.9	-
30年以上 (n=121)	<b>38.8</b>	9.1	2.5	<b>19.8</b>	16.5	14.9	4.1	<u>28.9</u>	11.6	5.0	-

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

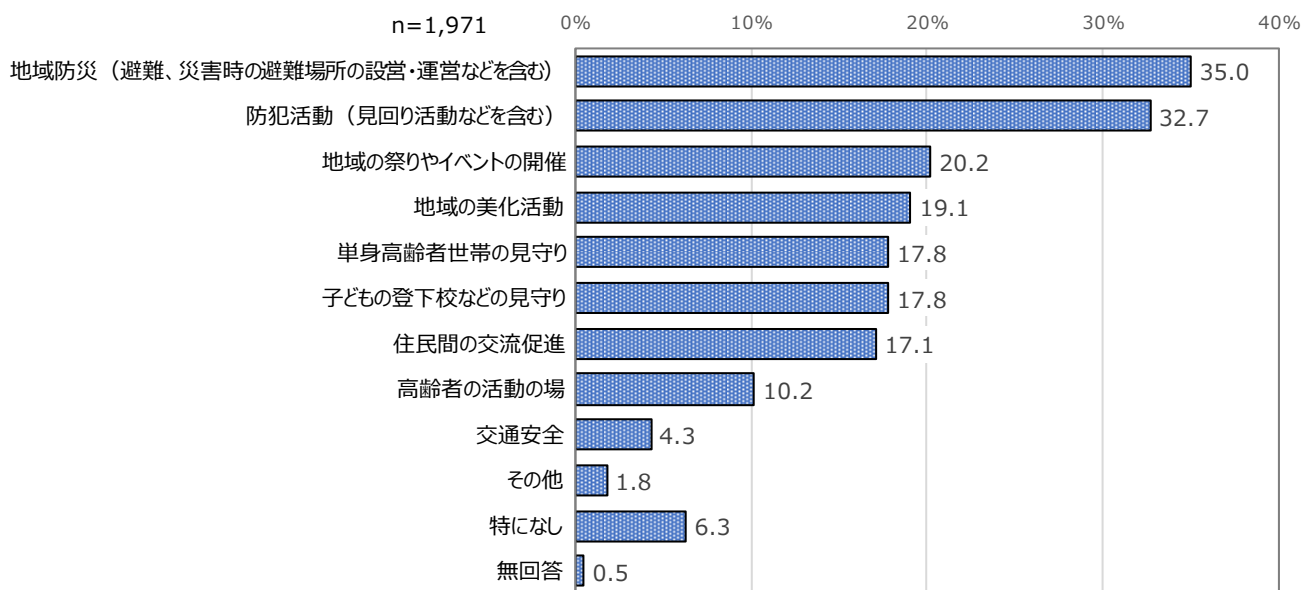
### (3) 町会・自治会へ期待する役割

問 18 町会・自治会の役割としてどのようなことを期待しますか。(答は2つまで)

「地域防災(避難、災害時の避難場所の設営・運営などを含む)」(35.0%)や「防犯活動(見回り活動などを含む)」(32.7%)が高く、防災・防犯への期待が高いことがわかる。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、傾向は概ね同じであり、上位2位は今年と同じである。

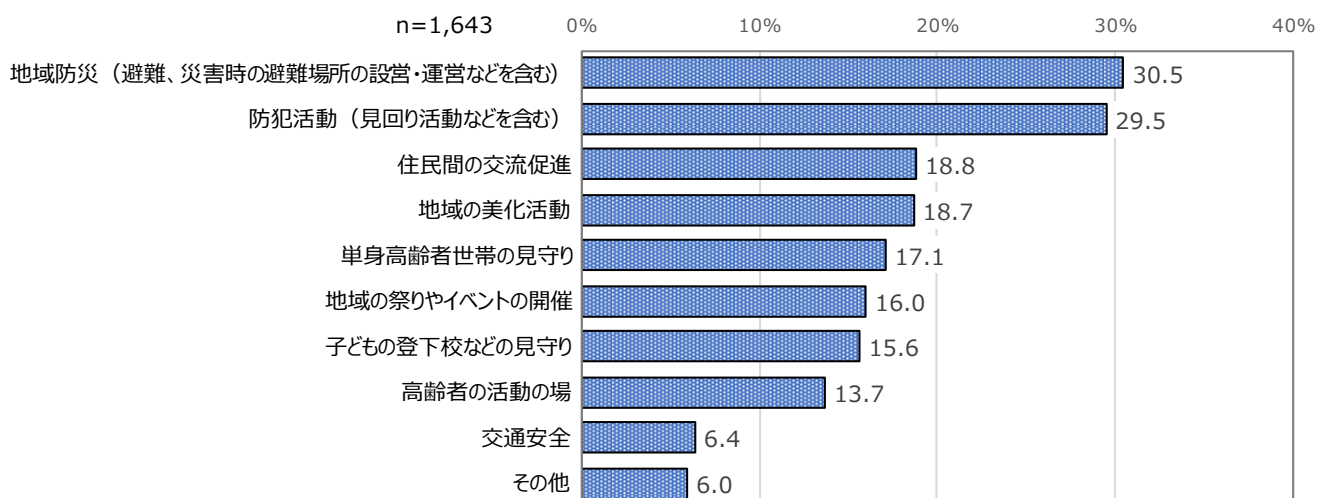
図Ⅲ-8-6 町会・自治会へ期待する役割



[その他の回答]

町会費の用途の明確化、地域情報の共有、喫煙・放置自転車・ごみ出しなどの取り締り、環境保全、公園や遊び場の充実、誰にとっても優しい地域づくり、子どもの虐待防止、地域の意見を区議会へ陳情、野良猫の面倒 など

#### <参考資料>平成 29 年調査 町会・自治会へ期待する役割



### 【年齢別】

「地域防災」は 50 代・60 代が4割を超え、若年層より中高年齢層の方が比較的高い。「単身高齢者世帯の見守り」も同様に中高年齢層が高くなっている。一方、「地域の祭りやイベントの開催」は 30 代以下の若年層の方が高い傾向がみられる。「子どもの登下校などの見守り」は 20～40 代が高く、子どもを持つ世代の要望が高い。「防犯活動」はいずれの年代も3割前後と高い。

表Ⅲ-8-3 町会・自治会へ期待する役割(年齢別)

(%)

	高齢者の活動の場	住民間の交流促進	単身高齢者世帯の見守り	防犯活動	子どもの登下校などの見守り	地域の美化活動	地域防災	交通安全	地域の祭りやイベントの開催	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,971)	10.2	17.1	17.8	32.7	17.8	19.1	35.0	4.3	20.2	1.8	6.3	0.5
18歳・19歳 (n=35)	5.7	<u>11.4</u>	<u>11.4</u>	31.4	17.1	<b>25.7</b>	<u>20.0</u>	<b>11.4</b>	<b>34.3</b>	-	8.6	-
20代 (n=193)	6.7	13.5	<u>11.9</u>	33.2	<b>23.8</b>	19.2	<u>29.5</u>	7.3	23.3	1.0	9.8	-
30代 (n=369)	8.9	17.9	<u>10.0</u>	34.4	<b>26.0</b>	16.8	<u>27.9</u>	4.1	<b>27.6</b>	1.4	5.7	0.3
40代 (n=475)	9.1	15.6	14.5	35.2	<b>24.6</b>	17.3	31.4	3.2	22.9	1.5	6.9	-
50代 (n=450)	10.2	16.0	<b>25.1</b>	31.3	<u>9.8</u>	19.1	<b>41.3</b>	3.1	18.2	2.2	6.4	-
60代 (n=206)	14.1	19.4	<b>22.8</b>	28.2	<u>10.7</u>	23.3	<b>44.7</b>	4.9	<u>10.7</u>	1.9	4.4	1.9
70歳以上 (n=241)	14.5	<b>22.8</b>	<b>23.7</b>	31.5	<u>8.3</u>	22.0	38.6	5.4	<u>11.2</u>	2.9	4.6	2.1

注) 表中の  は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

### 【居住年数別】

「地域防災」は居住年数 10 年未満と 10 年以上で差があり、10 年以上では4割弱に達する。「防犯活動」は「2年未満」が 39.2%で他層より高い。「子どもの登下校などの見守り」は 10 年未満が2割を超えている。「地域の祭りやイベントの開催」は「2年～5年未満」が 26.3%、「2年未満」が 22.8%で、居住年数が長い層より高い。「単身高齢者世帯の見守り」は 20 年以上が2割を超えている。

表Ⅲ-8-4 町会・自治会へ期待する役割(居住年数別)

(%)

	高齢者の活動の場	住民間の交流促進	単身高齢者世帯の見守り	防犯活動	子どもの登下校などの見守り	地域の美化活動	地域防災	交通安全	地域の祭りやイベントの開催	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,971)	10.2	17.1	17.8	32.7	17.8	19.1	35.0	4.3	20.2	1.8	6.3	0.5
2年未満 (n=158)	8.9	17.1	13.3	<b>39.2</b>	21.5	23.4	<u>24.1</u>	3.8	22.8	1.3	7.0	-
2年～5年未満 (n=285)	9.1	19.3	<u>11.9</u>	29.8	21.1	18.2	30.5	4.6	<b>26.3</b>	1.8	7.4	-
5年～10年未満 (n=337)	10.7	16.6	16.3	32.9	<b>24.3</b>	18.4	31.8	3.0	21.7	1.2	6.2	-
10年～20年未満 (n=473)	7.8	17.1	17.1	33.8	15.6	19.2	37.2	5.1	19.9	1.1	7.0	0.6
20年～30年未満 (n=245)	10.2	17.1	<b>23.3</b>	29.8	17.6	14.3	38.0	3.7	20.8	2.0	6.1	0.8
30年以上 (n=470)	13.4	16.0	21.9	32.3	<u>12.1</u>	21.3	39.8	4.9	<u>14.7</u>	3.0	5.1	1.1

注) 表中の  は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【町会・自治会加入有無別】

「加入している」層は第1位が「地域防災」(40.1%)、第2位が「防犯活動」(32.5%)、第3位が「住民間の交流促進」(22.2%)であり、「地域防災」と「住民間の交流促進」は「加入していない／分からない」層より約9ポイント高い。「加入していない／分からない」層は第1位が「防犯活動」(33.0%)、第2位が「地域防災」(31.5%)、第3位が「地域の美化活動」(20.7%)、第4位が「地域の祭りやイベントの開催」(20.3%)であり、「子どもの登下校などの見守り」(19.7%)は第5位であるが、「加入している」層より5ポイント高い。

表Ⅲ-8-5 町会・自治会へ期待する役割(町会・自治会加入有無別)

	(%)											
	高齢者の活動の場	住民間の交流促進	単身高齢者世帯の見守り	防犯活動	子どもの登下校などの見守り	地域の美化活動	地域防災	交通安全	地域の祭りやイベントの開催	その他	特になし	無回答
全 体 (n=1,971)	10.2	17.1	17.8	32.7	17.8	19.1	35.0	4.3	20.2	1.8	6.3	0.5
加入している (n= 807)	10.0	<b>22.2</b>	18.8	32.5	15.2	17.1	<b>40.1</b>	4.2	20.3	2.5	4.3	0.1
加入していない/分からない (n=1,157)	10.4	13.7	17.1	33.0	19.7	20.7	31.5	4.4	20.3	1.3	7.8	0.3

注) 表中の ■ は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

## 9. 広報紙「しぶや区ニュース」について

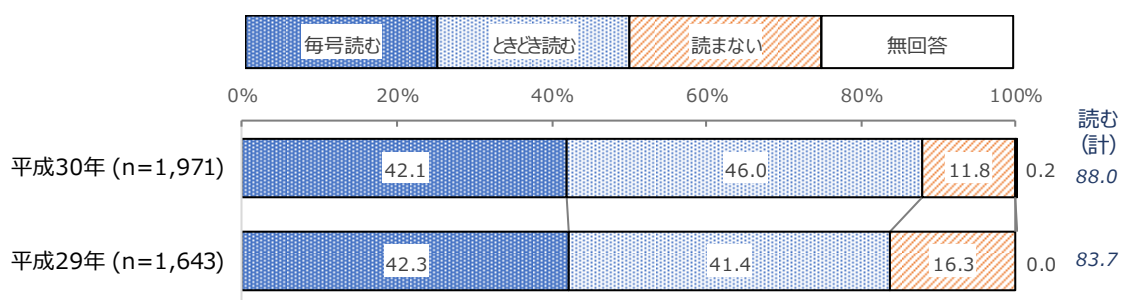
### (1) 広報紙「しぶや区ニュース」の閲読状況

問 19 あなたは、広報紙「しぶや区ニュース」を読んでいますか。(答は1つ)

「ときどき読む」が 46.0%、「毎号読む」が 42.1%、「読まない」が 11.8%である。「読む(計)」「(「毎号読む」+「ときどき読む」)は 88.0%を占める。

平成 29 年調査と比較すると、「ときどき読む」が平成 29 年の 41.4%より5ポイント上がり、閲読率(「毎号読む」+「ときどき読む」)も平成 29 年の 83.7%から4ポイント上がっている。

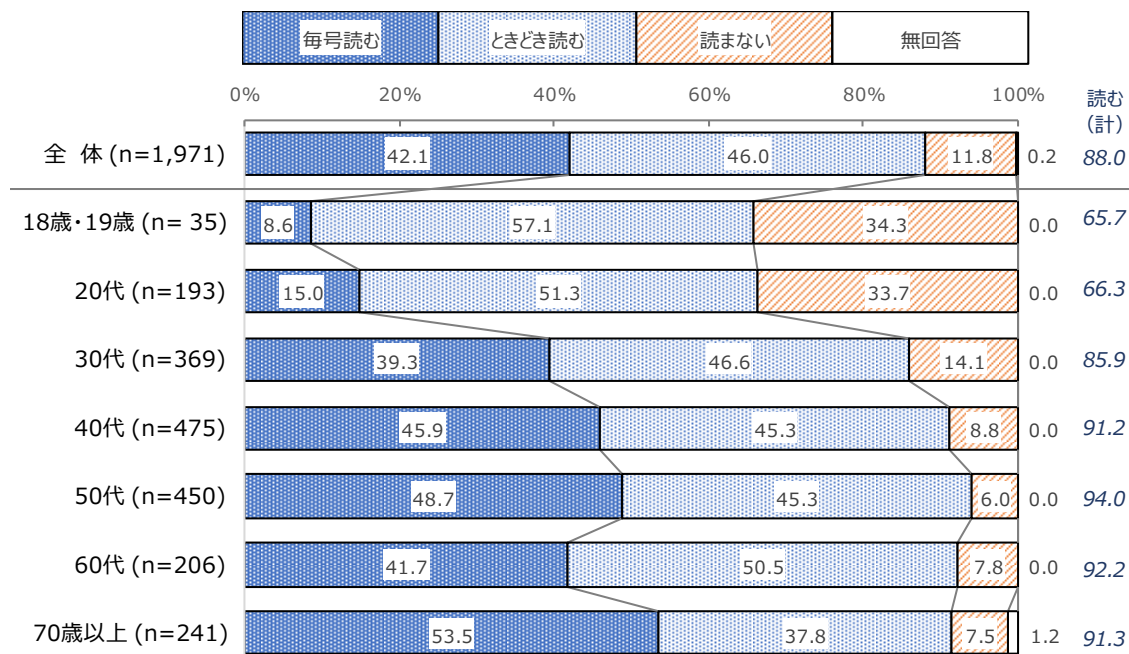
図Ⅲ-9-1 広報紙「しぶや区ニュース」の閲読状況



### 【年齢別】

30代以上は「毎号読む」が4割弱～5割強を占め、閲読率も8割半ば～9割半ばを占める。20代以下の閲読率は6割半ばで、「毎号読む」は20代が15.0%、18歳・19歳が8.6%にとどまっている。

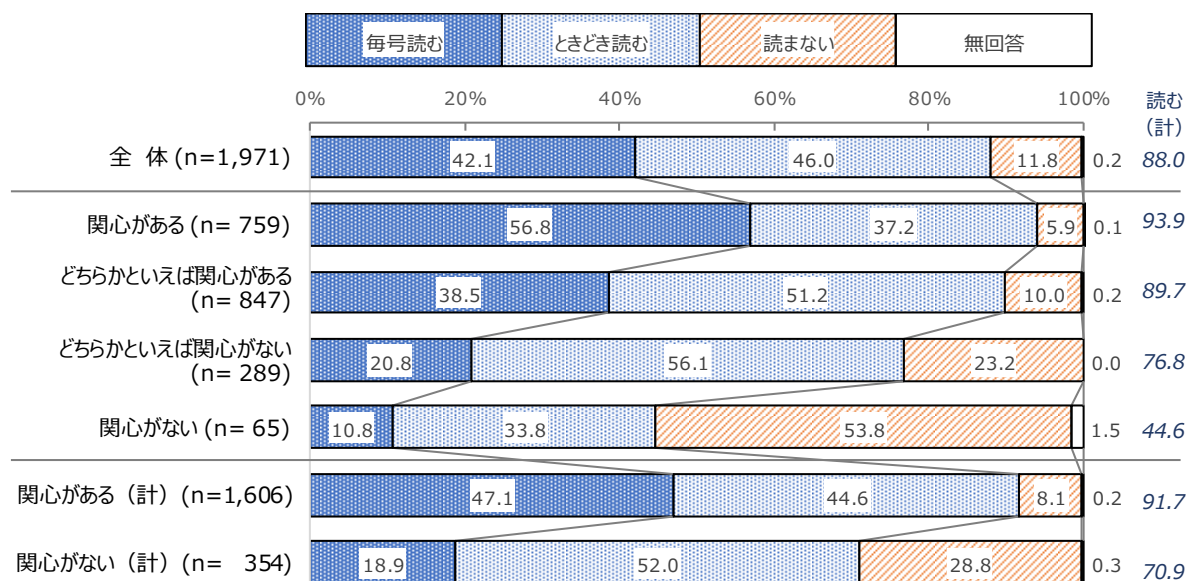
図Ⅲ-9-2 広報紙「しづや区ニュース」の閲読状況(年齢別)



### 【区政への関心度別】

区政に対する関心度が高いほど閲読率は高くなっている。「関心がある(計)」は「毎号読む」が47.1%と5割近くを占め、閲読率も91.7%に達するが、「関心がない(計)」の「毎号読む」は18.9%にとどまっている。

図Ⅲ-9-3 広報紙「しづや区ニュース」の閲読状況(区政への関心度別)





## (2) 広報紙「しぶや区ニュース」の評価

問 19-1 「しぶや区ニュース」をお読みになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ) [問 19 で「毎号読む」「ときどき読む」と回答した方対象]

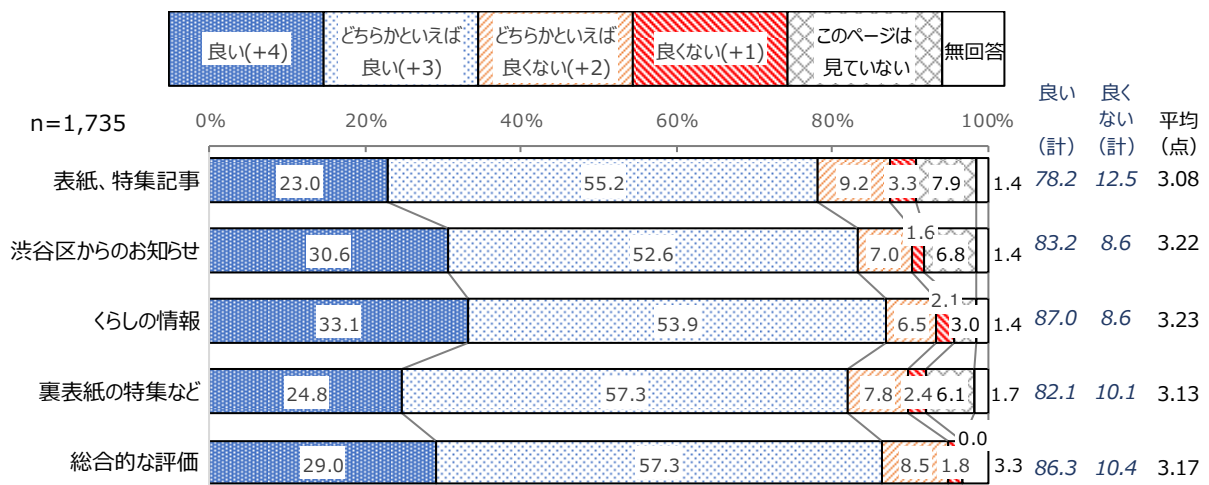
いずれの項目も「良い(計)」「良い」+「どちらかといえば良い」は8割弱～9割弱を占め、評価は非常に高い。

各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出したところ、「くらしの情報」が 3.23 点で最も高く、次いで、「渋谷区からのお知らせ」(3.22 点)が高い。

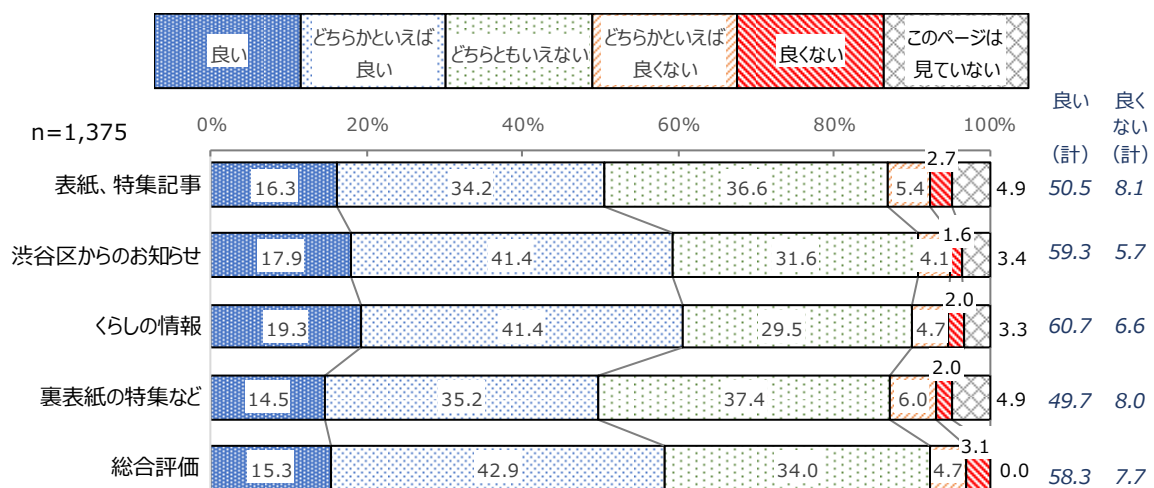
良い:4点	どちらかといえば良い:3点
どちらかといえば良くない:2点	良くない:1点

平成 29 年調査では「どちらともいえない」があるため直接的な比較はできないが、傾向は似ており、「くらしの情報」と「渋谷区からのお知らせ」の評価が他の項目より高い。

図Ⅲ-9-4 広報紙「しぶや区ニュース」の評価



<参考資料>平成 29 年調査 広報紙「しぶや区ニュース」の評価

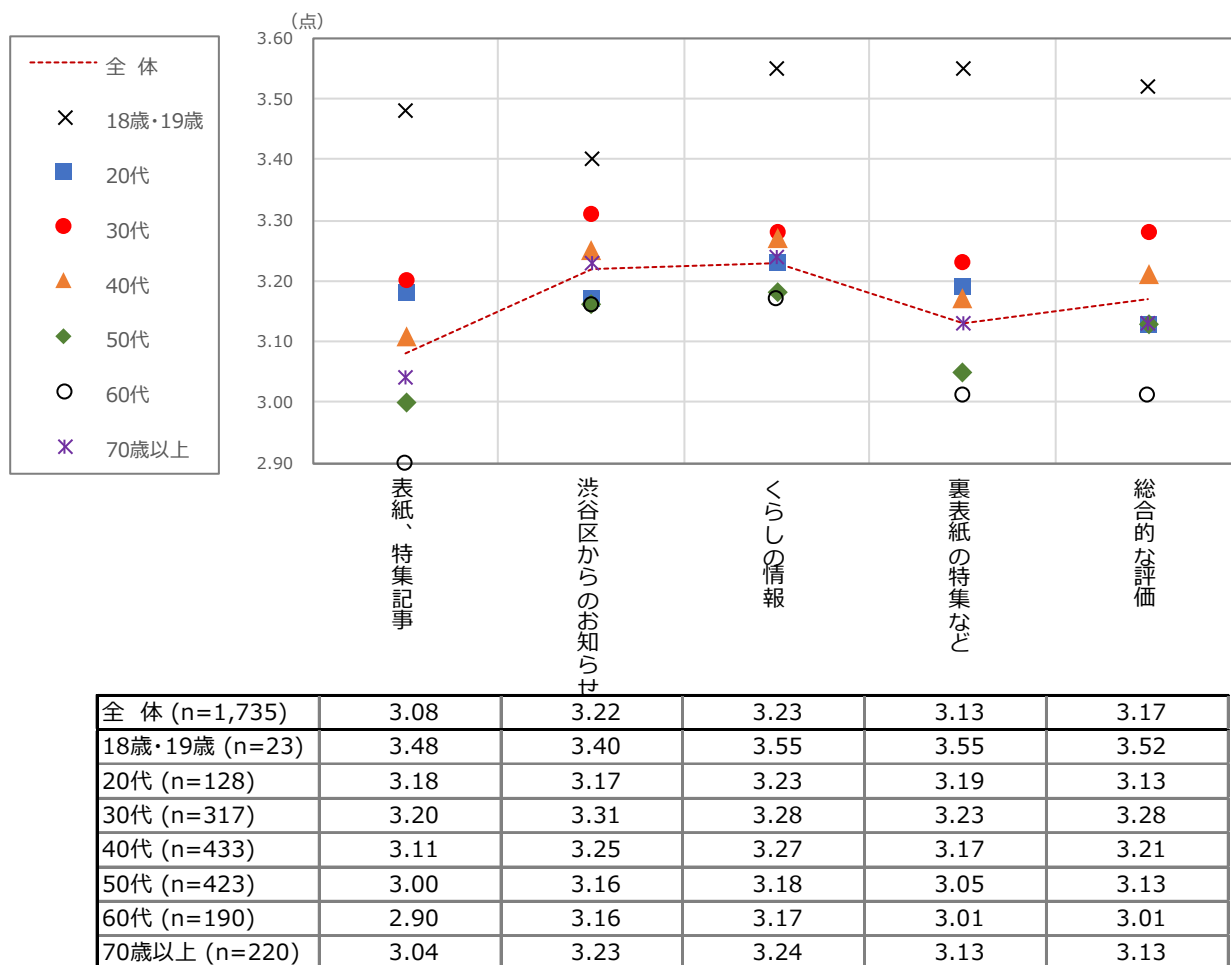


## 【年齢別】

各回答について前ページと同様の手法で平均点を算出した。

回答数の少ない18歳・19歳を除くと、最も評価が高かったのは「渋谷区からのお知らせ」の30代で3.31点である。「くらしの情報」は3.17点～3.28点で各年代とも評価が高い。30代はいずれの項目も20代以上の他の年代より平均点が高く、60代はいずれの項目も他の年代より低い。

図Ⅲ-9-5 広報紙「しぶや区ニュース」の評価(年齢別)



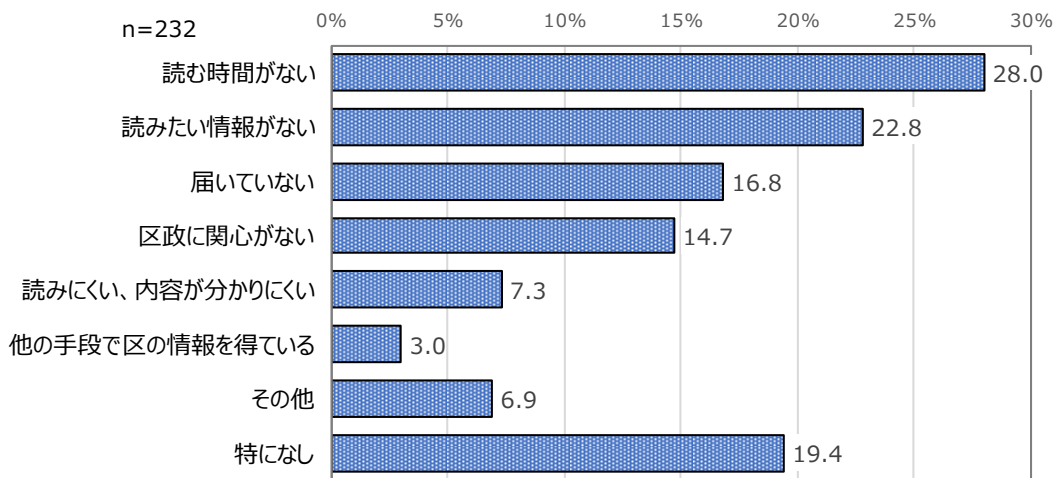
### (3) 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由

問 19-2 「しぶや区ニュース」を読まない理由は何ですか。(答は2つまで) [問 19 で「読まない」と回答した方対象]

「読む時間がない」が 28.0%で最も高く、以下、「読みたい情報がない」(22.8%)、「届いていない」(16.8%)、「区政に関心がない」(14.7%)などが続く。

平成 29 年調査は選択肢が一部異なるため直接的な比較は難しいが、「読む時間がない」が平成 29 年の 15.3%より 13 ポイント上がり、「読みたい情報がない」が平成 29 年の 11.9%より 11 ポイント上がっている。

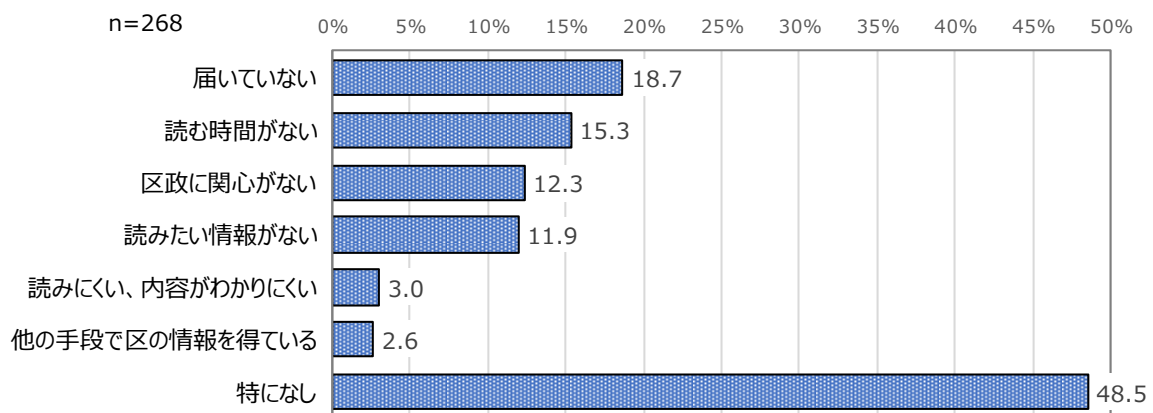
図Ⅲ-9-6 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由



[その他の回答]

しぶや区ニュースを知らなかった、関心のある情報がない、不要な記事が多い、日本語が読めない、他県に居ることが多い、読む習慣がない、大きな見出しだけ見る、Web サイトなら読む、大事なことだけを LINE で送ってほしい など

#### <参考資料>平成 29 年調査 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由



### 【年齢別】

回答数が30以上の20～40代についてみると、「読む時間がない」は40代(33.3%)と20代(32.3%)で3割を超えている。「読みたい情報がない」は30代(30.8%)と40代(28.6%)が3割前後で20代(18.5%)との差が大きい。「届いていない」は20代が23.1%で全体より6ポイント高い。

表Ⅲ-9-1 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由(年齢別)

	(%)							
	届いていない	読みたい情報がない	読む時間がない	区政に関心がない	読みにくい、内容が分かりにくい	他の手段で区の情報を得ている	その他	特になし
全 体 (n=232)	16.8	22.8	28.0	14.7	7.3	3.0	6.9	19.4
18歳・19歳 (n=12)	16.7	-	25.0	<b>25.0</b>	-	-	8.3	<b>41.7</b>
20代 (n= 65)	<b>23.1</b>	18.5	32.3	12.3	9.2	4.6	4.6	16.9
30代 (n= 52)	13.5	<b>30.8</b>	25.0	15.4	5.8	5.8	7.7	15.4
40代 (n= 42)	16.7	<b>28.6</b>	<b>33.3</b>	11.9	7.1	-	2.4	16.7
50代 (n= 27)	14.8	18.5	29.6	14.8	7.4	3.7	<b>14.8</b>	18.5
60代 (n= 16)	18.8	<b>31.3</b>	25.0	12.5	<b>18.8</b>	-	<b>12.5</b>	<u>12.5</u>
70歳以上 (n= 18)	<u>5.6</u>	<u>16.7</u>	<u>11.1</u>	<b>22.2</b>	-	-	5.6	<b>38.9</b>

注) 表中の  は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

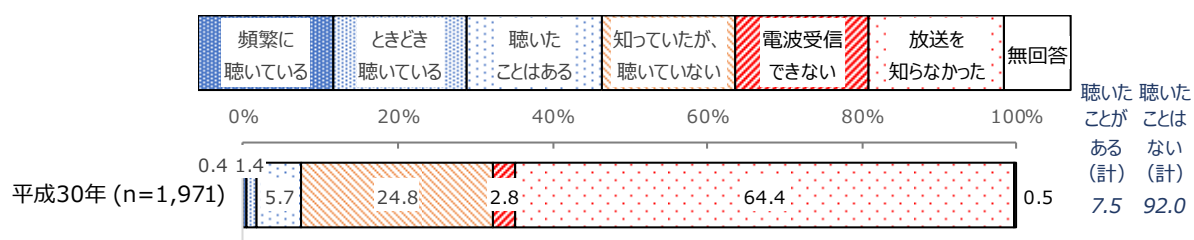
## 10. コミュニティFM・SNSについて

### (1) 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況

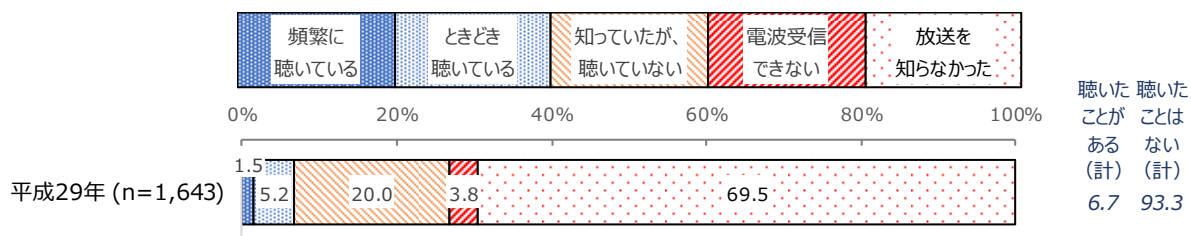
問 20 渋谷区内では、平成28年4月から地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」(87.6MHz)が放送を開始しましたが、聞いたことがありますか。(答は1つ)

「放送を知らなかった」が64.4%で最も高い。「知っていたが、聴いていない」は24.8%である。一方、「聞いたことがある(計)」「頻繁に聴いている」+「ときどき聴いている」+「聴いたことはある」は7.5%である。平成29年調査は選択肢が異なるため直接的な比較は難しいが、傾向はほぼ同じである。

図Ⅲ-10-1 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況



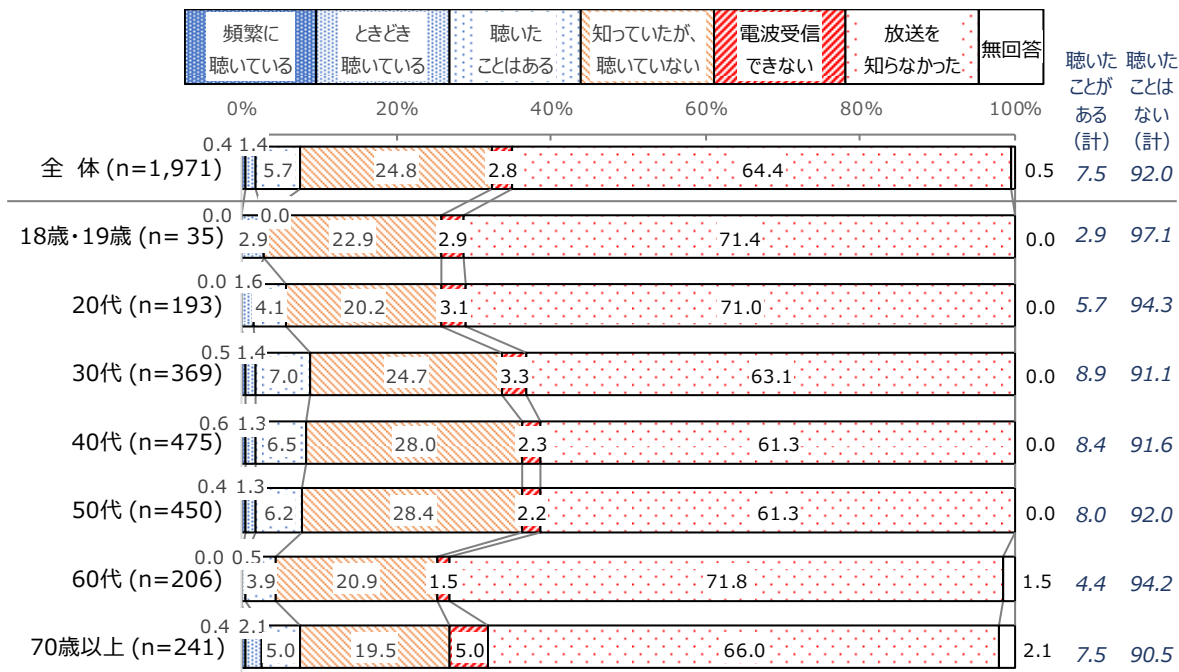
<参考資料>平成29年調査 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況



### 【年齢別】

各年代とも「放送を知らなかった」が最も高いが、30～50代は約6割で他の年代よりは低い。「聞いたことがある(計)」は各年代とも1割未満だが、30～50代が他の年代に比べやや高い。

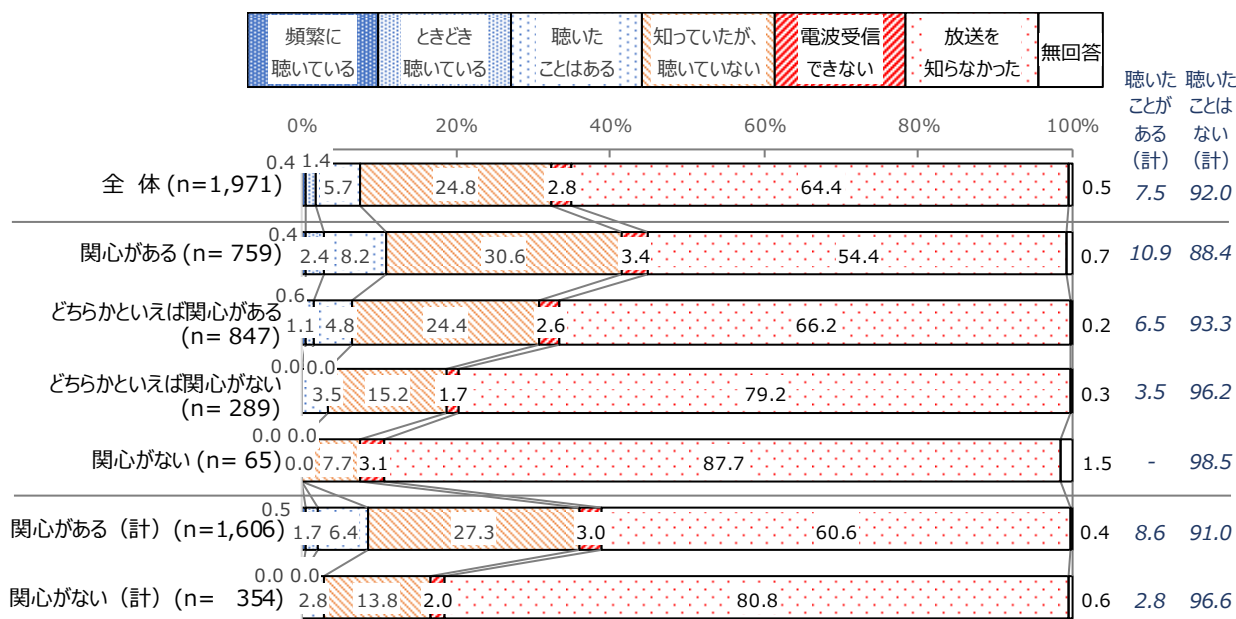
図Ⅲ-10-2 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況(年齢別)



### 【区政への関心度別】

「聞いたことがある(計)」と「知っていたが、聴いていない」は区政に対する関心度が高いほど高くなっている。区政に対して「関心がある」では、「聞いたことがある(計)」が 10.9%、「知っていたが、聴いていない」は 30.6%である。

図Ⅲ-10-3 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況(区政への関心度別)



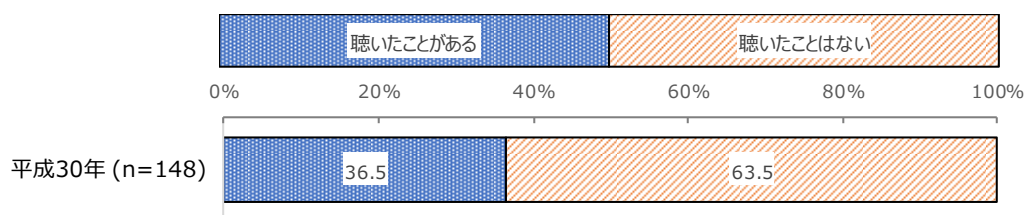
## (2) 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験

問 20-1 「渋谷のラジオ」を活用した区の広報番組を聞いたことがありますか。(答は1つ) [問 20 で「頻繁に聴いている」「ときどき聴いている」「聞いたことはある」と回答した方対象]

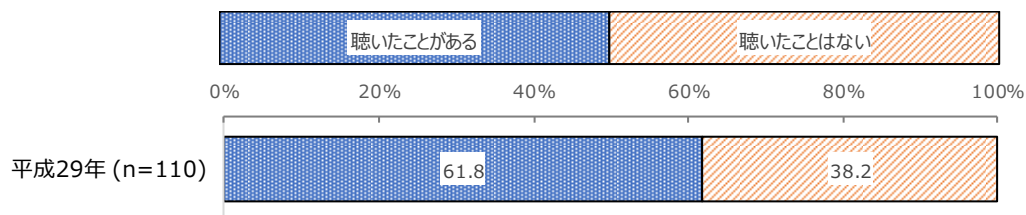
「聞いたことはない」が 63.5%、「聞いたことがある」が 36.5%である。

平成 29 年調査は「聞いたことがある」が 61.8%を占め、今年の結果と逆転しているが、平成 29 年調査は回答対象者が前問で「頻繁に聴いている」「ときどき聴いている」と回答した方が対象のため、それが結果に影響している可能性が考えられる。

図Ⅲ-10-4 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験



<参考資料>平成 29 年調査 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験



注) 平成 29 年調査の回答対象者は前問で「頻繁に聴いている」または「ときどき聴いている」と回答した方

### (3) 区の広報番組の評価

問 20-2 区の広報番組をお聴きになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ) [問 20-1 で「聴いたことがある」と回答した方対象]

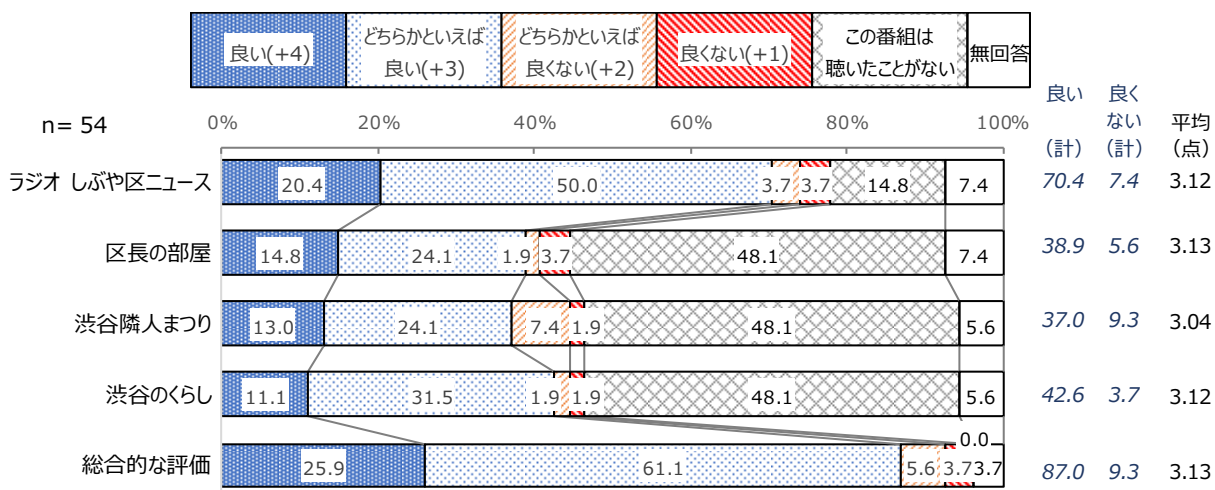
「総合的な評価」は「良い(計)」(「良い」+「どちらかといえば良い」)が87.0%を占める。「区長の部屋」「渋谷隣人まつり」「渋谷の暮らし」は「この番組は聴いたことがない」が48.1%で、「ラジオ しぶや区ニュース」(14.8%)より聴取経験が低い。

各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出したところ、平均点は3.04~3.13点である。

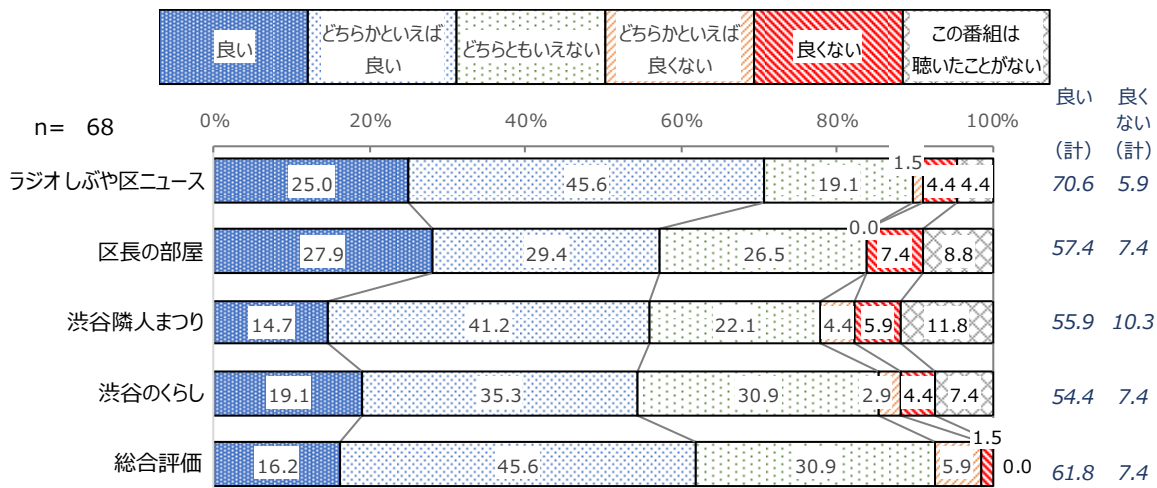
良い:4点	どちらかといえば良い:3点
どちらかといえば良くない:2点	良くない:1点

平成 29 年調査は選択肢が異なることから比較は難しい。

図Ⅲ-10-5 区の広報番組の評価



<参考資料>平成 29 年調査 区の広報番組の評価





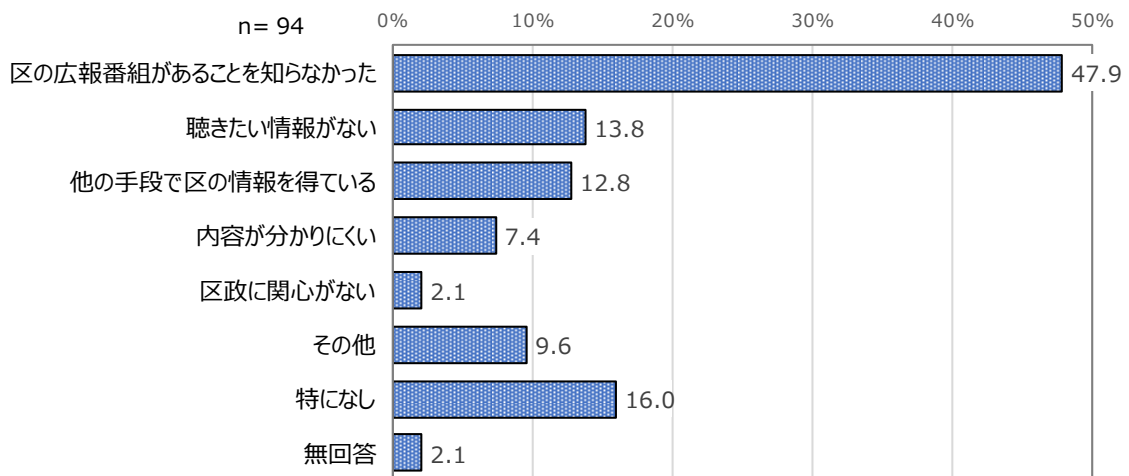
#### (4) 区の広報番組の非聴取理由

問 20-3 区の広報番組を聴いていない理由は何ですか。(答は2つまで) [問 20-1 で「聴いたことはない」と回答した方対象]

「区の広報番組があることを知らなかった」(47.9%)が半数近くに達する。以下、「聴きたい情報がない」(13.8%)、「他の手段で区の情報を得ている」(12.8%)などが続く。

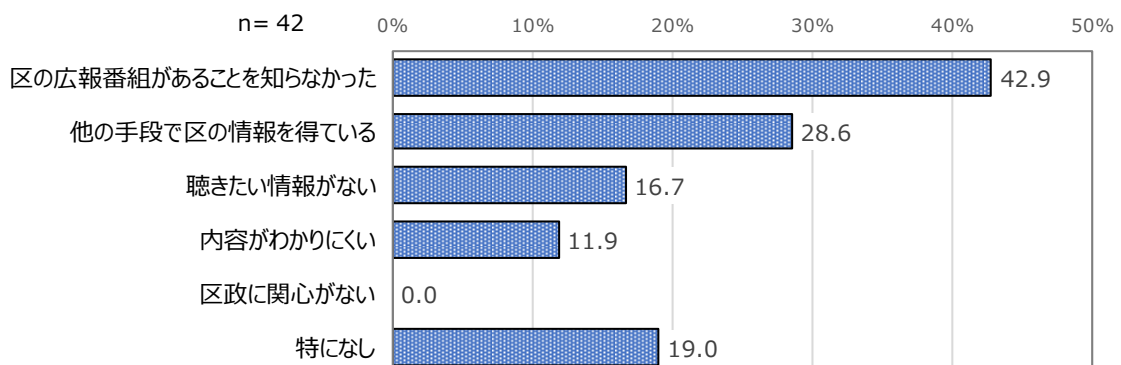
平成 29 年調査は選択肢が一部異なるが、「区の広報番組があることを知らなかった」が 42.9%で、今年と同様4割以上が非聴取理由に挙げている。

図Ⅲ-10-6 区の広報番組の非聴取理由



[その他の回答]  
ラジオを聴く習慣がない、働いているため聴けない、ごくたまにしか聴かない、一回トライした時に聴きづらかった、若者向けのスタッフでまとまりがない、内容がかたよりすぎて地域密着ではない

<参考資料>平成 29 年調査 区の広報番組の非聴取理由



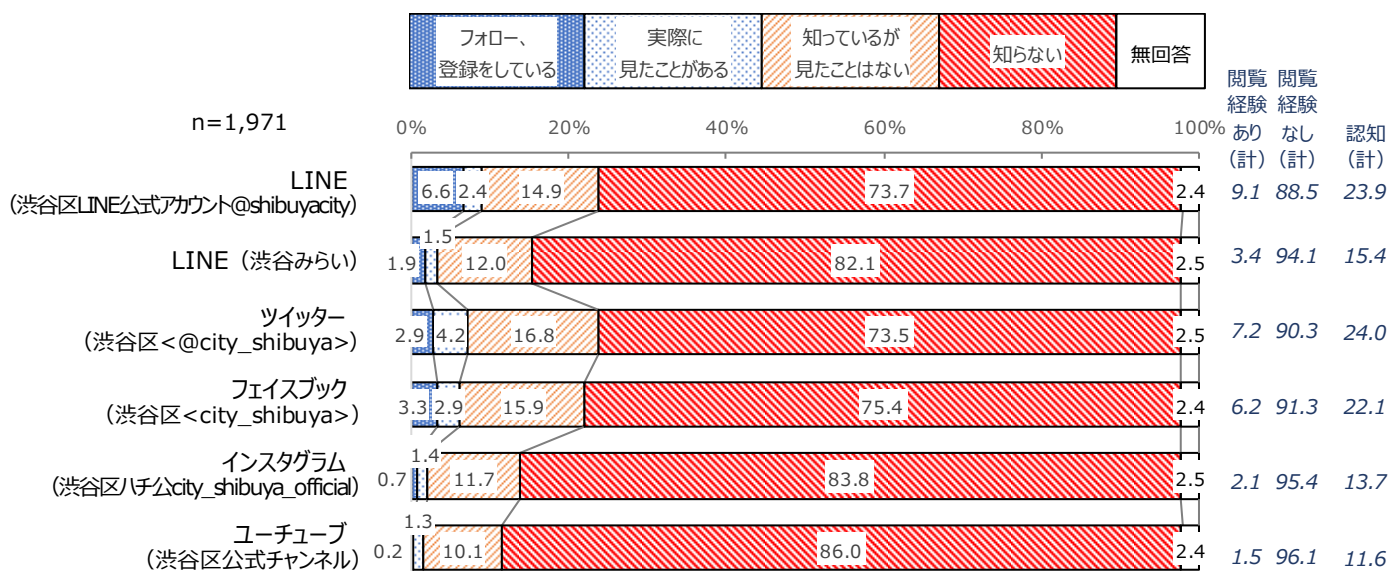
## (5) 渋谷区 SNS の認知・利用度

問 21 渋谷区では、LINE、Twitterなどソーシャルメディアを通じて情報を発信しています。あなたの利用状況を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

各ツールとも「認知(計)」「(フォロー、登録をしている)」「実際に見たことがある」「知っているが見たことはない」は3割未満にとどまっている。2割を超えているのは、「ツイッター(渋谷区<@city\_shibuya>)」(24.0%)、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(23.9%)、「フェイスブック(渋谷区<city\_shibuya>)」(22.1%)である。

「閲覧経験あり(計)」「(フォロー、登録をしている)」「実際に見たことがある)」についても、各ツールとも1割未満である。その中では「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(9.1%)が最も高く、次いで、「ツイッター(渋谷区<@city\_shibuya>)」(7.2%)、「フェイスブック(渋谷区<city\_shibuya>)」(6.2%)などが高い。

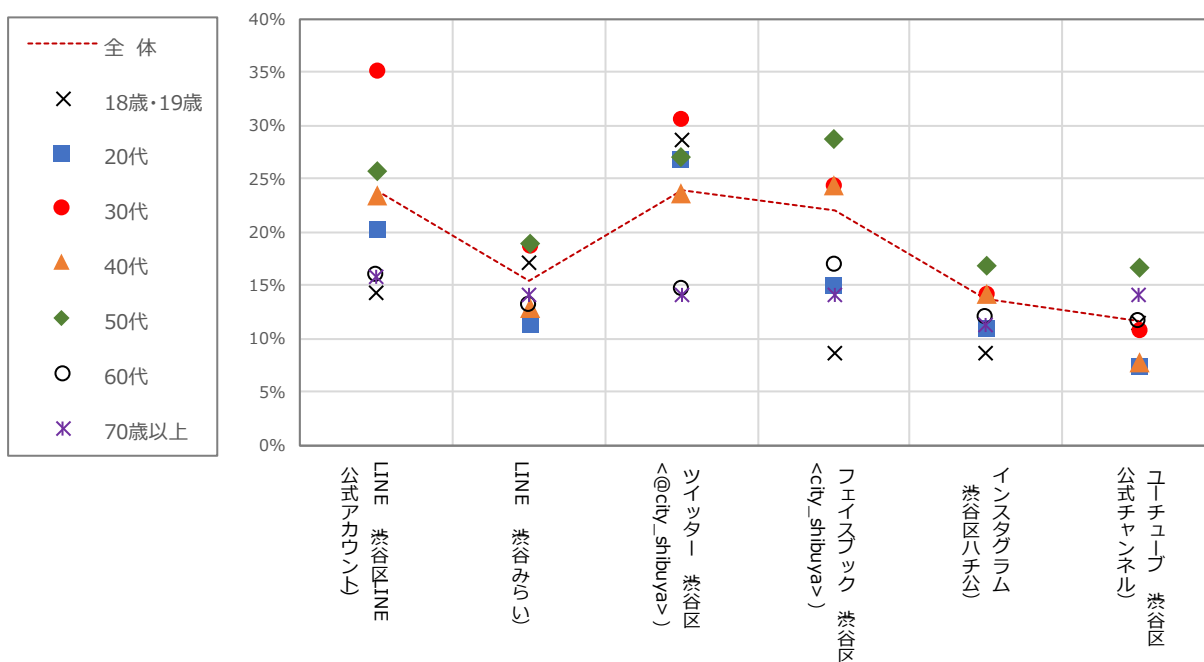
図Ⅲ-10-7 渋谷区 SNS の認知・利用度



### 【年齢別の認知率】

「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント)」の「認知(計)」は 30 代が 35.2%で最も高い。「ツイッター(渋谷区 <@city\_shibuya>)」は 30 代(30.6%)、18 歳・19 歳(28.6%)、50 代(27.1%)、20 代(26.9%)が高く、60 代以上との差が大きい。「フェイスブック(渋谷区<city\_shibuya>)」は 30~50 代(24.4~28.7%)が高い。

図Ⅲ-10-8 渋谷区 SNS の認知・利用度(年齢別の認知率)

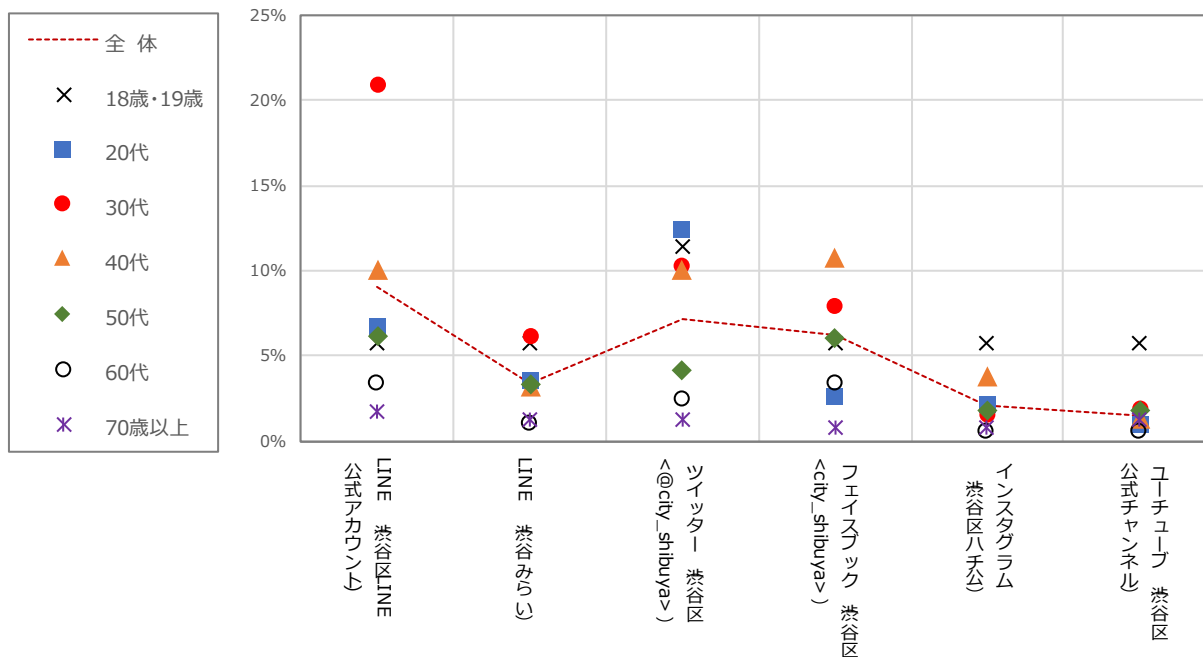


全 体 (n=1,971)	23.9	15.4	24.0	22.1	13.7	11.6
18歳・19歳 (n=35)	14.3	17.1	28.6	8.6	8.6	11.4
20代 (n=193)	20.2	11.4	26.9	15.0	10.9	7.3
30代 (n=369)	35.2	18.7	30.6	24.4	14.1	10.8
40代 (n=475)	23.4	12.8	23.6	24.4	14.1	7.8
50代 (n=450)	25.8	18.9	27.1	28.7	16.9	16.7
60代 (n=206)	16.0	13.1	14.6	17.0	12.1	11.7
70歳以上 (n=241)	15.8	14.1	14.1	14.1	11.2	14.1

### 【年齢別の閲覧率】

「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント)」の「閲覧経験あり(計)」は30代が20.9%で、他層より倍以上高い。「ツイッター(渋谷区<@city\_shibuya>)」は40代以下が10%以上、50代以上が5%未満で2つに傾向が分かれる。「フェイスブック(渋谷区<city\_shibuya>)」は40代が10.7%で最も高い。

図Ⅲ-10-9 渋谷区 SNS の認知・利用度(年齢別の閲覧率)



全体 (n=1,971)	9.1	3.4	7.2	6.2	2.1	1.5
18歳・19歳 (n=35)	5.7	5.7	11.4	5.7	5.7	5.7
20代 (n=193)	6.7	3.6	12.4	2.6	2.1	1.0
30代 (n=369)	20.9	6.2	10.3	7.9	1.6	1.9
40代 (n=475)	10.1	3.2	10.1	10.7	3.8	1.3
50代 (n=450)	6.2	3.3	4.2	6.0	1.8	1.8
60代 (n=206)	3.4	1.0	2.4	3.4	0.5	0.5
70歳以上 (n=241)	1.7	1.2	1.2	0.8	0.8	1.2

## 平成30年度 渋谷区区民意識調査 ご協力をお願い

日頃から、渋谷区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本区では、基本構想の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を実現していくため、昨年に引き続き意識調査を実施いたします。

意識調査は無記名式です。個人のお名前やご住所が特定されることはありませんので、安心してお答えください。意識調査の結果は、今後の区政運営のための基礎資料として活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、渋谷区のより良い発展のために、区民の皆さまどうかご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年8月

渋谷区長 **長谷部 健**

※本調査に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

渋谷区 経営企画部 広報コミュニケーション課 〒150-8010 渋谷区渋谷1-18-21  
電話:03-3463-1211(代表) FAX:03-5458-4920  
E-mail:kocho@city.shibuya.tokyo.jp

### ご回答にあたってのお願い

回答は「郵送」または「インターネット」のいずれかの方法で行うことができます。

#### 郵送で回答する方へ

- 1 この用紙の2ページ目より回答をお願いいたします。
- 2 回答は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
- 3 回答は、あてはまる“番号”に○印をつけてください。「その他( )」を選ばれた場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 回答していただく方が限られる質問がありますので、( )内の指示に従ってお答えください。
- 5 質問によって、答えの数を(1つ)(2つまで)などと指定しておりますので、その範囲内でお答えください。

#### インターネットで回答する方へ

- 1 パソコン、スマートフォン、携帯電話から回答できます。  
(※携帯電話の機種によっては回答できない場合がありますのでご了承ください。)
- 2 右のQRコードを読み取るか、下のURLを入力してください。
- 3 アンケート画面が表示されますので、画面の指示に従ってご回答ください。

QRコード



URL : [http://www.city.shibuya.tokyo.jp/2018\\_isikichosa.html](http://www.city.shibuya.tokyo.jp/2018_isikichosa.html)

パスワード : 2018shibuya

**平成30年9月19日(水)までにご回答ください。**

## 定住性について

(全員の方に)

問1 あなたは、渋谷区に住んで何年になりますか。(答は1つ)

※直近の居住年数についてお答えください。過去の居住については含みません。

1 2年未満	4 10年～20年未満
2 2年～5年未満	5 20年～30年未満
3 5年～10年未満	6 30年以上

(全員の方に)

問2 お住まいの地域はどちらですか。(答は1つ) ※番号に○をつけてください。

笹塚・幡ヶ谷・ 初台・本町周辺	1 初台	2 本町	3 笹塚	4 幡ヶ谷
代々木上原・ 代々木八幡周辺	5 代々木神園町	6 上原	7 富ヶ谷	8 西原
	9 元代々木町	10 大山町		
千駄ヶ谷・原宿・ 神宮前周辺	11 代々木	12 千駄ヶ谷	13 神宮前	
渋谷駅周辺	14 鉢山町	15 鶯谷町	16 渋谷	17 桜丘町
	18 南平台町	19 道玄坂	20 円山町	21 神泉町
	22 松濤	23 神山町	24 宇田川町	25 神南
代官山・恵比寿・ 広尾周辺	26 恵比寿	27 広尾	28 東	29 恵比寿南
	30 恵比寿西	31 代官山町	32 猿楽町	

(全員の方に)

問3 これからも渋谷区に住みつづけたいと思いますか。(答は1つ)

1 ずっと住み続けたい	→問4へ	3 できれば区外に転出したい	→問3-1へ
2 できれば住み続けたい		4 すぐにも転出したい	

(問3で「3」か「4」と答えた方に)

問3-1 あなたが区外に転出したい理由は何ですか。(答は3つまで)

1 現在の住宅が狭いから	8 買い物が不便だから(近くに商店がない、 物価が高いなど)
2 家賃、地代が高いから	
3 固定資産税、相続税が高いから	9 他の区市町村に住んでいる親族と同居するため
4 住まい周辺の環境が悪くなってきたから	10 転勤、就職、通学のため
5 震災対策が不安だから	11 社宅だから
6 近隣の住民(友人・知人)が減り生活が不安だから	
7 子どもの教育環境が悪いから	12 その他( )

## 区政について

(全員の方に)

問4 あなたは、渋谷区政に関心がありますか。(答は1つ)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある         | 3 どちらかといえば関心がない |
| 2 どちらかといえば関心がある | 4 関心がない         |

(全員の方に)

問5 あなたは、渋谷区の以下の施策について充実していると思いますか。(答はそれぞれ1つ)

	充 実 し て い る	ど ち ら か と い え ば 充 実 し て い る	ど ち ら か と い え ば 充 実 し て い な い	充 実 し て い な い
(記入例) A 学校教育 <span style="float: right;">➔</span>	1	②	3	4
A 学校教育	1	2	3	4
B 子育て支援	1	2	3	4
C 障害者支援	1	2	3	4
D 健康(健康・医療・運動不足解消など)のための支援	1	2	3	4
E 防災対策・避難場所	1	2	3	4
F 防犯・風紀対策	1	2	3	4
G まちの美化	1	2	3	4
H まちのバリアフリー化	1	2	3	4
I 広場や公園	1	2	3	4
J 路上喫煙・タバコ対策	1	2	3	4
K ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4
L 街の景観	1	2	3	4
M 駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用	1	2	3	4

(全員の方に)

問6 あなたは日頃、区政に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。(答は2つまで)

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| 1 広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)                    | 6 町会・自治会の掲示板               |
| 2 渋谷区のホームページ                             | 7 町会・自治会の回覧板               |
| 3 「しぶや動画ギャラリー」<br>(動画配信サイト「YouTube」での配信) | 8 テレビ・新聞などのニュース            |
| 4 渋谷区公式 Twitter(ツイッター)                   | 9 SNS やインターネットの情報(渋谷区公式以外) |
| 5 渋谷区公式 LINE                             | 10 家族や友人・知人などからの口コミ        |
|  | 11 その他( )                  |

## 渋谷区基本構想について

(全員の方に)

問7 渋谷区では平成28年10月に渋谷区の未来像として、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」というスローガンを掲げる新しい基本構想を策定しました。この基本構想またはスローガンをご存知ですか。

※このアンケートに答える前の事についてお答えください。

(答は1つ)

1 スローガンも基本構想の内容も知っている

2 スローガンは知っているが、基本構想は知らない

→問7-1へ

3 スローガンは知らないが、基本構想は知っている

4 両方とも知らない

→問8へ

(問7で「1」か「2」か「3」と答えた方に)

問7-1 スローガンまたは基本構想を何からお知りになりましたか。(答は2つまで)

1 区の広報紙

2 区のホームページ

3 テレビ・ラジオ等

4 雑誌等

5 SNS

6 区主催のイベント

7 区の施設や駅などの掲示

8 家族や友人・知人からの口コミ

9 その他( )

(全員の方に)

問8 スローガン、基本構想がどのようなところで紹介されれば目にふれると思いますか。(答は2つまで)

1 区の広報紙

2 区のホームページ

3 テレビ・ラジオ等

4 雑誌等

5 SNS

6 区主催のイベント

7 区の施設や駅などの掲示

8 その他( )



## 「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」について

(全員の方に)

問9 渋谷区は、平成28年からこれまで毎年行ってきた見学型の防災訓練に加え、来場者が実際に体験しながら学べる“参加型の防災訓練”を行っています。

この「渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)」を知っていますか。(答は1つ)

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 1 参加したことがある        | →問10へ  |
| 2 知っているが、参加したことはない | →問9-1へ |
| 3 知らない             | →問10へ  |

(問9で「2」と答えた方に)

問9-1 参加したことがない理由は何ですか。(答は2つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 役に立たないと思ったから              |
| 2 事前に内容がよく分からなかったから         |
| 3 興味がなかったから                 |
| 4 防災訓練としてふさわしくなかったから        |
| 5 別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから) |
| 6 体力・健康上の理由から               |
| 7 その他( )                    |
| 8 特になし                      |

(全員の方に)

問10 これから開催される渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)に参加したいですか。(答は1つ)

- |                   |
|-------------------|
| 1 参加したい           |
| 2 どちらかといえば参加したい   |
| 3 どちらかといえば参加したくない |
| 4 参加したくない         |

## 「超福祉展」について

(全員の方に)

問11 渋谷区では、平成26年11月から、障害者をはじめとするマイノリティや福祉そのものに対する「意識のバリア」を取り除こうと「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」(超福祉展)を開催しています。この「超福祉展」を知っていますか。(答は1つ)

1 参加したことがある	→問11-1と問11-2と問11-3へ
2 知っているが、参加したことはない	→問11-3へ
3 知らない	→問12へ

(問11で「1」と答えた方に)

問11-1 参加した理由は何ですか。(答は2つまで)

1 最新の福祉機器(車椅子類、義手・義足 など)に興味があったから
2 シンポジウムに興味があったから
3 イベントや体験試乗(スポーツ義足体験、最新モビリティ試乗会 など)に興味があったから
4 主催者や関係団体の活動に興味があったから
5 イベント名に惹かれて
6 会場への交通の便が良かったから
7 家族や友人・知人に誘われたから
8 この中にあてはまるものはない

(問11で「1」と答えた方に)

問11-2 参加した感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	良 か っ た	良 ど ち ら か と い え ば	良 ど ち ら か と い え ば	良 く な か っ た	参 加 し て い な い この企画は
(記入例) A 展示	1	②	3	4	5
A 展示	1	2	3	4	5
B シンポジウム	1	2	3	4	5
C 体験試乗	1	2	3	4	5
D イベント全体について	1	2	3	4	

(問11で「1」か「2」と答えた方に)

問11-3 超福祉展を何からお知りになりましたか。(答は2つまで)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 テレビ・ラジオ等
- 4 雑誌等
- 5 SNS
- 6 区主催のイベント
- 7 区の施設や駅などの掲示
- 8 家族や友人・知人からの口コミ
- 9 その他( )

## 喫煙環境について

(全員の方に)

問12 現在、渋谷区では「分煙ルール」による喫煙マナーの指導を行っていますが、条例を策定し、路上喫煙の規制をしている自治体もあります。

渋谷区でも条例による規制を行うことが必要だと思いますか。(答は1つ)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 必要である | →問12-1へ |
| 2 必要はない | →問13へ   |

(問12で「1」と答えた方に)

問12-1 必要であるとお答えになった理由は何ですか。お気持ちに最も近いものをお選びください。(答は1つ)

- 1 喫煙マナーの指導だけでは改善がみられないから
- 2 他の区と比べ、規制が緩やかだから
- 3 規制をしないと、現状がさらに悪化すると思うから
- 4 その他( )

(全員の方に)

問13 渋谷区では「分煙」を目的に、主要駅周辺等に屋外喫煙所を設置していますが、利用者が入りきれない状況があります。

新たに屋外喫煙所を設置する必要があると思いますか。(答は1つ)

- 1 新たに設置する必要がある
- 2 既存の喫煙所のスペースを広げればよい
- 3 既存の喫煙所で十分である
- 4 新たに設置する必要はないし、既存喫煙所の撤去も考えるべきである
- 5 その他( )

## 「渋谷区おとなりサンデーの日」について

(全員の方に)

問14 渋谷区では、平成29年から6月の第1日曜日を“ふだん話す機会の少ない近隣の人と  
もっと顔見知りになる日「渋谷おとなりサンデーの日」”(渋谷区版隣人まつり)として、  
さまざまなイベントを開催しました。

この「渋谷おとなりサンデーの日」を知っていますか。(答は1つ)

- |                  |         |
|------------------|---------|
| 1 参加した           | →問15へ   |
| 2 知っているが、参加しなかった | →問14-1へ |
| 3 知らなかった         | →問15へ   |

(問14で「2」と答えた方に)

問14-1 参加しなかった理由は何ですか。(答は2つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 近所付き合いに関心がないから            |
| 2 面白くなさそうだったから(興味がなかったから)   |
| 3 自分のためにならないと思ったから          |
| 4 事前に内容がよく分からなかったから         |
| 5 別の用事が入っていたから(時間が合わなかったから) |
| 6 体力・健康上の理由から               |
| 7 その他( )                    |
| 8 特になし                      |

(全員の方に)

問15 「渋谷おとなりサンデーの日」のような、ご近所さんと顔見知りになるためのさまざまな地域のイベント  
や小さなパーティーについて、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。(答は2つまで)

- |                  |
|------------------|
| 1 近所で開催があれば参加したい |
| 2 他の人にも声をかけたい    |
| 3 自分でも企画・開催してみたい |
| 4 今のところ興味がない     |

(全員の方に)

問16 あなたの考える近所付き合いはどのようなものですか。(答は1つ)

※あてはまるものが無い人も、選択肢の中から比較して最もお気持ちに近いものをお選びください。

- |                           |
|---------------------------|
| 1 日頃から仲良く交流すること           |
| 2 地域の行事や清掃活動などに参加すること     |
| 3 あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと |
| 4 付き合いは必要ない               |

## 町会・自治会について

(全員の方に)

問17 あなたは、町会・自治会に加入していますか。(答は1つ)

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1 加入している  | →問18へ   |
| 2 加入していない | →問17-1へ |
| 3 分からない   | →問18へ   |

(問17で「2」と答えた方に)

問17-1 加入していない理由は何ですか。(答は2つまで)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 仕事などが忙しく時間がないから              |
| 2 知っている人がいないから                 |
| 3 同世代の人が入っていないから               |
| 4 人間関係がわずらわしそうだから              |
| 5 活動の内容が分からないから                |
| 6 役員や当番のような役職につくのが嫌だから         |
| 7 町会費を負担するのが嫌だから               |
| 8 加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから) |
| 9 その他( )                       |
| 10 特になし                        |

(全員の方に)

問18 町会・自治会の役割としてどのようなことを期待しますか。(答は2つまで)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 高齢者の活動の場                     |
| 2 住民間の交流促進                     |
| 3 単身高齢者世帯の見守り                  |
| 4 防犯活動(見回り活動などを含む)             |
| 5 子どもの登下校など見守り                 |
| 6 地域の美化活動                      |
| 7 地域防災(避難、災害時の避難場所の設営・運営などを含む) |
| 8 交通安全                         |
| 9 地域の祭りやイベントの開催                |
| 10 その他( )                      |
| 11 特になし                        |

## 広報紙「しづや区ニュース」について

(全員の方に)

問19 あなたは、広報紙「しづや区ニュース」を読んでいますか。(答は1つ)

1 毎号読む	→問19-1へ
2 とときどき読む	
3 読まない	→問19-2へ

(問19で「1」か「2」と答えた方に)

問19-1 「しづや区ニュース」をお読みにになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	良 い	良 ど い ち ら か と い え ば	良 ど ち ら か と い え ば	良 く な い	見 て い な い ペ ー ジ は
(記入例) A 表紙、特集記事	1	②	3	4	5
表紙、特集記事 A (地域で活躍する方へのインタビュー :1~3ページ)	1	2	3	4	5
渋谷区からのお知らせ B (新しい事業・届け出などに関する記事 :4~7ページ)	1	2	3	4	5
くらしの情報 C (保健、催し物、講座・教室、 スポーツなどの記事:8~11ページ)	1	2	3	4	5
裏表紙の特集など D (区内で実施された催し物などの紹介 :12ページ)	1	2	3	4	5
E 総合的な評価	1	2	3	4	

⇒問20へ

(問19で「3」と答えた方に)

問19-2 「しづや区ニュース」を読まない理由は何ですか。(答は2つまで)

1 届いていない
2 読みたい情報がない
3 読む時間がない
4 区政に関心がない
5 読みにくい、内容が分かりにくい
6 他の手段で区の情報を得ている
7 その他( )
8 特になし

## コミュニティFM・SNSについて

(全員の方に)

問20 渋谷区内では、平成28年4月から地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」(87.6MHz)が放送を開始しましたが、聴いたことがありますか。(答は1つ)

1 頻繁に聴いている	→問20-1へ
2 ととき聴いている	
3 聴いたことはある	
4 知っていたが、聴いていない	→問21へ
5 電波受信できない	
6 放送を知らなかった	

(問20で「1」か「2」か「3」と答えた方に)

問20-1 「渋谷のラジオ」を活用した区の広報番組を聴いたことがありますか。(答は1つ)

1 聴いたことがある	→問20-2へ
2 聴いたことはない	→問20-3へ

(問20-1で「1」と答えた方に)

問20-2 区の広報番組をお聴きになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	良 い	良 ど い ち ら か と い え ば	良 ど く ち ら か と い え ば	良 く な い	聴 こ の 番 組 は 聴 い た こ と が な い
(記入例) A ラジオ しぶや区ニュース →	1	②	3	4	5
A ラジオ しぶや区ニュース (月～木 11:00、16:00、21:50)	1	2	3	4	5
B 区長の部屋 (金 11:00、17:00、19:50)	1	2	3	4	5
C 渋谷隣人まつり (火 11:00)	1	2	3	4	5
D 渋谷のくらし (金 17:20)	1	2	3	4	5
E 総合的な評価	1	2	3	4	

⇒問21へ

(問20-1で「2」と答えた方に)

問20-3 区の広報番組を聴いていない理由は何ですか。(答は2つまで)

1 区の広報番組があることを知らなかった
2 他の手段で区の情報を得ている
3 聴きたい情報がない
4 区政に関心がない
5 内容が分かりにくい
6 その他( )
7 特になし

(全員の方に)

問21 渋谷区では、LINE、Twitterなどソーシャルメディアを通じて情報を発信しています。

あなたの利用状況を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	登録を している	フ ォ ロ ー 、 見 た こ と が あ る	実 際 に 見 た こ と は な い	知 っ て い る が 見 た こ と は な い	知 ら な い
(記入例) A LINE(渋谷区LINE公式アカウント@shibuyacity) →	1	②	3	4	
A LINE(渋谷区LINE公式アカウント@shibuyacity)	1	2	3	4	
B LINE(渋谷みらい)	1	2	3	4	
C ツイッター(Twitter/渋谷区 <@city_shibuya> )	1	2	3	4	
D フェイスブック(Facebook/渋谷区<city_shibuya>)	1	2	3	4	
E インスタグラム (Instagram/渋谷区ハチ公city_shibuya_official)	1	2	3	4	
F ユーチューブ (YouTube/渋谷区公式チャンネル <a href="https://www.youtube.com/channel/UCIHS6GaXu7XpLLgG6Om1fEg">https://www.youtube.com/channel/UCIHS6GaXu7XpLLgG6Om1fEg</a> )	1	2	3	4	



## あなたご自身について

(全員の方に)

問22 あなたの性別をお答えください。(答は1つ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

(全員の方に)

問23 あなたの年齢をお答えください。(答は1つ)

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1 18歳・19歳 | 5 50代   |
| 2 20代     | 6 60代   |
| 3 30代     | 7 70歳以上 |
| 4 40代     |         |

(全員の方に)

問24 あなたのご職業をお答えください。(答は1つ)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1 自営業           | 6 専業主婦(主夫) |
| 2 会社員           | 7 学生       |
| 3 公務員           | 8 無職       |
| 4 会社役員          | 9 その他      |
| 5 アルバイト・パートタイマー |            |

(全員の方に)

問25 配偶者はいらっしゃいますか。(答は1つ)

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1 あり           | →問26へ |
| 2 なし(離婚・死別を含む) | →問27へ |

(問25で「1」と答えた方に)

問26 あなたと配偶者は共働きですか。(答は1つ)

- 1 共働き
- 2 共働きではない

(全員の方に)

問27 あなたご自身にお子様はいらっしゃいますか。(答は1つ) ※別居を含む

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 いる  | →問28へ |
| 2 いない | →問29へ |

(問27で「1」と答えた方に)

問28 長子は次のどれにあたりますか。(答は1つ)

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 1 4歳未満      | 5 高校生・高専生            |
| 2 4歳～小学校就学前 | 6 大学生・短大生・専門学校生・大学院生 |
| 3 小学生       | 7 社会人                |
| 4 中学生       | 8 その他                |

(全員の方に)

問29 現在のあなたの世帯構成は、次のどれにあたりますか。(答は1つ)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 一人暮らし        | 4 三世帯家族(親と子どもと孫) |
| 2 夫婦のみ         | 5 パートナーなどとの共同生活  |
| 3 二世帯家族(親と子ども) | 6 その他            |

(全員の方に)

問30 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(答は1つ)

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1 一戸建て(持ち家)      | 5 公共住宅(区営・都営・公社・都市再生機構) |
| 2 分譲マンション(持ち家)   | 6 社宅・官舎・寮               |
| 3 一戸建て(借家)       | 7 住み込み・間借り・ルームシェア       |
| 4 マンション・アパート(借家) | 8 その他                   |

(全員の方に)

問31 あなたの世帯の一年間の収入の合計額(税込み)をお選びください。(答は1つ)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 300万円未満         | 5 1,000万円～2,000万円未満 |
| 2 300万円～500万円未満   | 6 2,000万円以上         |
| 3 500万円～700万円未満   | 7 分からない             |
| 4 700万円～1,000万円未満 |                     |

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた調査用紙は同封の返信用封筒に封入のうえ、

9月19日(水)までにご投函ください。

## 平成 30 年度 渋谷区 区民意識調査 報告書

発 行： 渋谷区 経営企画部 広報コミュニケーション課  
〒150-8010 東京都渋谷区宇田川町 1-1  
電話：03-3463-1211 FAX：03-5458-4920

実 施： 株式会社アダムスコミュニケーション  
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17  
ブライトコアビル新館 6 階  
電話：03-6847-5757 FAX：03-6847-5756